



大正八年十二月

勞働調査報告

第三輯

大阪市役所調査係

始





14-27

勞働調査報告 第三輯

目次

一、纖維染織工業會社 又ハ工場ニ於ケル 雇主ノ福利増進設施調査 ..... 一

二、少年勞働者調査 ..... 七九

三、雜錄 ..... 四六

附錄

一、本市並本市接續町村ニ於ケル大會社工場名簿 ..... 一

二、本市ニ本部又ハ支部ヲ有スル勞働者團體規約 及役員住所氏名 ..... 一六



寄贈本

表 課 正

頁數	行	正	課
四(目次)	七	製糸工場	製紙工場
六(序言)	二	西區	橋區
三	七	二階家	二階室
四	四	夜間	夜間
一四五	三	千五百人	千五百人名
一六	九	三六段目	一
二四	一	二、本市内	本市内
二四附錄	九	二(三、四段目)	三
三同	八	教諭	教授
三同	五	職工長	長職工





1941  
福利調査報告

目次



繊維染織工業會社  
又ハ工場ニ於ケル  
雇主ノ福利増進施設調査

目次



目次

一、序言 ..... 一

二、各會社又ハ工場ニ於ケル福利増進施設 ..... 一〇七

三、綜 結 ..... 一〇〇

参 考

(一) 富士瓦斯紡績共済組合外五共済組合規則摘要 ..... 一〇七

(七) 長野及群馬縣ニ於ケル製紙工場 ..... 一三三

序 言



茲ニ記載スルハ本市及本市接續町村ニ在リテ職工百名以上ヲ雇備スル織  
 維染織工業ニ關スル會社又ハ工場ニ於ケル福利増進施設ノ概要ニシテ此  
 ハ大正八年六月ヨリ八月ニ至ル三ヶ月間ニ於テ各會社又ハ工場ニ出張シ  
 直接調査セシ所ノモノナリ、而シテ本調査ニ懸ルモノハ會社及ビ工場數左  
 記三十九ニシテ其ノ雇備職工數男工九千七百三十六人女工三萬百九十三  
 人實ニ合計三萬九千九百二十九人ノ福利ニ關スル施設ナリ。



左記

會社又ハ工場名	男職工數	女職工數	所在地
大日本紡績株式會社津守工場	366	354	大阪府西成郡津守村
同 攝津工場	312	318	大阪府南區久保吉町
同 福嶋工場	318	312	同 北區下福島一丁目
同 野田工場	312	318	同 新喜多町
東洋紡績株式會社三軒家工場	312	318	同 西區三軒家上ノ町
同 四貫嶋工場	312	318	同 四貫嶋町
同 西成工場	312	318	大阪府西成郡傳法町南三丁目
鐘淵紡績株式會社大阪支店	312	318	大阪府東成郡城東村大字鳴野
同 淀川工場	312	318	同 城北村大字友淵
大阪合同紡績株式會社天滿支店	312	318	大阪府北區天神橋筋東二丁目
同 今宮支店	312	318	同 南區北高岸町
毛斯綸紡績株式會社	312	318	大阪府西成郡中津町光立寺
福嶋紡績株式會社	312	318	大阪府北區下福嶋一丁目

會社又ハ工場名	男職工數	女職工數	所在地
內外綿株式會社第一紡績工場	512	512	大阪府西成郡傳法町南三丁目
株式會社松岡紡績所今福支店	312	318	大阪府東成郡鯉江町大字蒲生
吉見紡績株式會社浦江工場	312	318	大阪府西成郡鷺洲町浦江
日本紡績株式會社大阪支店	312	318	大阪府北區上福嶋一丁目
天滿織物株式會社	312	318	大阪府北區天滿橋筋西一丁目
同 城北工場	312	318	大阪府東成郡城北村大字毛馬
福嶋織物株式會社	312	318	大阪府北區下福嶋二丁目
合資會社双馬商會織布工場	312	318	大阪府西成郡榎並町大字大宮
帝國製麻株式會社大阪製品工場	312	318	大阪府西成郡傳法町北一丁目
大阪毛織物株式會社	312	318	同 豐崎町北長柄
東京毛織株式會社大阪工場	312	318	大阪府西成郡鷺洲町浦江
日本莫大小株式會社浦江工場	312	318	同 海老江
丸松合資會社海老江工場	312	318	同
同 福嶋工場	312	318	大阪府北區上福嶋北二丁目
山發莫大小工場	312	318	大阪府東成郡鶴橋町東小橋
石井莫大小工場	312	318	大阪府北區天滿橋筋西五丁目



# 労働調査報告

第三輯

## 一、大日本紡績株式會社津守工場

### 共濟制度

當工場ニハ曾テ従業員ノ組織スル共濟組合アリ職工自身ノ共同的救濟機關ナリシガ昨年六月一日以來之レヲ解散ス之レト同時ニ會社ハ新タニ救濟規定ヲ設ケ工場法ニ規定セラレ、モノ、外ニ會社ニ於テ一切ノ費用ヲ支出シ職工及其家族ノ保護救濟ニ當ルコト、ナレリ之レガタメ支出セル一ヶ月ノ救濟金額ハ約一千六百圓ナリ。

### 物資供給機關

物資廉賣ノ施設トシテ物品供給所ヲ設ケ問屋ヨリ諸種ノ物資ヲ購入シ之レヲ其原價ニ供給所ノ雜費ヲ加算シタルモノヲ販賣價格トシテ供給ス、此ノ一ヶ月ノ賣上代金ハ一萬三千圓ヲ超ユ。

此外工場ニ於テハ玄米ヲ問屋ヨリ買入レ之レヲ精白シタルモノヲ一升三十錢ノ價格ニテ販賣セルガ毎月通勤者ノ爲メ二百石餘ヲ出ス。

食事供給ノ機關トシテ寄宿者ハ勿論通勤者ノタメ食堂ヲ設置シ食費トシテ男工一日分十

合資會社	村上洋行
株式會社	福嶋洋行莫大小工場
株式會社	西松商店
大阪手袋株式會社	
攝津莫大小製造株式會社	
寺阪莫大小株式會社工場	
合資會社	稻畑染工場
大阪染工合資會社	
株式會社	高橋製帽所
濱谷帽子株式會社	

三〇〇	大阪府西成郡鷺洲町老海江
二五〇	大阪市北區西野田今開町
三三〇	同 西權現町
二〇〇	大阪府西成郡鷺洲町南浦江
三〇〇	大阪市西區西道頓堀通二丁目
二〇〇	同 北區本庄横道町
二〇〇	大阪府西成郡豐崎町本庄
二〇〇	同 大阪市北區善源寺町
二〇〇	同 天滿橋筋六丁目

(次第不同)



五錢女工一日分十錢ヲ徴シテ毎日食事ノ供給ヲ爲ス、之レガ爲メ工場ノ補給スル金額ハ一日一人當リ約二十五錢ナリ。

### 保健設備

男女兩寄宿舎ニ沐浴場ノ設ケアリ女工用浴場ハ八十餘坪ノ面積ヲ有シ之レヲ織布工ト紡績工トノタメニツニ區劃シ各ニ二坪三ノ浴槽ヲ置ク、男工用浴場ニハ唯寄宿者ノミナラズ通動者モ入浴シ得ルコト、シ之レヲ兩者ノ爲メニツニ區劃ス、此總面積ハ二十八坪餘ニシテ各ニ二坪三ノ浴槽ヲ備フ、尙ホ此浴場ニ接近シタル所ニ通動女工ノ浴場アリ二十八坪餘ノ面積ヲ有シ之レニ三坪七合ノ浴槽アリ入浴料ハ寄宿者ハ勿論通動者ヨリモ徴收セズ。

女工寄宿舎ノ北側ニ接續シテ醫局及病院アリ此ハ二棟ノ建物ヨリ成リ之レニ醫師五名(中女醫一名)藥劑師一名看護婦七名ヲ常置シ病傷者ヲ診察治療ス、之レニ附屬シテ隔離室、微菌室ノ設ケアリ、別ニ外科重患者ハ井上病院ニ依頼シテ治療ヲ受ク。

運動遊戯ノ機關トシテハ寄宿舎及社宅構内ニ遊動圓木二ツ鞦韆二組ヲ備付クルニ止マル

### 慰安方法及教育施設

工場内ニ建坪百四十四坪ヲ有スル大娛樂場ヲ設置シテ廣胖舍ト命名シ娛樂及精神修養ノ爲メ使用スルノミナラズ其一部ヲ學校教室ニ充用ス。即チ此處ニ於テハ毎月一回餘興ヲ行ヒ従業員日常ノ勞苦ヲ慰藉スル外毎月三回精神講話會ヲ開キ名士名僧ヲ招聘シテ種々ノ講

話ヲ乞ヒ職工品性ノ陶冶ヲ圖ル。

又毎年一回従業員ヲ引キ連レ京都奈良或ハ伊勢山田等ニ旅行ヲ試ム。

普通教育機關トシテハ工場及社宅内ニ私立認定ノ小學校ヲ設ク、工場内小學校ニハ本科教員三名裁縫教師三名アリテ寄宿舎ニアル百人ノ學齡兒ヲ二組ニ分チ朝夕二時間小學校ノ課程ヲ教授スル外二百人ノ有志ニ補習教育ヲ行フ、別ニ寄宿女工ノ爲メニハ裁縫教授ヲナシテリ其出席者毎日五百四五十人ナリ。社宅小學校ニ在リテハ小學本科教員三名裁縫教員一名アリ通動ノ幼年工及ビ社宅在住者ノ一部ノ子弟ニ毎日二時間普通初等教育ヲ施ス。

場内ニハ百十坪ノ建坪ヲ有スル保育所アリ嫁姆二名助手四名ヲ常置シ毎日通動工ノ子女ヲ預リ之レヲ保護ス之レガ一日ノ預人員ハ毎日四十人内外ナリ。

精神修養ノ機關ニ關シテハ既ニ述ベタルモノ、外ニ寄宿舎内ニ書籍縱覽所ヲ設ケ種々ノ書籍雜誌及新聞ヲ備付ケ自由ニ閱覽セシメ以テ精神ノ向上ヲ圖ラント努メツ、アリ。

### 貯金及送金制度

當工場ハ貯金ノ制ヲ設ケ寄宿及社宅ニ在住スル職工一人ニ付一ヶ月十錢以上ヲ貯蓄セシメ之レニ會社ハ年六朱ノ利息ヲ附ス最近一ヶ月ノ貯金額ハ寄宿男工ノ分四千四百三十六圓餘(預入人員二百七十六人)寄宿女工ノ分八萬二千三十二圓餘(預入人員二千百九十九人)ニシテ社宅預金一萬三千二百三十七圓餘(預入人員六百二十人)ニ達ス



國元送金ニ關シテハ其費用ハ工場ヨリ全部支辨シ出來得ル限り便利ヲ圖リツ、アリ最近一ヶ月ニ於ケル寄宿者ノ送金高ハ五千六百八十四圓餘ニシテ之ノ送金人員ハ約七百人ナリ

### 住居

家族ヲ有スル職工ノ爲メ社宅ノ設ケアリ、社宅ハ今宮ニ二百八十六戸津守ニ五十二戸有シ全部平家ニシテ六疊及四疊ノ二室ヲ有スルモノト四疊半ト四疊ノ二室ヲ有スルモノトノ二種ニ別レ其家賃ハ兩者共ニ一圓十錢ナリ、此處ニ水道栓ヲ八戸ニ一ツ當リニ備付ケ飲料水ヲ供給ス、便所ハ一戸ニ一ツアリテ専用トス。而シテ今宮社宅ハ工場ノ東南約四町ヲ隔タリタル處津守社宅ハ工場ニ接近シ其ノ南方ニ在リ三方田圃ヲ以テ圍マル。

單身職工ノ爲メ寄宿舎ノ設ケアリ、女工寄宿舎ハ東西ニ延ビタル七棟ノ二階家ニテ其ノ一棟ハ新築ニ懸ルモノナルガ此處ニ二千九百五十人ノ女工ヲ收容ス、十五疊大ノ室ニ概子八人乃至十五人ヲ收容シ一人當リ疊數ハ約一疊半トナル。便所ハ一棟ニ付一ヶ所洗面所ハ一棟ニ付二ヶ所アリ、髮結場ハ長方形ノ大ナルモノ一ヶ所アリ之レニ百數十ノ姿見鏡ヲ備付ク。男工寄宿舎ハ東西ニ延ビタル三棟ノ建物ニシテ其一棟ハ平家ニテ他ノ二棟ハ二階家ナリ、此處ニ三百七十一人ノ男工ヲ收容ス、十五疊大ノ室ニ概子八人ヲ起臥セシム、便所ハ一棟ニ付一ヶ所ヲ設置シ洗面所ハ舍内ニ只一ヶ所ノ設ケアルノミ。

## 二、大日本紡績株式會社攝津工場

### 共濟制度

既ニ津守工場ノ項ニ於テ述ベタル如ク大日本紡績株式會社ハ従業員共濟ノ制度ヲ廢シ新ニ救濟ノ規則ヲ制定シ之レニ基キ職工ノ災害事故ニ付保護救濟ヲ爲スコト、ナリシガ之レガ爲メ當工場ニテ昨年度中ニ支出セル金額ハ八千五百四十四圓五十四錢ナリ。

### 物資供給機關

物資廉賣ノ施設トシテハ津守工場ト同ジク物品供給所ヲ設ケ白米薪炭ヲ始メ其他ノ日用品雜貨ヲ低廉ノ價額ニテ従業員ニ供給ス即白米ハ一升三十五錢其他ハ原價ヨリ稍高價ナリ此ノ最近一ヶ月間ノ賣上代金ハ一萬三千六百四十五圓三十七錢ニシテ其内白米代金ハ五千四百十七圓五錢ナリ。

寄宿者ハ勿論通勤者ニ對シテモ食堂ヲ設ケ一日ニ付通勤者及寄宿男工十五錢寄宿女工十錢ノ割ニテ食費ヲ徴シテ食事ノ供給ヲ爲ス、之レガ補助トシテ支出スル金額ハ一日一人當リ約十七八錢ナリ。

### 保健設備

場内ニ二ツ場外ニ一ツノ沐浴場アリ場内浴場ノ一ツハ寄宿女工ノ入浴スル所ノモノニシテ百五十五坪ノ面積ヲ有シ其内ニ横二間半縦四間ノ浴槽二箇ヲ備フ他ハ雜役ノ入浴スル所



六  
ノモノニシテ面積三坪餘ヲ有スル甚々狭小ナルモノナリ、場外浴場ハ通勤者及寄宿男工ノ入浴スル所ニテ四十八坪餘ノ面積ヲ有シ之レヲ男女ニ依リテ二ツニ區劃シ各ニ四坪餘ノ浴槽ヲ置ク

場内ニ醫務局及病室ノ設ケアリ女工寄宿舎ニ接續スル三棟ノ二階家ヲ之レニ充テ醫師六名助手一名藥劑師一名及ビ看護婦十名ヲ常置シ病傷者ヲ診察治療ス。別ニ結核性等ノ患者ハ大日本紡績株式會社設立ノ河内療養所ニ移シ保養セシム。  
運動遊戯ノ機關トシテハ男工寄宿舎ニ庭球用具一組ヲ備ヘ女工寄宿舎ニ鞞毬一ツヲ有スル外見ルベキモノナシ。

### 慰安方法

職工慰安ノ機關トシテ女工寄宿舎ニ疊二百二十疊ヲ敷ク娛樂室男工寄宿舎ニ疊百疊大ノ講堂アリ此處ニテ毎月二回諸般ノ演藝ヲ催シテ觀覽セシムルノミナラズ春秋二回奈良京都等ノ名所ヲ訪ヒ或ハ近郊ニ遠足ヲ試ム。

### 教育施設

教育施設トシテハ女工寄宿舎内ニ私立認定ノ小學校アリ學齡中ノ幼年工ヲ晝夜業ニヨリ二組ニ別チ之レニ朝夕二時間規定ノ教科ヲ授クル外別ニ補習教育ヲモ行フ、此處ニ三名ノ教師百二十人ノ小學校生徒二十二人ノ補習科生徒アリ、其他女工ニ對シテハ裁縫教室ヲ設ケ毎

日裁方縫方ヲ教フ、毎日ノ出席者ハ約七十人ナリ。

精神修養ノタメニハ前記ノ講堂及娛樂室ヲ使用シ毎月二回僧侶等ヲ招聘シテ修身講話會ヲ開ク外ニ毎月二回經文暗誦ノ練習ヲ爲シ以テ精神修養ニ資ス。

### 貯金及送金制度

寄宿男工ニハ毎月一圓以上ヲ強制的ニ預金セシメ寄宿女工ハ自由ニ任セアルモ多クノ預金者アリテ昨年度ニ於ケル兩者ノ該金額ハ三萬二千四百二圓四錢ニテ此ノ人員三千二百餘人ナリ、而シテ之レヲ獎勵スルタメ工場ハ毎年二回貯金者ノ茶話會ヲ開キ成績佳良ナル者ニハ種々ノ賞與ヲ與フ

寄宿女工ハ貯金ヨリハ送金スルモノ數多ク昨年度ノ送金總額ハ五萬六千九百九十一圓四十四錢ヲ示シ此ノ人員實ニ五千九百八十人ナリ。

### 住居

職工ニシテ家族ヲ有スル者ノ爲メ社宅ノ設ケアリ。其數三百八十戸ナルガ今回鐵道布敷工事ノタメ多クハ移轉セザルベカラザルコト、ナリ目ト玉手町二百戸ヲ新築中ナリ。舊社宅ハ全部平家ニテ概ネ四疊半三疊及二疊ノ三室ヲ有シ便所ハ一戸ニ一ツヲ備ヘ水道栓ハ數戸ニ一ツ當ニ引キ共用スルコト、ナレリ。



八  
單身者ノ爲メ寄宿舎ヲ設ク、女工寄宿舎ハ道路ヲ隔テ工場ノ東方ニアル十棟ノ二階家ニテ之レニ疊二千八百八十疊ヲ敷キ一千九百餘人ヲ收容シ十二名ノ世話掛之レヲ保護監督ス、一棟ニ二ヶ所ノ洗面所及一ヶ所ノ便所ヲ備フ、結髪室ハ寄宿舎内ニ只一ヶ所ヲ備フルノミナルガ尙他ニ一ヶ所ヲ増設中ナリ。男工寄宿舎ハ二年前ノ建築ニ懸ルモノニシテ二棟ノ二階家ナルが目下一棟ハ使用セズ、一棟ニ疊百五十六疊ヲ敷キ之レニ百四十人ヲ收容シ一人ノ舎盛之レヲ監督ス、一棟ニ洗面所二ヶ所便所一ヶ所アリ、寄宿事務所ニハ種々ノ書籍ヲ備付ケ以テ自由ニ閲覽セシメ居レリ。

### 三、大日本紡績株式會社福島工場

#### 共濟制度

津守、攝津兩工場ト同ジク共濟制度廢止後ハ救濟規定ニヨリ職工ノ保護救濟ヲ爲ス

#### 物資供給機關

物資廉賣施設トシテ物品供給所ヲ設ケ米麥薪炭ヲ始メトシ其他ノ日用品及化粧品等ノ廉賣ヲナス。即白米ハ一升三十錢又ハ三十五錢其他ハ原價ヲ以テ供給ス、最近一ヶ月間ニ於テ白米賣上石數ハ約百石ニシテ其他ノ物品ノ賣上代金ハ約四千二百圓ヲ算ス。食事供給ノ施設トシテ寄宿者ハ勿論通勤者ノ爲メニ食堂ヲ設ケ通勤者ニハ一食四錢寄宿

職工ニ對シテハ一日ニ付男子十二錢女子十錢ノ割ニテ食事ヲ供給ス。

#### 保健設備

寄宿職工及ビ通勤職工ノ爲メ各一ヶ所ノ沐浴場ヲ設備ス、朝夕二回各六時ヨリ九時迄凡テ無料入浴セシム、但シ湯券ノ設ケアリテ入浴ノ際之レヲ示セバ係員ハ券面當日ノ欄ニ缺ヲ入ル、コト、ナレリ。

寄宿女工用浴場ハ甚ダ廣クシテ浴槽ハ長サ五間幅二間ヨリナル長方形ニシテ外ニ二坪半ノ上リ浴槽アリ沐浴場ノ面積ハ三十二坪脱衣場ノ面積ハ二十八坪ナリ、通勤者用浴場ハ四十八坪ノ面積ヲ有シ之レヲ男女ニヨリ二ツニ區劃シ各ニ二坪半ノ人造石ノ浴槽ヲ備ヘ寄宿男工ハ之レニ入浴セシム。

醫務室ハ二十間ニ八間ノ棟ニテ二階ハ輕傷患者ノ休養室トス別ニ二棟ノ建物アリ一ツニハ病室十三室ヲ設ケ他ハ隔離病室八室ヲ設備ス、之レニ醫師六名看護婦八名ヲ常置シ病傷者ヲ診察治療ス。

運動遊戯機關トシテハ廣場ノ二ヶ所ニ鞦韆一ツト五人乗ノノリーランドヲ備フ。

#### 慰安方法

當工場ニ於テハ職工ヲシテ自然ニ親マシムルコトヲ以テ慰安ト保健ノ第一歩ト考ヘタリ何分職工ハ主トシテ大分佐賀地方ノ片田舎ヨリ募集シ來ルモノナレバ彼等ハ郷里ニ於テ自



然の生活ヲナシテ常ニ自然界ノ風物ト相親ミ居リシモノガ直チニ大都市ニ來リテ俄カニ其生活ヲ變ズル爲メ頗ル彼等ノ心身ヲ害スル事多シサレバ先ヅ園藝ノ趣味ヲ養ハシガ爲メ寄宿舎ノ各室ニ二坪餘ノ畑地ヲ與ヘ彼等職工ノ郷里ニ於ケル經驗ヲ呼び起サシメンガ爲メ茄子南京其他草花ヲ作ラシメツ、アリ又休憩所ニハソレトシ生花ヲ備ヘ四時其旬々ノ花ヲ觀賞セシメテ心機ノ轉換ヲ計ル又藤見會アリ由來藤ノ大樹多ク寄宿舎ノ軒近ク幅三間長サ二十間ノ藤ノ棚五ヶ所ニ在リ陽春四月滿開ノ際ハ全職工ニ折詰ヲ與ヘテ藤見ノ宴ヲ開ク又毎年春秋ノ二回休日ヲ利用シテ京都又ハ奈良方面ニ遠足ヲ試ム其他職工ノ希望ヲ募リテ住吉ニ淀川堤ニ世話係ガ三四十人ヅ、ノ女工ヲ引連レテ遊覽ニ出掛ク、又運動會ヲ毎年四五回開催ス競技ノ種類選擇ニ關シテハ全然職工ノ希望ヲ容ル、コト、セリ。

### 教育施設

工場内ニ私立認可ノ小學校ヲ設立ス、成申詔書ノ聖旨ニ則リ就實小學校ト名ヅク、教師ハ囑託一名訓導二名アリ學齡中ノ幼年工百人ヲ晝夜業ニヨリテ二組ニ別チ朝夕ノ二回二時間宛規定ノ課程ヲ教授ス、乳兒托兒所ハ廣サ二十疊敷ノ座敷一ヶ所アルノミニテ保母三名ヲ以テ毎日乳兒十三人ヲ保護ス。

職工修養上ノ機關トシテハ特筆スベキモノナケレト元來當會社ノ重役ニハ宗教家ノ多キ關係ヨリ宗教的信念ニ基イテ職工ノ品性陶冶ヲ計ラントス因テ毎週一回僧侶ヲ聘シテ説教

ヲ聽問セシム又月二三回ハ名士ノ講和ヲ聽カシム、其方法ハ職工全部ヲ六日間ニ行キ渡ル様ニ各室々ニテ聽カシムル様ニ爲ス。

### 貯金及送金制度

貯金ト送金トハ其何レヲ取ルカハ職工ノ意ニ任シ居レドモ其儲ケ高ノ二分ノ一ハ必ず送金ナリ又ハ貯金スベキ様強制セリ之レガ獎勵法トシテハ個人ニハ日用品ヲ與ヘ團體ニハ觀ヲ與フルコト、ナス。

### 住居

家族ヲ有スル職工ノ爲メ住宅ノ設ケアリ、之レハ南北向キノ棟割長屋ニシテ其戸數百〇五戸アリ各戸階下ハ三疊ノ勝手場ト四疊半ノ座敷階上ハ七疊半ナリ、各戸ニ水道及便所ヲ備フ他ニ共同便所二ヶ所アリ、一戸ニ四人ノ當工場職工住居スレバ家賃ヲ免除ス通例ハ階下ハ七十錢階上ハ五十錢ノ家賃ヲ徵ス。

單身職工ノ爲メ寄宿舎ヲ設ク、寄宿舎ハ棟行長キモノハ二十間短キモノハ六間棟數男女寄宿舎合計十三棟アリ、之レニ男工百九十八人女工二千二百人ヲ收容ス、此建物ハ三期ニ増築セシコト、テ一律ニ説明シ難シ、職工一人ニ對スル疊數ハ一疊二分ニシテ便所ハ凡テ共同便所ナリ。

住宅料トシテ通勤者ニ毎月一圓五十錢ノ割ニテ支給セルガ最近一ヶ月ニ於ケル之レガ總



金額ハ三百七十三圓五十錢ナリ。

#### 四、大日本紡績株式會社野田工場

##### 共濟制度

當工場ハ他ノ大日本紡績株式會社ニ屬スル工場ト同ジク共濟制度廢止後ハ一切ノ費用ヲ支出シテ職工ノ救濟ヲ行ヒツ、アリ大正七年度ニ於ケル之レガ支出金額ハ一千三百圓ナリ

##### 物資供給機關

物資廉賣ノ施設トシテハ工場ヨリ直接ニ従業員ニ對シテ白米ヲ一升三十五錢ノ價格ニテ供給スル外物品供給所ヲ社宅及寄宿舎内ニ設置シ薪炭日用品其他ノ雜貨ヲ原價ニテ販賣ス、最近一ヶ月間ニ於ケル白米賣上代金ハ一千圓ヲ算シ社宅物品供給所ノ賣上高ハ五百圓寄宿舎物品供給所ノ賣上代金ハ約三百圓ナリ。

寄宿職工ハ勿論通勤職工ノ爲メニ食堂ヲ設ケ食費トシテ寄宿者ヨリハ一日分十錢通勤男工ヨリハ一ヶ月分四圓五十錢通勤女工ヨリハ一ヶ月分三圓五十錢ヲ徴シテ食事ノ供給ヲ爲ス、而シテ之レガ補給トシテ支出スル金額ハ一日一人當リ約十五錢ナリ。

##### 保健設備

工場及寄宿舎ニ沐浴場ノ設ケアリ通勤職工ヲモ無料ニテ入浴セシム、工場浴場ハ社宅在住

者及其他ノ通勤者ノ爲メ設ケタルモノニシテ十坪餘ノ面積ヲ有シ之レヲ男女ニヨリ區劃シ各ニ幅一間長サ二間ノ浴槽ヲ置ク、寄宿舎浴場ハ十七坪餘ノ面積ヲ有シ其内ニ幅八尺長サ二間ノ浴槽アリ、

病傷者ヲ診察治療スル爲メ病室及醫務局ヲ場内ニ設ケ醫師三名看護婦二名ヲ常置ス、従業員ニハ無料ニテ施藥シ其家族ヨリハ一日一人ニ付三錢ヲ藥價トシテ徴ス。

運動遊戯ノ機關トシテハ寄宿舎及社宅構内ニ遊動圓木鞦韆各一ツヲ備付ケアルノミ

##### 慰安方法

特ニ娛樂場ノ設備ハナケレドモ食堂ヲ利用シテ時々諸般ノ演藝ヲ催シテ觀覽セシメ又春秋ノ好季節ニハ一同ヲ引連レテ郊外ニ遠足ニ出掛ク。

##### 教育施設

學齡中ノ幼年工ヲ教育スルタメ寄宿舎内ニ一教室ヲ設ケ之レヲ晝夜業ニヨリテ二組ニ別チ朝夕二時間一名ノ教師ヲ以テ小學校ノ教科ヲ教授ス、其ノ出席生徒ハ毎日三十人内外ナリ女子ノ爲メニハ別ニ裁縫教室ヲ設ケ一人ノ教師朝夕一二時間裁縫ノ教授ヲ爲ス、之レガ出席者ハ略ボ小學校ニ同ジ。

修養機關トシテハ毎月二回乃至三回僧侶ヲ招聘シテ修養講話會ヲ開キ以テ職工品性ノ涵



養ヲ圖ル。

一四

### 貯金及送金制度

貯金制度トシテハ從業員全部ニ毎月二十錢ヲ義務的ニ預レ入レシメ會社ハ之レニ對シ年五朱ノ利ヲ附ス之レガ最近一ヶ月ニ於ケル總額ハ百二十圓ナリ。

國元送金ニ關シテハ其手數料ハ全部工場ヨリ支出シ之レガ獎勵ニ努メツ、アルガ最近一ヶ月ニ於ケル總金額ハ約五百圓ナリ。

### 住居

家族ヲ有スル職工ノ爲メ社宅ノ設ケアリ、之レハ工場ノ附近北方ニアリ二階家五十六戸平家六十二戸ヲ有ス、二階家ノ大ナルハ疊三十疊半小ナルハ十三疊半ヲ數ク、前者ノ家賃ハ一ヶ月三圓五十錢ニシテ後者ハ一圓ナリ、平家ノ大ナルハ疊九疊小ナルハ七疊半ヲ數ク彼レノ家賃ハ一ヶ月九十錢ニシテ此レハ八十錢ナリ、便所ハ各戸ニ設ケアレドモ水道ハ專用ト共用トノ二種アリ、共用ノモノハ水道栓ヲ十戸一ツ宛ニ備ヘ付ケ用水ハ多ク井戸ヨリ取ル、而シテ平家ニハ一家族ノ住居スルガ常ナレドモ二階家ニハ大抵二家族在住ス。

單身職工ノ爲メニ寄宿舎ノ設ケアリ、寄宿舎ハ南北ニ延ビタル二棟ノ二階建物ニシテ之レニ四百二十八人ノ女工ヲ收容ス、而シテ一人ニ對スル疊數ハ約一疊半ニ相當ス、舍内ニ洗面所

便所各ニケ所及髮結場一ヶ所ノ設ケアリ。

## 五、東洋紡績株式會社三軒家工場

### 物資供給機關

物資廉賣ノ機關トシテ日用品分配所ヲ設ケ白米麥薪炭ヲ始メ各種ノ日用品ヲ問屋ヨリ購入シ之レヲ原價ニテ一般從業員ニ配給ス之レガ最近一ヶ月ニ於ケル賣上代金ハ三千五百十六圓餘ヲ算ス、別ニ寄宿舎内ニハ化粧品及飲食物等ヲ原價ニテ販賣スル賣店ヲ置キ此處ニ寄宿スル者ノ利便ヲ計ル、而シテ之レガ一ヶ月間ノ賣上代金ハ五千〇九十一圓ヲ算ス。

寄宿者ハ勿論通勤者ノ爲メニモ食堂ヲ設置シ男工一食分六錢女工一食分四錢ノ食費ヲ徴シテ食事ノ供給ヲ爲ス、之レガ補給トシテ工場ハ一日一人當リ約二十錢ヲ支出ス。

更ニ工場ハ米價補助トシテ通勤職工ニシテ家長ナル者ニ一日十八錢其他ニハ九錢ヲ支給ス、之レガ最近一ヶ月ノ支出金額ハ二千三百四十圓七十八錢ナリ。

### 保健設備

男女寄宿舎ニ各一個社宅内ニ一個ノ沐浴場ヲ備フ女工用浴場ハ其面積三十二坪ニシテ其内ニ四坪ノ浴槽アリ、男工用浴場ハ十二坪ノ面積ヲ有シ其内ニ三坪餘ノ浴槽ヲ備フ、社宅浴場ハ之レヲ男女ニヨリテニツニ區劃シ兩者共ニ十五坪六合ノ廣サヲ有シ其内ニ夫々二坪一合

一五



ノ浴槽ヲ置ク、而シテ社宅浴場ハ入浴料トシテ一人一錢ヲ徴ス。  
 病院ヲ場内ニ設ケ無料ニテ病傷者ヲ診察治療ス之レガ爲メ此處ニ醫師四名藥劑師一名及  
 ビ看護婦十名ヲ常置ス。  
 運動遊戯ノ機關トシテハ寄宿舎ノ廣場ニ鞦韆一ツヲ備ヘ社宅構内ニテニスコート二ヶ所  
 大弓場一ヶ所及器械体操場一ヶ所ヲ造リ又器械体操用鐵棒一基ヲ備付ク。

### 慰安方法

之レガ施設トシテ場内ニ娛樂場アリ月一回諸般ノ演藝ヲ催シ従業員一同ニ觀覽セシムル  
 ノミナラズ春秋二回一同行連レテ奈良京都等ノ名所ヲ訪ヒ或ハ近郊ニ遠足ヲ試ミ以テ平  
 日ノ勞苦ヲ慰藉ス此外眞宗歸依者ヨリ成ル眞宗婦人會ナルモノアリ毎月休日ヲ利用シテ京  
 都本願寺ニ參拜ス。

### 教育施設

寄宿舎内ニ私立認定ノ小學校ヲ設置シ學齡中ノ幼年工ヲ晝夜業ニヨリ二組ニ別チ之レニ  
 朝夕三時間尋常小學校ノ課程ヲ教授ス、之レガ爲メ二個ノ教室ヲ設ケ百二十人ノ生徒ヲ教育  
 ス、別ニ裁縫教室ヲ設ケ女子ニ必須ナル裁縫ヲ授クルト共ニ茶ノ湯活花等ヲモ合ハセ教フ、此  
 教授時數ハ朝夕二時間ニシテ毎日ノ出席者ハ六十人内外ナリ、而シテ之等ノ教育ノ爲メ本科

教員三名及專科教員三名ヲ有ス。

場内ニ建坪二十二坪ヲ有スル托兒所一ヶ所アリ毎日約三十人ノ乳兒ヲ預リ四名ノ保姆之  
 レガ保護ノ任ニ當ル。

保育所ハ社宅構内ニ在リ建坪三十八坪五合ヲ有スルモノナルガ目下修繕工事ノ爲閉所中  
 ナリ。

當工場ニ於テハ職工相互ノ修養ヲ計リ徳性ノ涵養ヲ期センタメ設ケラレタル二三ノ機關  
 アリ即チ左ノ如シ。

- 一 大丈夫會 一般男工ニヨリ組織セラレタルモノニシテ毎月一回名上ヲ招聘シテ講話會  
 ヲ開キ併セテ相互ノ親睦ヲ圖ル。
- 一 眞宗婦人會 眞宗ニ歸依スル女工ヨリ成リ毎月二回例會ヲ催シ僧侶ヲ乞ヒテ法話ヲ開キ  
 相互ノ修養及ビ親睦ヲ計ル。
- 一 美徳會 女工ニシテ品行方正ナルモノヲ會員トシ一名職工模範團體ト稱セララル。  
 毎月一回會合ヲ催シ名士ノ講話ヲ聽キ一層精神ノ向上ヲ圖ル。

### 貯金及送金制度

貯金制度トシテハ當工場ノ職工タル以上ハ男工ハ毎月賃金ノ百分ノ二女工ハ賃銀ノ百分  
 ノ三ヲ預金セザルベカラザルコト、ナシ工場ハ之レヲ郵便局ニ預入レ其通帳ヲ保管ス、此外



寄宿舎ニ在ル者ニ對シテハ特ニ賃銀支拂ノ際世話掛ヲシテ貯金及送金ノ必要ヲ説キ其ノ實行ヲ促シ工場ハ之レガ利便ヲ計リ送金爲替料等ハ工場ヨリ支拂ヲ爲ス、最近一ヶ月間ニ於ケル義務貯金ハ一千六百八十八圓餘ニシテ任意ノ分ハ四千八百五十二圓ナリ。

寄宿者ニシテ國元ニ送金スル者ハ月ニヨリ異ナルト雖モ概テ其金額ハ一ヶ月一萬三千六百八十二圓ヲ下ラズ。

### 住居

當工場ハ二階家百八十一戸ヲ建テ家族ヲ有スル職工ヲ居住セシム、各戸階上階下共ニ四疊ト三疊半ノ二室ヲ有シ通例一戸ニ付二家族在住ス、各戸共便所ヲ有シ二三戸ニ一ツ當ニ水道栓ヲ引ク、電燈料ハ會社トノ特約ニヨリ一般ヨリハ稍安シ。

單身職工ノ爲メニハ寄宿舎ヲ設備ス、女工寄宿舎ハ二十棟ヨリ成リ之レニ二千三百人ヲ收容シ一人當リ一疊半ノ割合ニ疊ヲ敷ク、舍内ニ三ヶ所ノ洗面所一ヶ所ノ髮結場及百七個ノ便所ヲ設置ス。男工寄宿舎ハ三棟ヨリ成リ之レニ三百人ヲ收容シ一人ニ對スル疊ノ割合ハ略女工寄宿舎ト同ジ、舍内ニ三ヶ所ノ洗面所及三ヶ所ノ便所ヲ有ス。

家族ヲ有シナガラ社宅ニ居住セザルモノニ對シテハ家賃補助トシテ一ヶ月壹圓乃至壹圓五十錢ヲ支給ス之レガ一ヶ月ニ於ケル總金額ハ約百三十一圓ナリ。

## 六、東洋紡績株式會社四貫島工場

### 物資供給機關

當工場ニ於ケル物資供給機關ハ三軒家工場等ト同ジクシテ最近一ヶ月間ノ日用品分配所ノ賣上代金ハ六千九百九十九圓寄宿舎賣店ノ賣上代金ハ七千七百七十六圓ヲ算ス。又最近一ヶ月ニ米價補助トシテ支出セル總金額ハ約二千七百七十三圓ナリ。

食事ノ供給ハ一般職工ニ行ヒ食費トシテ男工一食分六錢女工一食分四錢ヲ徴ス

### 保健設備

男女兩寄宿舎ニ夫々一ヶ所及社宅内ニ一ヶ所ノ沐浴場ヲ設置ス、女工用浴場ハ五十五坪餘ノ面積ヲ有シ之レニ十坪餘ノ浴槽及藥湯浴槽ヲ備付ク、男工用浴場ハ十六坪ノ面積ヲ有シ其内ニ七坪餘ノ浴槽ヲ置ク、社宅浴場ノ面積ハ五十四坪ニテ其内ニ三坪餘ノ浴槽アリ、而シテ此ノ浴場ノミハ一錢ノ入浴料ヲ徴ス、此浴場ニハ社宅以外ノ通勤者モ入浴シ得ルコト、セリ。場内ニ病院ヲ建テ醫師三名代診一名藥劑師一名及看護婦三名ヲ常置シ無料ニテ病傷者ヲ診察治療ス、運動遊戯機關トシテ社宅遊園地ニテニスコート二ヶ所大弓場一ヶ所野球グラウンド一ヶ所及角力場一ヶ所ノ設ケアリ、テニスニ對シテハ當工場ノ特ニ意ヲ注グル所ニシテ其ノ施設ハ完備シ晝夜共ニ使用セシメ夜間ハ百燭光ノアーク燈ヲ點燈ス。



## 慰安方法

職工慰安ノ方法トシテ娛樂場ヲ場内ニ設ケ諸般ノ演藝ニ適スル設備ヲ爲シ毎月二三回演藝ヲ催シ觀覽セシム、又寫眞器械ヲ備ヘ暗室ヲ設ケ寫眞ニ趣味アル者ヲシテ人物山水等ヲ撮影セシメ時々其ノ成績品ヲ展覽シ相互ニ技ヲ爭ハシムルト共ニ娛樂ノ用ニ供ス。此外春秋二季ニハ奈良京都等ノ名所舊跡ヲ尋子或ハ近郊ニ遠足ヲ試ム。

## 教育施設

普通教育トシテハ私立認定ノ小學校ヲ設立シ學齡中ノ幼年工ヲ晝夜業ニ依リ二組ニ別チ朝夕三時間小學校ノ課程ヲ教授ス之レガ爲メ本科教員三名アリ二ツノ教室ニ於テ百人ノ生徒ヲ教フ、女子ノ爲メニハ裁縫教室ヲ設備シ朝夕二時間裁縫ヲ教授スルト共ニ茶湯活花ヲ教フ、之レガ爲メ教師三名ヲ置ク其他毎日二時間男女ニ對シ高等小學校程度ノ普通學科及技術ヲ教授シ補習的教育ヲ行フ。

場内ニ建坪二十九坪餘ヲ有スル託兒所ヲ設ケテ保姆二名ヲ置キ毎日約四十人ノ乳兒ヲ預ク。又社宅構内ニ保育所アリテ共ノ建坪ハ約四十二坪ニシテ之レニ嫁婦八名ヲ置キ毎日約八十人ノ幼兒ヲ保護ス。

職工ノ修養機關トシテハ男工ヨリ成ルニ葉會女工ノ品行方正ナルモノヨリ成ル美德會アリテ毎月一回會合ヲ催シ名士ヲ招聘シテ講話ヲ聽ク、又眞宗婦人會アリ毎月一回僧侶ヲ招聘

シテ法話ヲ聽聞シ相互ノ修養ヲ計ル。

尙社宅及寄宿舎ニハ小規模ナガラ圖書館ヲ設ケ書籍新聞及雜誌等ヲ備付ケ職工ヲシテ自由ニ閱覽セシメ以テ彼等ノ讀書趣味ノ養成ヲ計ラントス。

## 貯金及送金制度

本制度ハ三軒家工場ト同ジク貯金ハ任意ト強制トノ二種ニ別カル、最近一ヶ月ニ於ケル任意貯金ハ一千二百三十一圓餘、強制貯金ハ五千二百十圓餘ナリ。

送金ニ關シテハ別ニ定メラレタル制ハナケレドモ寄宿舎ニ在ル者ニシテ最近一ヶ月間ニ國元ニ送金セシモノハ約六千八百六十五圓餘ナリ、送金ノ際ハ爲替料等ハ一切工場ヨリ支出ス。

## 住居

職工ニシテ家族ヲ有スルモノノ爲メ社宅ノ設ケアリ、社宅ハ工場ヨリ稍離レタル所四圍閑靜ナル場所ニ在ル三百五十戸ノ二階家ナリ、階ノ上下共ニ概テ四疊半ト三疊トノ二室ヲ有シ之レニ二家族ノ居住スルヲ常トス、各戸ニ便所ヲ備ヘ二三戸ニ一ツ當ニ水道栓ヲ引ク、此外用水ヲ得ルタメニ井戸ヲ備フ。

單身職工ノ爲メ寄宿舎ヲ設ク、男工寄宿舎ニハ三百人女工寄宿舎ニハ二千人ヲ收容ス、前者ニハ一人當リ二疊ノ割合後者ニハ一人當リ一疊半ノ割合ニテ疊ヲ敷ク、男工寄宿舎ニハ二ヶ



所ノ便所及洗面所女工寄宿舍ニハ五十五箇所ノ便所四ヶ所ノ洗面所及一ヶ所ノ變結場ヲ設置ス。

當工場ニ於テモ三軒家工場等ト同ジク社宅以外ニ居住シ家族ヲ有スル職工ニ對シテハ家賃ノ補給ヲナセルガ最近一ヶ月間ニ於ケル此金額ハ約百五圓ナリ。

其他東洋紡績株式會社ニ於テハ所屬ノ各工場ニ在ル助役(職工ノ上役)ヲ一定期間四貫島工場寄宿舍ニ集メ彼等ニ一般常識ノ養成ニ須要ナル學科ヲ教フルト共ニ紡績業ニ必要ノ技術ヲ授ク。

## 七、東洋紡績株式會社西成工場

### 物資供給機關

當工場ハ米麥薪炭及諸種ノ日用品ヲ四貫島分配所ヨリ受ケテ一般従業員ニ販賣ス、而シテ之レガ賣上代金ハ四貫島分配所ノソレニ含マル。

別ニ寄宿舍ニ賣店ヲ設ケ日用品及化粧品等ヲ廉賣ス、最近一ヶ月間ニ於ケル之レガ賣上代金ハ一千百九十五圓ヲ算ス。

従業員ニ對シテハ食事ノ供給ヲ爲スガ其食費等ハ四貫島工場ト同ジ。

### 保健設備

工場及女工寄宿舍内ニ沐浴場ノ設ケアリ、前者ハ男工後者ハ女工ノ入浴スル所ノモノニシテ前者ハ七坪半ノ面積ヲ有シ其内ニ幅四尺六寸長サ六尺二寸ノ浴槽ヲ備ヘ後者ハ十六坪ノ面積ヲ有シ其内ニ幅四尺四寸長サ十三尺八寸ノ浴槽ヲ置ク。

病傷者ヲ診察治療スルタメ醫務局及病室ヲ設ケ此處ニ醫師一名藥劑師一名及看護婦三名ヲ常置ス。

運動遊戯ノ機關トシテハ女工寄宿舍遊園地ニ遊動圓木一ツ回轉木一ツ及鞦韆一ツヲ備付ケ自由ニ之レヲ使用セシム。

### 慰安方法

娛樂機關トシテ寄宿舍ニ娛樂室ノ設ケアリ之レニオルガンヲ初メ關球盤等ヲ備付ケ自由ニ使用セシム。

春秋二季ニ於テハ京都奈良等ヲ初メ近郊ニ遠足ニ出掛ケテ職工平日ノ勞苦ヲ慰藉ス、別ニ眞宗婦人會員ヲシテ毎年初秩ニ本願寺ニ參拜セシム。又陽春ノ四月ニハ遊園地ニ於テ稻荷神社ノ大祭ヲ執行シ當日ハ模擬店ヲ開キ従業員一同ニハ酒肴料ヲ交附シ歡樂ヲ盡サシム。

### 教育施設

普通教育機關トシテ場内ニ小學校ヲ設ケ學齡中ノ幼年工ヲ晝夜業ニヨリ二組ニ別チ朝夕



二時間小學校ノ課程ヲ教授ス、此處ニ教師二名生徒四十五名ヲ有ス、女子ノ爲メニハ別ニ裁縫教室ヲ設ケ此處ニテ裁縫ヲ初メ茶ノ湯活花等ヲ教フ、之レガ毎日ノ出席者ハ約七十名ナリ。修養機關トシテハ組織立チタルモノハナケレドモ毎月一回會合ヲ催シ僧侶ヲ招聘シテ講話會ヲ開ク。

### 貯金及送金制度

本制度ハ三軒家四貫島等ノ工場ト同ジモノナルガ最近一ヶ月間ニ於ケル強制貯金ハ二百三十二圓餘ニシテ任意貯金ハ一千四百四十七圓餘ナリ。而シテ寄宿者ノ送金額ハ約一千五百二十六圓餘ナリ。

### 住居

家族ヲ有スル職工ノ爲メ社宅ノ設ケアリ、ハ工場ヨリ稍隔タリタル所ニ在リテ八十四戸ヲ有ス。之レハ全部二階家ニテ概ネ階ノ上下共ニ四疊半ト三疊トノ二室ヨリ成ル、各戸共便所ヲ備ヘ飲料水及用水ハ構内ニ在ル數個ノ井戸ヨリ取ル。

單身職工ノ爲メ寄宿舎ヲ設ク、女工寄宿舎ハ工場ノ南方河水ヲ隔テ、閑靜ナル處ニ建テラレタル二階家ニシテ周圍河水ヲ以テ圍マレ他ノ社會ヨリハ全然隔離セラレタル感アリ、舍内ニ一千〇六十七疊ノ疊ヲ數キ之レニ四百二十人ヲ收容ス、舍内ニ四ヶ所ノ便所一ヶ所ノ洗面

所及五ヶ所ノ髮結場ヲ備フ。男工寄宿舎ハ工場ニ接近シテ建テラレタル二階家ニシテ之レニ一人當二疊ノ割合ニ疊ヲ數キ七十人ヲ收容ス、舍内ニ一ヶ所ノ便所及洗面所ヲ設ク。

其他家賃補給方法ハ四貫島工場等ノ項ニ於テ述ベタルモノト略同一ニシテ之レガタメ當工場ニ於テ最近一ヶ月間ニ支出セル金額ハ約二十一圓ナリ。

## 八、鐘淵紡績株式會社大阪支店

### 共濟制度

鐘淵紡績株式會社ニ鐘紡共濟組合アリ、本制度ハ會社ノ保護監督ノ下ニ雇人ノ災害事故ニ付雇人が共同的ニ相互救濟ヲ爲スモノニシテ全然獨立シタル組合制度ニテ明治三十八年ニ創立シ爾來幾多ノ改正變更ヲ加ヘ今日ニ至レルモノナリ、今其組織救濟ノ範圍及方法等ノ概要ニ付左ニ記セン。

### 一、組織及組合員

本組合ハ會社保護監督ノ下ニ會社雇人ヲ以テ組織ス。  
組合員ヲ分チテ特別組合員及通常組合員ノ二種トス。  
特別組合員トハ會社雇人中月給金五十圓以上ヲ受クルモノ、通常組合員トハ會社雇人中特別組合員ニアラザルモノヲ云フ。



## 二、救済ノ範圍及方法

### (一) 病氣負傷又ハ妊娠ノ場合

組合員病氣又ハ負傷ノ爲メ勞働不能トナリタルトキハ組合ハ醫師ノ證明ニヨリ會社缺勤四日目ヨリ療養中一日ニ付當時ノ給料七分ニ相當スル扶助料ヲ給ス。但シ此場合ニ於テ會社ヨリ給料ノ幾分ヲ支給セラレ、トキハ其支給額ト組合ヨリノ扶助料トヲ合シ給料全額ヲ超過スルコトヲ得ズ。此場合ニ於テ組合員會社所屬ノ病院又ハ會社指定ノ病院ニ入院シ會社ノ費用ヲ以テ治療ヲ受ケタル場合ハ本組合ハ規定ノ扶助料ノ内十分ノ三ヲ本人ニ支給シ殘額ハ直接會社ニ支拂ス。組合加入後三ヶ月ヲ經過シタル組合員ニシテ直接扶養ノ義務アルモノニ對シテハ前項ノ扶助料ヲ特ニ給料全額迄増額スルコトヲ得。而シテ扶助料給與期間ハ一回百二十日ヲ限リトス。但シ五ヶ年以上引續キ本組合員タルモノニ對シテハ特ニ其期間ヲ百八十日迄ニ延長スルコトヲ得。組合員業務ノ爲メ負傷シ又ハ病氣ニ罹リタルトキハ本組合ハ醫師ノ證明ニヨリ左ノ各號ノ救済ヲ爲ス。

一、負傷又ハ病氣ニ罹リタル當日ヨリ無料ニテ診察及ビ治療ヲ受ケシメ又ハ醫師ノ認ムル藥劑繻帶其他ノ必需品ヲ給與ス。

二、欠勤當日ヨリ病氣又ハ負傷全治マデ一日ニ付從來ノ給料全額ニ相當スル扶助料ヲ給ス。

業務上ノ負傷又ハ病氣治愈シタルトキニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スル程度ノ身體障ヤヲ存スル組合員ニ對シテハ組合ハ本部委員會ノ決議ニヨリ左ノ區別ニ從ヒ病氣又ハ負傷手當金ヲ給ス。

一、終身自由ヲ辨ズルコト能ハザルモノ

給 料 五百日分以上

給 料 六百日分以上

二、終身勞働ニ服スルコト能ハザルモノ

給 料 三百日分以上

給 料 四百日分以上

三、從來ノ勞働ニ服スルコト能ハザルモノ、健康舊復セザルモノ又ハ女子ノ外貌醜痕ヲ殘シタルモノ

給 料 百五十日以上

給 料 三百日分以上



四、身體ヲ障害シ舊ニ復スルコト能ハズト雖モ引續キ從來ノ勞務ニ服スルコトヲ得ルモ

給料 三十日分以上  
百五十日分以上

組合員妊娠又ハ分娩ノタメ勞働不能トナリタルトキハ組合ハ醫師ノ證明ニヨリ欠勤當日ヨリ一日ニ付當時ノ給料七分ニ相當スル扶助料ヲ給ス但シ救済期間ハ分娩前三十日、分娩後四十五日ヲ限リトスレドモ前後各二十日ヲ除キタル殘餘期間ハ之レヲ通算スルヲ妨グズ。

(三) 死亡ノ場合

組合員病氣又ハ負傷ノ爲メ死亡シタルトキハ組合ハ其遺族ニ對シ左ノ各號ノ救済ヲ爲ス

一、葬式料 金二十圓以下

一、遺族扶助料 給料 三十日分以上  
五百日分以上

業務ノ爲メ負傷シ又ハ病氣ニ罹リタル組合員即死又ハ治療中死亡シタルトキハ組合ハ本部委員會ノ決議ニヨリ其遺族ニ對シ左ノ各號ノ救済ヲナス。

一、葬式料 金四十圓以下

一、遺族扶助料 給料 四百日分以上  
七百日分以上

組合員ノ夫又ハ妻死亡シタルトキハ組合ハ其配偶者ニ對シ左ノ救済ヲナス。  
但シ死亡者組合員タルトキハ此限リニアラズ。

一、弔慰料 金十五圓以下

(四) 年金

組合員中男子ニシテ七ケ年女子ニシテ三ケ年勤續シタルモノニ對シテハ組合ハ在社中年金ヲ給ス、年金額ハ資格出來當時ノ給料百分ノ五トス左記組合員退社シタルトキハ組合ハ退社後十五ケ年間ハ現ニ受ケツ、アル年金ト同額ノ年金ヲ給ス。

一、男子ニシテ十五ケ年以上勤續シタルモノ

一、女子ニシテ十ケ年以上勤續シタルモノ

給與期間中本人死亡シタルトキハ死後一ケ年間ノ年金額ヲ限度トシ其遺族ニ弔慰料ヲ給與ス、

組合員中男子ニシテ十ケ年以上女子ニシテ五ケ年以上勤續シタルモノ病氣負傷又ハ老衰ノタメ勞働不能トナリ退社スルトキハ組合ハ退社後五ケ年乃至十ケ年ノ範圍ニ於テ現ニ受ケツ、アル年金ト同額ノ年金ヲ給ス。



給與期間中本人死亡シタルトキハ死後一ケ年間ノ年金額ヲ限度トシ其遺族ニ弔慰料ヲ給與ス。

業務上ノ負傷又ハ病氣ノ結果トシテ終身自由ヲ辨ズルコト能ハザルモノ、業務ニ服スルコト能ハザルモノ及ビ從來ノ勞務ニ服スルコト能ハザルモノ、健康舊ニ回復セザルモノ等ニ對シテハ組合ハ在社中負傷又ハ罹病當時ノ給料百分ノ七ニ相當スル年金ヲ給ス。

### 三、醜 金

組合員ハ毎月保険料トシテ給料月額百分ノ三ヲ醜出スルモノトス

組合員中組合加入後五ケ年以上一回モ救済ヲ受ケザリシ者ニ對シテハ左ノ割合ニヨリ拂込保険料ノ一部ヲ免除ス。

- 一、勤続五ケ年ニ及ブトキハ以後三分ノ一
  - 一、勤続十ケ年ニ及ブトキハ以後三分ノ二
- 會社ハ每期收入保険料ノ半額以上ニ相當スル金額ヲ補給ス。

### 物資供給機關

物資廉賣ノ施設トシテハ用途係アリテ白米薪炭等ヲ問屋ヨリ購入シ之レヲ低廉ナル價額ニテ従業員ニ供給ス即白米ハ一石二十七圓薪炭ハ時價ヨリ二割五分安ニシテ之レガ最近一

ケ月間ノ賣上代金ハ白米約四千四百四十圓薪八十九圓餘ニシテ炭一百七十圓餘ナリ。別ニ社宅内ニ賣店ヲ設ケ日用品等ヲ原價ニテ販賣ス之レカ最近一ケ月間ニ於ケル賣上代金ハ三千八百圓ヲ算ス。此外寄宿舎ニハ物品分配所ノ設ケアリ化粧品飲食物及其他雜貨ヲ備ヘ付ケ原價販賣ヲ爲ス之レガ最近一ケ月間ノ賣上高ハ約六千三百五十圓ナリ。

寄宿者ハ勿論通勤者ニ對シテモ食堂ヲ設ケ男工朝食四錢晝夕食共ニ五錢女工朝食二錢五厘晝夕食三錢五厘ノ割合ニ食費ヲ徴シテ食事ノ供給ヲ爲ス。又社宅在住者ノ家族ノ便宜ヲ圖リ社宅構内ニ簡易食堂ヲ設置シ食代トシテ朝食七錢晝食八錢夕食九錢五厘ヲ徴ス。

### 保健設備

場内ニ二ヶ所社宅内ニ一ヶ所ノ沐浴場アリ、場内浴場ノ一ツハ女工寄宿者ノ爲メ造ラシタルモノニシテ五十六坪餘ノ面積ヲ有シ他ノ一ヶ所ハ通勤者及寄宿男工ノ入浴スル所ノモノニシテ三十二坪ノ面積ヲ有シ之レヲ男女ニヨリ二ツニ區劃ス、社宅浴場ハ六十三坪ノ面積ヲ有シ之レヲ男女ノ二ツニ區劃ス、而シテ大人一錢小兒五厘ノ割合ニテ入浴料ヲ徴收ス。

作業場ヨリ離レタル處女工寄宿舎ト男工寄宿舎トノ中間ニ病院ノ設ケアリ、之レニ醫員三名藥劑師一名及ビ看護婦五名ヲ常置シ病傷者ヲ診察治療ス。

### 慰安方法



先づ男工ノ爲メニ俱樂部ノ設ケアリ玉突圍碁及將棋等ヲ備付タルト共ニ雜誌新聞類ヲ置キ娛樂及ビ修養ノ機關トナス。次ニ規模ノ大ナル娛樂場ヲ場内ニ設置シ毎月二回乃至四回一般ノ演藝ヲ催シ従業員及其ノ家族ヲ觀覽セシム、春秋二季ニハ一同ヲ引キ連レ奈良京都等ニ遠足ヲ試ミ以テ平日ノ勞苦ヲ慰ム。又女工寄宿舎ニ一棟ニ二ツノ割合ニテ自修室ヲ設ケピンポン關球盤等ヲ備ヘ自由ニ使用セシム。

### 教育施設

本施設トシテハ寄宿舎内ニ私立認定ノ小學校アリ幼年工ヲ晝夜業ニヨリ二組ニ別チ朝夕三時間規定ノ教科ヲ授ク、此處ニ教師三名生徒百八十人ヲ有ス。別ニ裁縫室ノ設ケアリ裁縫ヲ始メ茶ノ湯生花女禮式ヲ教授シ、之レガタメ專任ノ教師三名ヲ置ク。當工場ニテハ托兒所ノ如キ施設ヲ有セズ、然シ職工ニシテ三歳未滿ノ幼兒ヲ抱キ從業ノ妨害トナル者ニハ一ヶ月分二圓ノ補助金ヲ給與シテ他家ニ預ケシム。職工修養ノ機關トシテハ特筆スベキモノナク只時々僧侶及名士ヲ聘シテ講話ヲ聽聞セシムノミ。

### 貯金及送金制度

職工ノ貯金及ビ送金ニ關シテハ會社ノ特ニ意ヲ注ゲル所ニシテ貯金ニ對シテハ會社ヨリ年一割ノ利息ヲ附シ送金ノ際ハ凡テノ費用ヲ會社ニテ支辨ス、最近一ヶ月間ニ於ケル貯金總額ハ四千四百五十五圓ニシテ寄宿女工ノ送金總額ハ三千四百六十六圓ナリ。

### 住居

家族ヲ有スル職工ノ爲メ平家二百四十九戸ヲ建ツ之レヲ大小ニヨリテ甲乙丙丁ノ四種類ニ別チ大ハ疊二十四疊小ハ七疊半ヲ敷ク、其家賃ハ大五圓小一圓五十錢ニシテ其他ハ此ノ中間ニアリ、各戸ニ便所ヲ有シ水道栓ハ甲社宅ニハ一戸一ツ當ニ備フルモ他ハ共用ナリ。單身職工ノ爲メ寄宿舎ヲ設ク、女工寄宿舎ハ五棟ノ二階室ヨリ成リ之レニ疊三千疊ヲ敷キ千五百人ヲ收容ス、舍内ニ九ヶ所ノ便所及洗面所アリ又百八十個ノ姿見鏡ヲ備フ髮結室ヲ設ク。男工寄宿舎ハ二棟ノ二階室ヨリ成リ之レニ疊百四十疊ヲ敷キ百四十人ヲ收容ス、舍内ニハ一ヶ所ノ便所及洗面所ヲ設ク。

當會社ニアリテハ社宅以外ノ通勤者ニ對シ住宅料トシテ一ヶ月分二圓二十五錢乃至六圓二十五錢ヲ支給スルコト、ナレルガ最近一ヶ月間ノ之レ就總金額ハ約四百四十一圓ナリ。

## 九、鐘淵紡績株式會社淀川工場

### 共濟制度





鐘淵紡績株式會社ノ共濟制度ニ就テハ既ニ大阪支店ノ場合ニ述ベタレバ茲ニ再記ヲ省ク

### 物資供給機關

物資廉賣ノ爲メ場内ニ物品渡場ヲ設ケ従業員ニ對シ米麥薪炭ヲ初メ諸種ノ物資ヲ低廉ニテ供給ス、米麥薪炭ハ大阪支店用途係ヨリ供給ヲ受ケ其賣價ハ該支店ト異ナラズ、他ハ當工場ニテ直接問屋ヨリ購入シ原價販賣ヲ爲ス、最近一ヶ月間ニ於ケル賣上高ハ白米二百三十九圓薪炭十三圓ニシテ他ハ一日二十八圓乃至二十九圓ヲ算ス。之レガ販賣ノ方法トシテ五厘一錢五錢十錢ノ四種ノ金券(代券)ヲ發行シ其金高ガ所得以上ニ出デザル範圍ニ於テ隨時之レヲ交附シ使用セシム。

物品渡場ニ附設シテ簡易食堂ノ設ケアリ、従業員及其家族ニ低廉ニテ和洋食ヲ供給ス。其他構内ニ食堂ヲ設ケ男工朝食五錢晝夕食共ニ六錢女工朝食四錢晝夕食共ニ五錢ノ割合ニテ食費ヲ徴シテ食事ノ供給ヲ爲ス。而シテ工場ハ之レガ補助トシテ一日一人當リ約三十錢ヲ支出ス。

### 保健設備

場内ニ五十坪ノ面積ヲ有スル沐浴場ノ設ケアリ其内ニ三坪ノ浴槽ヲ備フ、之ヲ男女ニヨリ二ツニ區劃シ従業員ハ無料其家族ヨリハ一人ニ付一ヶ月十錢ノ入浴料ヲ徴シテ入浴セシム。

又場内ニ病院ヲ設ケ之レニ醫師一名藥劑師一名及看護婦三名ヲ常置シ病傷者ヲ無料ニテ診察治療ス別ニ日曜日ニハ囑託ノ齒科醫一名來診ス。

運動機關トシテハ庭球及野球ニ關スル施設ヲナシ又疊四十疊ヲ敷ク柔道擊劍ノ道場一棟ヲ建テ運動ヲ獎勵ス。

### 慰安方法及教育施設

慰安方法トシテハ舞臺ヲ食堂ノ一部ニ附設シテ娛樂場トナシ時々演藝ヲ催シ従業員及其家族ニ觀覽セシムル外一ヶ月二回ノ割合ヲ以テ郊外ニ遠足ヲ試ミ以テ彼等平日ノ勞苦ヲ慰ム。

又俱樂部ノ設ケアリ淀川俱樂部ト稱シ、讀書室遊戲室及談話室等ヲ設ケ之レニ夫々適應セル設備ヲ爲シ娛樂及修養ノ機關トシテ之レヲ使用セシム、而シテ各自ノ趣味ニ應ジテ種々ノ小俱樂部ヲ造リワグネル俱樂部アマチャ俱樂部等ノ名ヲ附ス、之等ノ俱樂部ニ於テ毎月一回開カル、茶話會ニハ工場長列席シ共ニ親睦ヲ計リ又時々彼等ノ思想ノ是非ニ付批評ヲ試ミ以テ彼等ノ善導ニ努ム。

其他時々家族ノ爲メ名士ヲ招聘シテ倫理及衛生等ノ問題ニ就イテ講話ヲ乞フ。

### 貯金制度



職工ノ貯金ニ關シテハ最モ意ヲ用フル所ニシテ之レガ獎勵ニ努メ毎月所得ノ多寡ニ應ジテ幾分カヲ預金セシメ會社ハ之レニ年一割ノ利息ヲ附ス、之レガ最近一ヶ月間ニ於ケル總額ハ約五百圓ナリ。

### 住 居

家族ヲ有スル職工ノ爲メ社宅ヲ設ク、社宅ハ工場ノ北側ニ接近シテ建テラレタル六十四戸ノ平家ニシテ其ノ小ナルモノハ六疊ト四疊半トノ二室其ノ大ナルモノハ六疊一室及四疊半二室ヲ有ス而シテ之レガ家賃ハ一ヶ月小一圓十錢大ハ二圓五十錢ナリ、(各戸ニ水道及便所ヲ備フ)

單身職工ノ爲メ寄宿舎ノ設ケアリ、東西ニ延ビタル一棟ノ平家ニシテ之レニ六十人ヲ收容シ八疊大ノ室ニ四人ヲ起臥セシム、舍内ニ一ヶ所ノ洗面所及便所ヲ備フ、而シテ洗面器ハ各人ニ一個當リニ給與シ他人ニ使用セシメザル様ニナシ以テ疾病ノ傳染ヲ防グ。此外目下北側ニアタリテ百人ヲ收容スルニ足ル一棟ヲ建築中ナリ。

## 一〇、大阪合同紡績株式會社天滿支店

### 物資供給機關

當支店ハ白米ノ廉賣ヲ行ヒ一升三十錢ニテ一般従業員ニ販賣ス而シテ出勤者一人ニ對シ一日一升ヲ限度トシ缺勤者ニハ給セズ最近一ヶ月ニ於ケル之レガ配給高ハ約九十石ナリ。寄宿舎ニハ賣店ノ設ケアリ日用品吳服物及菓子類ヲ原價ニテ寄宿在住者ニ販賣ス、最近一ヶ月間ノ之レガ賣上代金ハ約一千五圓ヲ算ス。

寄宿職工ハ勿論通勤者ノ爲メニモ食堂ヲ設ケ通勤男工一日分廿錢同女工一日分十五錢寄宿男工一日分十五錢同女工十錢ノ食費ヲ徴シテ食事ノ供給ヲ爲ス之レガ補給費ハ一日一人當リ約十七八錢ナリ。

### 保 健 設 備

寄宿舎及社宅ニ沐浴場ヲ設置ス、寄宿女工浴場ハ二十坪ノ面積ヲ有シ其内ニ三坪ノ浴槽ヲ備ヘ社宅浴場ハ三十坪ノ面積ヲ有シ之レヲ男女ニヨリ二ツニ區劃シ各ニ二坪ノ浴槽ヲ置ク而シテ寄宿男工ハ社宅浴場ニ入浴セシム、入浴料トシテハ寄宿者ハ勿論社宅在住者ヨリモ一切徴セズ。

場内ニ醫務局及病室ヲ設ケ之レニ醫師三名藥劑師一名及看護婦十名ヲ常置シ病傷者ヲ診察治療ス。

### 慰 安 方 法



之レガ方法トシテハ毎月一回演藝ヲ催シテ觀覽セシムル外毎年一回運動會ヲ開クニ過ギズ。

### 教育施設

私立認定ノ小學校アリ學齡中ノ幼年工ヲ晝夜業ニヨリテ二組ニ分チ朝夕二時間規定ノ教科ヲ授ク。

### 貯金及送金制度

當工場従業員ニシテ月收五圓以上ノ者ニハ毎月男工一人ニ付五十錢女工一人ニ付三十錢ヲ殆ンド強制的ニ貯金セシム、最近一ヶ月間ノ之レガ預金總額ハ約九百圓ナリ。寄宿舎ニ在ル者ニ對シテハ送金ノ獎勵ニ努メ之レガ費用ハ會社ヨリ支出スルコト、セルガ最近一ヶ月間ニ於ケル此ノ金額約二千五百圓ナリ。

### 住居

家族ヲ有スル職工ノ爲メ社宅ヲ設ク、社宅ハ工場ノ附近ニ在リテ三百二十二戸ヲ有ス。單身職工ノ爲メ寄宿舎ノ設ケアリ、男工寄宿舎ハ二棟ノ二階家ニシテ之レニ百五十人ヲ收容ス、而シテ寢室ハ他工場ト趣ヲ異ニシテ人數ニ應ジテ寢臺ヲ備フ、舎内ニ一ヶ所ノ便所及洗面所アリ。女工寄宿舎ハ五棟ノ二階家ニシテ之レニ疊二千三百疊ヲ數キ一千二百人ヲ收容

ス、此處ニ六ヶ所ノ便所及洗面所ノ設ケアリ。住宅料ハ目下支給セズ然レドモ其ノ必要ヲ認メ支給方ニ就キ考案中ナリト。

## 一、大阪合同紡績株式會社今宮支店

### 物資供給機關

當工場ニアリテハ白米ノ廉賣ヲ行フ代リニ米代ノ補給ヲナス即チ白米一升ヲ三十錢ト假定シ之レト時價トノ差額ニ相當スル金員ヲ支給ス、之ノ支給額ハ従業員一人ニ付六合其家族一人ニ付四合ノ割ト爲ス。寄宿舎内ニハ賣店ヲ設ケ雜貨ノ原價販賣ヲ爲ス最近一ヶ月間ノ之レガ賣上代金ハ約二百圓ヲ算ス。

場内ニ食堂ノ設ケアリテ通勤男工一日分十八錢同女工一日分十四錢寄宿女工一日分十錢ノ割ヲ以テ食費ヲ徴シ食事ノ供給ヲ爲ス、之レガ補給トシテ工場ハ一日一人當約十四錢ヲ支給ス。

### 保健設備

寄宿舎ニハ沐浴場ノ設ケアルモ通勤者ノ入浴スルモノナシ、此ノ浴場ハ六坪ノ面積ヲ有シ其内ニ約一坪半ノ浴槽ヲ備フ。



場内ニ醫務局及病室ヲ設ケ之レニ醫師一名藥劑師一名及看護婦一名ヲ常置シ病傷者ヲ診察治療ス。

### 慰安方法

之レガ方法トシテハ食堂ヲ利用シテ時々演藝ヲ催シ従業員ニ觀覽セシメ又年一回運動會ヲ舉行ス、外ニ陽春四月ニハ稻荷大祭ヲ執行シ餘興ヲ行ヒ折詰等ヲ興へ平日ノ勞苦ヲ慰ム

### 教育施設

寄宿舎ニ裁縫室ノ設ケアリ一人ノ教師毎日教授ノ任ニ當ル。幼年工ニシテ學齡中ノ者ニハ學用品ヲ給シ夜間學校ニ通ハシム目下此ノ兒童八名ヲ有ス。

### 貯金及送金制度

當工場ニ於テハ毎月男工五十錢女工三十錢ノ割ニテ貯金セシメツ、アリ一ヶ月ニ於ケル此ノ總金額ハ約二百圓ナリ。送金ハ多ク寄宿舎ニ在ルモノニヨリ爲サレ之レガ一ヶ月ニ於ケル金額ハ二百圓ヲ下ラズ。

### 住居

家族ヲ有スル職工ノ爲メ社宅ノ設ケアリ、社宅ニハ二階家ト平家トノ二種アリ兩者合シテ百

餘戸ヲ有ス、二階家ハ概テ階上ニ疊九疊階ト二十三疊半ヲ敷キ平家ハ疊十一疊半ヲ敷ク、便所ハ専用ナルト共用ナルトアリ水道栓ハ數戸ニ一ツ當リニ引キ共用トス、而シテ二階家ノ家賃ハ一ヶ月二圓ニシテ平家ハ一ヶ月一圓ナリ。

單身女工ノ爲メ寄宿舎ノ設ケアリ、之レハ二棟ノ二階家ニシテ此處ニ二百人ヲ收容ス、而シテ一人當リ約一疊七分ノ割合ニ疊ヲ敷ク、舎内ニ一ヶ所ノ便所洗面所及二ヶ所ノ髮結室ヲ設ク。

## 一一、毛斯綸紡績株式會社

### 共濟制度

毛斯綸紡績株式會社ニ共濟組合アリ之レヲ工手相愛組合ト稱シ會社ノ保護監督ノ下ニ工手自身ガ相互ニ救濟ヲ行フ機關ニシテ明治四十四年ノ創立ニ懸リ爾來改正變更ヲ加ハ今日ニ至レリ、之レガ組織救濟ノ範圍及方法等ニ就キ左ニ概述セン。

### 一、組織

本組合ハ會社ノ保護監督ノ下ニ本社及分工場ニ勤務スル男女職工ヲ以テ組織ス。

### 二、救濟ノ範圍及方法



(一) 病氣及負傷ノ場合

組合員ニシテ疾病ニ罹リ缺勤二週間以上ニ及ビタル者ハ見舞金ヲ給ス。

組合員ニシテ業務上負傷シ十日以上醫師ノ治療ヲ受ケ尙業務ヲ執ルコト能ハザルモノハ三圓乃至十五圓ノ見舞金ヲ給ス。

組合員ニシテ業務上傷病ニ罹リタル後治愈スルモ左ノ各號ノ一ニ該當スル身体障害ヲ存スル時ハ左ニ掲グル區別ニ依リ障害扶助料ヲ給ス。

一、終身日用ヲ辨スルコト能ハザルモノ

五十圓乃至二百圓

二、終身日用ヲ辨スルコトヲ得ト雖終身勞務ニ服スルコト能ハザルモノ

三十圓乃至百五十圓

三、從來ノ勞務ニ服スルコト能ハザルモノ、健康舊ニ復スルコト能ハザルモノ又ハ女子ノ

外貌ニ著シク醜痕ヲ殘シタルモノ

二十圓乃至百圓

四、身体ヲ傷害シ舊ニ復スルコト能ハズト雖引續キ從來ノ勞務ニ服スルコトヲ得ルモノ

五圓乃至五十圓

(二) 死亡ノ場合

組合員業務上死亡シタル時ハ遺族ニ一百圓乃至三百圓ノ扶助料ヲ給ス

組合員ニシテ死亡シタル者ニハ香奠金ヲ給ス

前項ノ遺族ニシテ特ニ悲惨ナルモノハ詮議ノ上別ニ慰安金ヲ給スルコトアリ

組合員ノ父母若クハ夫妻死亡シタルトキハ香奠金ヲ給ス

(三) 其他吉凶ノ場合

組合員中有夫ノ婦ニシテ分娩後勞働スルコト能ハザル場合ニ於テ醫師ノ證明書ヲ以テ證明シタル者ハ見舞金ヲ給ス。

組合員ニシテ火災水災震災等不可抗力ノ災害ニ罹リリタルモノハ見舞金ヲ給ス。

組合員ニシテ正當ノ初婚ヲ爲シタルモノ及入營スルモノハ祝賀金ヲ給ス。

組合員ニシテ平素品行方正且職務精勵ナル者ニシテ三ヶ年以上勤續シ家事ノ都合ニ依リ

退社シタル者ハ慰勞金ヲ給ス。

三、 酬 金

組合員ハ掛金トシテ入社ノ翌月ヨリ毎月五錢ヲ支出スルモノトス。

會社ハ本組合ガ其ノ積立金ノ利子ヲ以テ諸給與金ヲ支出シ得ルニ至ル迄組合釀出金ノ三分ノ二ヲ補給ス。



#### 四、最近一ヶ年醸金及支出總額

- 一、一千九百五十五圓      本社組合掛金
- 一、一千三百六十六圓      本社補助金
- 一、二千六百五十五圓      支出金額

#### 物資供給機關

物資廉價ノ爲メ會社内ニ販賣所ヲ設ケ白米ハ原價ノ約七割牛乳ハ五割其他ノ日用品ハ原價若シクハ其レヨリ稍廉價ニテ一般従業員ニ供給ス、最近半期間ニ於ケル賣上高ハ白米一萬三千七百七十一圓餘此ノ一ヶ月平均約二千二百八十五圓、牛乳八百四十二圓此ノ一ヶ月平均約百四十四圓ニシテ其他ノ日用品ハ一ヶ月二千圓内外ナリ。

食事供給機關トシテ食堂アリ食費男工一日分十二錢女工一日分九錢ヲ徴シテ食事ノ供給ヲ爲ス、而シテ之レガ補給トシテ會社ガ支出スル金額ハ一日一人當リ約三十錢ナリ。

#### 保健設備

場内ニ沐浴場二ツアリ一ハ女工寄宿舎内ニ在リテ二百五十餘坪ノ面積ヲ有シ其内ニ幅一間長サ四間ノ長方形ノ浴槽三箇及一間平方ノ藥湯浴槽一箇ヲ備付ケ他ハ通勤者及寄宿所男工ノ人浴スル所ノモノニシテ約四十坪ノ面積ヲ有シ之レヲ男女ニヨリ二ツニ區劃シ各ニ幅一

間長サ一間半ノ浴槽一箇ヲ置ク。

場内ニ醫務局及病室ノ設備アリ之レハ寄宿舎ノ東北ニ在ル三棟ノ平家及ビ一棟ノ二階家ニシテ之レニ醫師二名助手二名藥劑師一名ノ外看護婦若干名ヲ常置シ病傷者ヲ診察治療ス

#### 慰安方法

醫務局ノ前面ニ當リ建坪百六十一坪ヲ有スル木造ノ講堂アリ此處ニテ毎月二回演藝ヲ舉フシテ職工一同ニ觀覽セシム。其他慰安方法トシテハ毎年一回各部ノ女工ヲ引キ連レテ遠足ヲ試ミ室長ノ爲メニハ時々慰勞旅行ヲ行ヒ茶話會ヲ開キ新人女工ノ爲メニハ市内見物ヲ行フノミナラズ毎年陽春四月ニハ稻荷大祭ヲ執行シ當日ハ餘興ヲ行ヒ其ノ家族ヲモ招待シテ觀覽セシメ又模擬店ヲ設クル等種々ノ手段ヲ盡シテ歡樂ヲ盡サシム。

#### 教育施設

教育施設トシテハ私立認定ノ小學校アリ目下講堂ヲ利用シテ學齡中ノ幼年工ニ對シ朝夕二三時間規定ノ課程ヲ授ク目下之レガ生徒二十八人ヲ有ス、女工ニ對シテハ裁縫ヲ始メ茶湯活花等ヲ教フ、之レガ出席者ハ毎日約六七十人ナリ。

修養機關トシテハ役付男工ノ組織スル修養會アリテ毎月一回名士或ハ高級社員ノ講話ヲ聽ク此ノ外毎月二回僧侶ヲ招聘シテ講話會ヲ開ク。



### 貯金及送金制度

四六

貯金及送金ニ就イテハ會社ノ特ニ意ヲ注グル所ニシテ貯金成績ノ佳良ナルモノニハ一ヶ月約一圓ノ賞與ヲ與ヘ送金ノ手数料ハ全部會社ヨリ支辨ス。  
寄宿者一ヶ月ノ貯金總額ハ約一萬圓ニシテ送金總額モ略ボ之レト同ジ。

### 住居

家族ヲ有スル職工ノ爲メ社宅ノ設ケアリ、社宅ハ豊崎町本庄ニアリテ四十八戸ヲ有ス、二階家ノ階上ハ三疊ト二疊トノ二室同階下ハ六疊ト三疊トノ二室ヲ有シ之レガ家賃トシテ階上一ヶ月一圓二十錢階下二圓ヲ徵ス、平家ハ四疊半一室及二疊二室ヲ有シ之レガ家賃トシテ一ヶ月二圓ヲ徵ス、各戸共ニ便所及水道栓ヲ備フ。

單身女工ノ爲メ寄宿舎單身男工ノ爲メ合宿所ヲ設ク、寄宿舎ハ十一棟ノ二階家ヨリ成リ其中二棟ハ最近ノ新築ニ懸ルモノナリ、之レニ疊二千八百疊餘ヲ敷キ三千人ヲ收容ス、一棟ニ洗面所及便所各一ヶ所及ビ髮結室二ヶ所ヲ設置ス。合宿所ハ中津町ト豊崎町トノ二ヶ所ニ在ル二階家ニシテ六疊大ノ室ニ六名ヲ收容ス、而シテ之レガ總收容人員ハ九十八人ナリ

### 一三、福島紡績株式會社

#### 共濟制度

從來福島紡績株式會社ニ共濟ノ制度アリ救濟費用處辨ノ爲メ職工ハ毎月賃銀ノ百分ノ一ヲ支出シ會社ハ別ニ積立テタル工手保護資金ヲ以テ之レヲ補足シ來リタルガ目下職工ニハ一切醜出セシメス專ラ會社ノミニテ救濟ヲ行フコト、ナレリ、今救濟ノ範圍及方法等ニ付概要ヲ擧グレバ左ノ如シ。

一、職工罹病若シクハ負傷シタル場合ハ其届出ニ依リ社醫ノ檢診ニ基キ適當ノ治療ヲ施シ其性質種類ニ依リ必要ト認メタルトキハ會社指定ノ醫院ニ就キ療養ヲ爲サシメ其費用ヲ支辨ス。

猶療養ノ爲メ三月以上缺勤ノトキハ以後缺勤中一ヶ月間ヲ限リ毎日賃金二分ノ一以上ノ救濟金ヲ給與ス。

一ヶ年以上勤続者ニシテ分娩シタル場合ハ保養料トシテ賃金三週間分以内ノ金員ヲ給與ス。

病傷ノ爲メ死亡シタル場合ハ其遺族ニ金二十圓以内ノ弔慰料ヲ給與シ病傷ノ爲メ勤務ニ堪ヘズシテ退社ヲナス者ニハ金十圓以内ノ救濟料ヲ給與ス。

尙會社ハ之レガ基本金トシテ十萬圓ヲ有シ昨年下半年期ニ於テ此ノ目的ノタメ支出セル總金額ハ約七千六百三十五圓ナリ。

#### 物資供給機關

四七



當會社ハ通勤職工ニ對シ白米ノ原價販賣ヲ爲スノミナラズ寄宿在住者ノタメ舍内ニ賣店ヲ設ケテ化粧品飲食物其他ノ雜貨ヲ原價ニテ販賣ス。

寄宿者ノミナラズ通勤者ノタメニモ食事ノ供給ヲ爲シ食費トシテ寄宿者一日分十二錢通勤者一食分七錢ヲ徴ス。

### 保健設備

寄宿者ハ勿論通勤者ノ爲メ沐浴場ノ設ケアリ、女工寄宿浴場ハ二十四坪半男工寄宿浴場ハ六坪ノ面積ヲ有シ、通勤者浴場ハ工場外ニアリテ面積約十二坪ヲ有シ之レヲ男女ニヨリテ二ツニ區劃ス。

寄宿舎ニ附屬シテ醫務局及病室ノ設ケアリテ之レニ醫師一名代診一名藥劑師一名ノ外看護婦四名ヲ常置シ病傷者ヲ診察治療ス。

運動遊戯ノ機關トシテハ寄宿舎構内ニテテニスコート一ヶ所ヲ設ケ遊動園木一ツヲ備ヘ付クルニ止ル。

### 慰安方法

娛樂ヲ興フル爲メニ女工寄宿舎ノ食堂ヲ利用シテ時々演藝ヲ催シ又慰安ノ爲メ春秋二季ニ郊外ニ遠足ヲ試ム。

### 教育施設

教育機關トシテハ寄宿舎ニ私立認定ノ小學校アリ幼年工ニシテ義務教育ノ未終了者ニ毎日二三時間規定ノ課程ヲ授ク、目下教師二名及生徒十七人ヲ有ス。女子ノ爲メニハ特ニ裁縫室ノ設ケアリ此處ニテ裁縫ミシンノミナラズ活花茶ノ湯等ノ一般ヲ教フ、之レガ毎日ノ出席者ハ約四十人ナリ。

職工修養ノ爲メニハ每週一回僧侶ヲ招聘シテ法話ヲ聽聞セシム。

### 貯金及送金制度

會社ハ従業員ヲシテ毎月所得ノ一割ヲ貯蓄セシムルコト、セルガ最近一ヶ月間ノ此ノ總額ハ約三百五十圓ナリ、此外任意ニ預入ルモノアリ之レハ一ヶ月三千圓内外ナリ、此等ノ貯金ニ對シ會社ハ年七厘ノ利息ヲ附ス。

送金ニ對シテハ待ニ意ヲ注ギ其爲替料ハ會社ヨリ支出シ之レガ獎勵ニカメツ、アリテ最近一ヶ月ニ於テハ寄宿者ノ送金額約二千圓ナルヲ見ル。

### 住居

單身職工ノ爲メ寄宿舎ノ設ケアリ、女工寄宿舎ハ二階家ニシテ二十疊大ノ室百十五ヲ有シ之レニ八百人ヲ收容ス、舍内ニ五ヶ所ノ便所洗面所及一ヶ所ノ髮結室ヲ備フ、男工寄宿舎ハ女



工寄宿舎ヨリハ稍隔タリタル所ニアル二階建物ニシテ疊百疊ヲ敷キ七十人ヲ收容ス又之レ  
ニ一ヶ所ノ便所及洗面所ノ設備アリ、舎内ニ自習室アリ圖書ヲ備付ケ閱覽セシム。

### 一四、内外綿株式會社第一紡織工場

#### 物資供給機關

物資廉賣施設トシテハ間屋ヨリ玄米ヲ購入シ之レヲ精白シ一升三十七錢ノ廉價ニテ從業  
員ニ供給スルモノアリ、但シ工場ニ於テ一日三回共食事ノ供給ヲ受ケタルモノヲ除外ス、一ヶ  
月間ニ於ケル之レガ賣上代金ハ約七百圓ナリ。寄宿舎内ニハ賣店ヲ設ケ各種ノ日用品ヲ原  
價ニテ販賣ス而シテ一ヶ月間ニ於ケル之レガ賣上代金ハ約五百圓ヲ算ス。

寄宿者ノミナラズ通勤者ニ對シテモ食事ノ供給ヲナシ之レガ食費トシテ通勤男工一食分  
七錢同女工一食分六錢寄宿職工一食分五錢ヲ徴ス、之レガ補給トシテ工場ハ一日一人當リ約  
十四五錢ヲ支出ス。

#### 保健設備

沐浴場ハ唯寄宿舎ニ設ケラル、ノミニシテ約二十坪ノ面積ヲ有シ其内ニ幅一間半長サ二  
間ノ浴槽ヲ備フ。

寄宿舎ニ附屬シテ醫務局及病室ノ設ケアリ囑託醫一名及看護婦二名此處ニアリテ病傷者  
ヲ診察治療ス。

#### 慰安方法

慰安ヲ與フルタメ時々食堂ヲ利用シテ演藝ヲ催シ又春秋二季ニハ一同ヲ引連レ奈良京都  
等ノ名所ヲ訪ヒ或ハ近郊ニ遠足ヲ行フ。

#### 教育施設

寄宿舎内ニ私立認定ノ小學校ヲ設ケ學齡中ノ幼年工ヲ毎日二三時間教育スルノミナラズ  
補習科ヲ置キ一般女工ニ對シ補習教育ヲ行フ、之レニ教師三名普通料生二十三人補習料生三  
名ヲ有ス。

職工ノ精神修養ノタメ毎月二回僧侶ヲ招聘シテ法話ヲ聽聞セシム。

#### 貯金及送金制度

當工場ハ毎月男工ニハ賃銀ノ一日分女工ニハ二十錢ノ割ニテ必ず貯蓄セシムルコト、セ  
ルガ最近一ヶ月間ノ之レガ總金額ハ約百六十五圓ナリ尙此外毎月任意ニ預入ル者百五六十  
名アリテ其總金額ハ約五百圓ナリ。送金ニ際シテハ多クノ工場ト同ジク其ノ爲替料等ハ工  
場ヨリ支出スルコト、セリ、而シテ最近一ヶ月間ノ之レガ總金額ハ六百圓ヲ起ユ。



## 住居

五二

家族ヲ有スル職工ノ爲メ社宅ノ設ケアリ、社宅ハ工場ヨリ數町ヲ隔タリタル市内西區春日出町ニ平家建二十四戸ヲ有シ大ハ六疊二室及三疊一室小ハ四疊半一室及二疊一室ヲ有ス、之レガ家賃トシテ一ヶ月大三圓九十錢小一圓九十錢ヲ徵ス、各戸ニ水道栓一ツヲ引キ便所一個ヲ備フ。

單身女工ノ爲メ寄宿舎ノ設ケアリ、之レハ街路ヲ隔テ工場ノ南方ニアリテ三棟ノ二階家及一棟ノ平家ヨリ成リ之レニ三百人ヲ收容ス而シテ平家ハ學舎ニ充テ此處ニ學齡中ノ幼年工ノミヲ收容ス、舎ノ室ハ十疊數十二疊數十五疊數等種々アリテ一定シ居ラザルガ之レニ概テ八人乃至十一人ヲ收容ス、舎内ニ二ヶ所ノ洗面所四ヶ所ノ便所及ビ三ヶ所ノ髮結所ヲ設備ス

## 一五、株式會社松岡紡績所今福支店

### 共濟制度

松岡紡績所ニ久潤會ト稱スル共濟制度アリ從業員相互ノ救濟及慰安ノ機關タリ今其組織救濟ノ範圍及方法其他ニ就キ左ニ概記セン

### 一、組織及會員

久潤會ハ紡績所ノ保護監督ノ下ニ從業員ヲ以テ組織ス

會員ヲ別チテ特別會員正會員及ビ普通會員ノ三種ト爲ス

社員ハ特別會員、技男組長及同資格者ハ正會員其他當所ニ從事スルモノハ普通會員トス。

### 二、救濟ノ範圍及方法

#### (一) 疾病及負傷ノ場合

會員職務ニ基因セザル疾病ニ罹リタルトキハ左ノ救護金ヲ贈與ス。

缺勤三十日以上ノ者 金 五 圓

缺勤十五日以上ノ者 金 一圓以上三 圓迄

疾病ノ爲メ死亡シタル者 金 五圓以上二十圓迄

疾病ノ爲メ歸國療養ヲ要スル者金十五圓以内ニテ一時金ヲ給與ス。

會員ニシテ職務ノ爲メ傷害ヲ受ケタルトキハ左ノ救護金ヲ贈與ス。

重傷死ニ至リタル者 二十圓以上一百圓迄

眼若シクハ肢ノ用ヲ失ヒタル者及之ニ準ズル者 五圓以上五十圓迄

一指以上ノ用ヲ失ヒタル者及之ニ準ズル者 三圓以上二十圓迄

公傷ニシテ休業三ヶ月以上ニ涉ルト雖前項ヲ適用シ全快出務ノ際迄見舞金ヲ給與ス。

#### (二) 其他ノ場合

五三



會員ニシテ工場ノ都合ニ依リ解雇ヲ受ケタル時ハ左ノ勤続年限ニ依リ慰勞金ヲ贈與ス。

一ケ年以上	金一圓五十錢
二ケ年以上	金三圓
三ケ年以上	金五圓
五ケ年以上	金十圓
十ケ年以上	金三十圓

本會々員ニシテ連續勤務者ニ對シ左ノ慰勞金并ニ紀念品ヲ贈與ス。

三ケ年勤續者 (三ケ年毎)	金五圓
十ケ年勤續者 (十ケ年毎)	金三十圓

### 三、醜 金

會員ハ久潤會資金トシテ毎月特別會員ハ三十錢正會員ハ二十錢普通會員ハ十錢ヲ醜出スルモノトス。

### 四、最近一ケ年醜金及支出總額

會員醜出金	八百圓
救濟支出金	五百圓

### 物資供給機關

場内ニ物資廉賣ノ爲メ給品部ヲ設ケ炭及諸雜貨ヲ原價ニテ販賣ス最近一ケ月間ニ於ケル之レガ賣上代金ハ約五百圓ヲ算ス、其内外玄米ヲ問屋ヨリ購入シ之レヲ工場内ニテ精白シ外米一升三十二錢内地米一升四十五錢ニテ従業員ニ供給スルコト、セルガ最近一ケ月間ニ於ケル賣上ハ前者約一石ニシテ後者約二十五石ナリ、之レガ配給ノ割合ハ普通職工一人ニ付一ケ月ニ斗ト定メ役付以上ノ者ニ對シテハ制限ヲ設ケズ。

當所ハ寄宿ニ在佐スル者ノミナラズ通勤職工ニ對シテモ食事ノ供給ヲ爲シ通勤男工一日分二十錢同女工一日分十四錢合宿所男工一日分二十錢寄宿女工一日分十二錢ノ割合ニテ食費ヲ徴ス、之レニ對スル補給額ハ一日一人當リ約十七八錢ナリ。

### 保健設備

寄宿舎ニ沐浴場一ケ所ヲ設ケ寄宿及通勤ノ女工ヲ入浴セシム、之レガ面積ハ約九坪ニシテ其内ニ幅六尺長サ七尺ノ浴槽ヲ備フ。

病傷者ヲ診察治療スルタメ寄宿舎ノ一室ヲ治療所トナシ之レニ醫師及看護婦各一名ヲ常置ス。

### 慰安方法



職工慰安ノ爲メニハ寄宿舎ニテ時々演藝ヲ催フスノミナラズ陽春四月ニハ稻荷大祭ヲ執  
行シ當日ハ餘興ヲ行ヒ折詰酒等ヲ交附シ以テ歡樂ヲ盡サシム。

五六

### 教育施設

當所内ニハ教育ノ機關ナケレドモ學齡中ノ幼年工ニハ學用品ヲ給シテ夜間學校ニ通學セ  
シム、目下此兒童八名ヲ有ス。

### 貯金及送金制度

職工ニ對シテハ毎月五十錢ヲ必ず貯蓄セシムルノミナラズ獎勵會ヲ設ケ之レガ獎勵ニ努  
ム一ヶ月間ニ於ケル之レガ金額ハ約百七十圓ナリ。送金ノ際ハ爲替料等ハ全部當所ヨリ支  
出シ之レモ又獎勵シツ、アリ最近一ヶ月間ニ寄宿者ノ送金セルモノ二十人アリテ其金額約  
三百圓ヲ算ス。

### 住居

單身女工ノ爲メ寄宿舎單身男工ノ爲メ合宿所ヲ設ケ、寄宿舎ハ工場ノ南方ニ接續スル一棟  
ノ二階家及平家ニシテ之レニ疊二百十疊ヲ敷キ百八十人ヲ收容ス、舍内ニ二ヶ所ノ便所一ヶ  
所ノ洗面所及髮結室ヲ有ス。合宿所ハ工場ヨリ稍離レタル所ニアルニ階家ニシテ之レニ疊  
四十疊ヲ敷キ二十人ヲ收容ス、此處ニ一ヶ所ノ洗面所及便所ヲ備フ。

其他通勤者ニハ一ヶ月一圓乃至二圓五十錢ノ住宅料ヲ支給ス一ヶ月ニ於ケル之レガ總金  
額ハ約五十圓ナリ。

## 一六、吉見紡績株式會社浦江工場

### 物資供給機關

物資廉賣ニ關スル施設トシテハ只寄宿舎ニ賣店ヲ設ケ特約商人ヲシテ日用品ヲ時價ヨリ  
稍廉價ニテ販賣セシムルニ過ギズ之レニ對シ工場ハ何等補助ヲ與ヘズ、之レが一ヶ月間ノ賣  
上代金ハ約二百圓ナリ。

寄宿舎ニ食堂ノ設ケアリテ通勤者ニ對シテモ希望ニヨリ食事ノ供給ヲ爲ス、而シテ其ノ食  
費ハ男工一日分十五錢女工一日分十二錢ノ割トス、之レガタメ工場ノ補給スル金額ハ一日一  
人當リ約十二錢ナリ。

### 保健設備

寄宿舎ニハ沐浴場ノ設ケアリテ四坪半ノ面積ヲ有シ其内ニ幅四尺長サ五尺ノ浴槽ヲ備フ  
治療所及病室ヲ寄宿舎ノ一部ニ設ケ之レニ囑託醫及看護婦一名ヲ置キ病傷者ヲ診察治療  
ス。

五七



## 慰安方法

慰安方法トシテハ只春秋二季ニ當リテ一同ヲ引キ連レテ郊外ニ遠足ヲ試ミ或ハ運動會ヲ催フスルニ止ル。

五八

## 教育施設

學齡中ノ幼年工ニ對シ義務教育ヲ施スタメニ寄宿舎内ニ教室ヲ設ケテ毎日二時間ノ授業ヲ爲ス、此處ニ教師二名生徒十二人ヲ有ス、其他一般職工ニ補習教育ヲ行ヒ女工ノ爲メニハ裁縫室ヲ設ケテ裁縫ノ教授ヲ爲ス。

## 貯金及送金制度

工場ニ於テハ職工全部ニ對シ毎月賃銀ノ百分ノ五ヲ貯蓄セシムルコト、ナセルガ最近一ケ月間ノ之レガ總金額ハ二百五十圓ニシテ此外寄宿者ニシテ任意ニ貯金セルモノ一ケ月二百圓ヲ算ス。而シテ貯金セザルモノニハ特ニ送金ヲ獎勵シ送金料等ハ全部工場ノ支辨トナシ、而シテ最近一ケ月間ニ於ケル之レガ總金額ハ約七百五十圓ナリ。

## 住居

家族ヲ有スル職工ノ爲メ社宅ノ設ケアリ、社宅ハ工場ノ北方ニアル二十餘戸ノ二階家ニシテ概ネ階上ニ四疊半二室階下ニ四疊半二室及二疊一室アリ、之レガ家賃トシテ階上一圓階下

二圓五十錢ヲ徵ス、各戸ニ便所一ヶ所ヲ有シ五戸ニ一ツ宛ニ水道栓ヲ備付ク。

單身女工ノ爲メ寄宿舎ヲ設ク、寄宿舎ハ東西ニ延ビタル二棟ノ二階家ニシテ一人當リ約二疊ノ割合ニ疊ヲ數キ之レニ二百六十人ヲ收容ス、舎内ニ三ヶ所ノ便所二ヶ所ノ洗面所及ビ結髮室一ツヲ設ク。

## 一七、日本紡織株式會社大阪支店

### 共濟制度

當支店ニハ一昨年以來共濟會ノ設ケアリ、今共組織及事業ノ概要ヲ擧グレバ左ノ如シ。

### 一、組織及會員

會社ノ保護監督ノ下ニ男女職工並ニ常時被傭人ヲ以テ組織ス。  
會員ヲ分チテ名譽會員特別會員正會員准會員ノ四種トス。  
名譽會員ハ本會ノ推薦スル所ニシテ本會ノ役員又ハ曾テ本會ノ發達ニ功績アリタルモノトス、特別會員ハ滿十五年以上正會員タリシ者又十年以上正會員ニシテ年齡滿五十歳以上ナルモノトス、正會員ハ年齡滿十五歳以上ノ男女工及常時被傭人トス、准會員ハ年齡滿十五歳未滿ノ男女工及常時被傭人トス。

五九



## 二、事業

本會ノ目的ヲ達スル爲メ左ノ事業ヲ施行ス。

- 一、講演會其他ノ會合
- 二、會員慶事ノ祝賀
- 三、會員又ハ其ノ家族ノ罹災ノ弔慰
- 四、本會々員タルコト滿五年以上ニシテ當支店ヨリ退職シ又ハ解雇セララル、者ノ餞別
- 五、其他會員ノ幸福ヲ増進スル事項

## 三、醱金

會員ハ會費トシテ毎月正會員ハ金四錢准會員ハ金二錢ヲ納付スルモノトス、特別會員ハ其ノ資格ヲ得タル翌日ヨリ會費ヲ免除ス。

會社ハ會員會費總額ト同額ノ金員ヲ補給ス。

## 四、最近一ヶ年醱金及支出總額

二百六十九圓	會員會費
二百六十九圓	會社補助金
二百八圓	支出總金額

## 食事供給機關

寄宿者ノミナラズ通勤者ニモ左ノ食費ヲ徴シテ食事ノ供給ヲ爲ス

通勤職工一食分七錢 寄宿男工一ヶ月分七圓 寄宿女工一ヶ月分五圓五十錢、

食事ニ對スル補助トシテ會社ノ支出スル金額ハ一ヶ月一人當リ約八圓五十錢ナリ。

## 保健設備

場内ニ男工及女工ノ爲メ各一個ノ浴場ヲ設ク、之レニハ通勤者ト雖モ無料ニテ入浴セシム之レハ兩者共ニ七坪ノ面積ヲ有シ各ニ一坪ノ浴槽ヲ備フ當工場ニハ醫務局ノ設備ナク病傷者ハ囑託醫ノ元ニテ診察治療ヲ受ケシメ藥價其他ノ費用ハ會社ヨリ支辨スルコト、セリ、但シ一名ノ内科醫ハ毎月來診ス。

## 慰安方法

慰安ノ方法トシテハ毎年春秋二季従業員ヲ引キ連レテ京都奈良等ニ旅行スル外陽春四月ニハ稻荷祭ヲ執行スル等ニテ當日ハ餘興ヲ催シ折詰菓子等ヲ交附シ歡樂ヲ盡サシメ以テ平日ノ勞苦ヲ慰ム。

## 貯金制度

毎月職工賃銀ノ百分ノ二ヲ固定貯金其ノ三分ノ二ヲ遊動貯金トシテ預ケ入レシメ前者ハ



平日拂戻ヲ得ザレ共後者ハ必要ニ應ジ隨時引キ出シ得ル様ニセリ、而シテ兩者一ヶ月間ノ預金額ハ約三十圓ニテ之ノ外寄宿女工ノ任意預ケ入ル、モノ約百二十圓アリ。

### 住居

單身職工ノ爲メ寄宿舎ノ設ケアリ、寄宿舎ハ作業場ニ接續スル建物ニシテ階下ハ食堂等ニ使用ス、男工ノ起臥スル所ハ六十九疊半大ノ一室ニシテ之ニ三十二人居リ女工ノ寄宿スル所ハ九十疊大ノ一室ニシテ之レニ三十五人居ル、此外東隣ノ二階家四戸(疊敷七十五疊半)ニ二十八人ノ女工ヲ寄宿セシム。

## 一八、天滿織物株式會社

### 物資供給機關

物資廉賣ノ機關トシテハ只寄宿舎ニ賣店ノ設ケアルノミニシテ之レハ寄宿ニ在ルモノ、利便ヲ計リ吳服類化粧品ヲ始メ諸雜貨ノ原價販賣ヲ爲ス、最近一ヶ月間ニ於ケル之レガ賣上代金ハ約一千二百圓ヲ算ス。

本社ニテハ通勤者ニ對スル食事供給ノ機關ヲ有セズ、寄宿舎ニ於テハ食費トシテ一日分十錢合宿所ニテハ一日分十九錢ヲ徴シ食事ヲ供給ス、之レガ補給トシテ會社ノ支出スル金額ハ

一日一人當リ約十二三錢ナリ。

### 保健設備

寄宿舎及合宿所ニ各一ヶ所ノ浴場ヲ設ク、寄宿浴場ハ二十四坪ノ面積ヲ有シ其内ニ階圓形ノ浴槽二ツヲ備ヘ合宿所浴場ハ二坪ノ面積ヲ有シ長方形ノ浴槽一ツヲ置ク。

寄宿舎ヨリ合宿所ニ至ル中間ニ一棟ノ病院ヲ設ケ之レニ醫師二名藥劑師一名及看護婦二名ヲ常置シ病傷者ヲ診察治療ス。

### 慰安方法

男工ノ爲メ俱樂部女工ノ爲メ寄宿舎ニ娛樂室六ツヲ設ケ圍碁將棋又ハピンポン開球盤等ヲ備ヘ置キ自由ニ使用セシム。場内ニ娛樂場ヲ設置シ毎月一回乃至三回種々ノ演藝ヲ催シ職工及其家族ニ觀覽セシム又職工全部ノ意向ヲ聞キ大多數ノ好ム所ニ遠足ヲ試ミ或ハ運動會ヲ催ス。

### 教育施設

學齡中ノ幼年工ニ義務教育ヲ施ス爲メニ私立認定ノ小學校ヲ設ケ毎日朝夕二時間規定ノ教科ヲ授ク目下教師二名生徒八十名ヲ有ス。寄宿女工ノ爲メニハ裁縫室ヲ設ケ裁縫ヲ教フ外茶湯活花ヲモ合ハセ授ク、此處ニ毎日出席スル者ハ七十人内外ナリ。



修養機關トシテハ男工ノ組織スル至誠會アリ毎月一回會合ヲ開キ親睦ヲ計ルト共ニ名士ヲ招聘シテ講話ヲ聽キ修養ノ榮トナス、此外工場トシテハ毎月二回僧侶ヲ招キテ法話ヲ聽聞セシム。

### 貯金及送金制度

貯金及送金ニ對シテ會社ハ便宜ヲ計リ貯金ニハ年七朱ノ利息ヲ附シ送金ノ際ハ爲替料等ヲ支辨ス、最近一ヶ月間ニ於ケル預金總額ハ一千六百圓送金總額ハ二千四百圓ナリ。

### 住居

家族ヲ有スル職工ノ爲メ社宅ノ設ケアリ、社宅ハ工場ニ接近シタル三十戸ノ二階家ニシテ階上階下共ニ疊七疊半ヲ敷キ各戸ニ便所ヲ備ヘ水道栓ハ二戸ニ一ツ宛ニ引ク、一戸ニ二家族居住シ家賃ハ一ヶ月一圓五十錢ナリ。

單身男工ノ爲メ合宿所ヲ設ク、合宿所ハ工場外ニアリテ一人一疊半當リニ疊ヲ敷キ之レニ二百五十人ヲ收容ヘ、所内ニ三ヶ所ノ便所及二ヶ所ノ洗面所ヲ備フ。單身女工ノ爲メ寄宿舎ヲ設ク、寄宿舎ハ東西ニ延ビタル三棟ノ二階家ニシテ一人一疊半當リニ疊ヲ敷キ之レニ九百七十人ヲ收容ス、舍内ニ五ヶ所ノ便所三ヶ所ノ洗面所及ビ一ヶ所ノ髮結場ヲ備フ。

## 一九、天滿織物株式會社城北工場

### 物資供給機關

物資廉賣ニ關スル施設トシテハ本社工場ト同ジク寄宿舎ニ賣店ヲ設クルノミニシテ最近一ヶ月間ニ於ケル之レガ賣上代金ハ約四百五十圓ナリ。

寄宿舎ニ食堂ノ設ケアリテ只寄宿舎ニ在ル職工ノミナラズ通勤者ニ對シテモ希望ニヨリ食事ノ供給ヲ爲ス、其食費ハ男工一日分十五錢女工一日分十錢ノ割ナリ、之レガ爲メ會社ノ補給スル金額ハ一人一日當リ約十四五錢ナリ。

### 保健設備

男女寄宿舎ニ沐浴場ノ設備アリ、男工寄宿舎内ノ浴場ハ之レヲ男女ニ區別シ通勤男女工ヲ入浴セシム、之レガ面積ハ十二坪餘ニシテ各二一坪半ノ浴槽ヲ備フ、女工寄宿浴場ハ十七坪半ノ面積ヲ有シ其内ニ一坪半ノ浴槽ニツツ置ク。

場内ニハ醫務局及病室ノ設ケアリテ本社ノ醫師一名及看護婦二名之レニ出張シテ病傷者ヲ診察治療ス。

### 慰安方法及教育施設

職工慰安方法トシテ講ゼラル、モノハ一年一回一同ヲ引キ連レ郊外ニ遠足ヲ試ムルニ過ギズ。



教育施設トシテハ私立認定ノ小學校アリ毎日二時間學齡中ノ兒童ニ義務教育ヲ施ス、此處ニ教師一名生徒四十人ヲ有ス、其他女工ノ爲メニ裁縫教室ヲ設ケ一人ノ專科教員ヲ置キ裁縫ヲ始メ活花等ヲ教フ。

### 貯金及送金制度

貯金ハ職工ノ自由ニ任セアルモ會社ハ直接之レヲ預リ年七厘ノ利息ヲ附スル制ヲ設ケアリ、而シテ最近一ヶ月間ニ於ケル之レガ總金額ハ約一千五百圓ナリ。送金ニ對シテハ爲替料等ハ會社ヨリ支辨シ之レガ獎勵ニ努メツ、アリ最近一ヶ月間ニ寄宿者ノ國元ヘ送金シタル金額ハ約八百圓ナリ。

### 住居

家族ヲ有スル職工ノ爲メ社宅ノ設ケアリ、社宅ハ工場ノ西側ニ接近シタル三棟ノ二階家ニシテ戸數二十一戸ヲ有ス、階上ニ六疊一室階下ニ四疊一室及三疊半一室アリ之レニ一家族又ハ二家族居住ス、各戸ニ便所ノ備ヘアリ水道栓ハ一棟一ツ當ニ備フ之レガ家賃トシテハ一ヶ月一圓五十錢ヲ徵ス。

單身職工ノ爲メ寄宿舎ノ設ケアリ、女工寄宿舎ハ東西ニ延ビタル二棟ノ二階家ニシテ二十四疊大ノ室二十二室乃至十五人ノ割ニテ三百三十餘人ヲ收容ス、舍内ニ二ヶ所ノ洗面所及一

ヶ所ノ髮結場アリ、便所ハ階ノ上下ニ各二ヶ所ヲ設ク。男工寄宿舎ハ女工寄宿舎ノ棟續キニシテ之レニ一人一疊半ノ割ニ疊ヲ敷キ百四人ヲ收容ス、舍内ニ一ヶ所ノ便所及洗面所ヲ備フ

## 二〇、福島織物株式會社

### 物資供給機關

物資廉賣ノ機關トシテハ見ルベキモノ殆ンドナク只寄宿舎ニ賣店ヲ設ケ特約商人ヲシテ化粧品及雜貨ヲ時價ヨリ約五分安ニテ販賣セシムルニ過ギズ。

場内ニ一ヶ所ノ食堂ヲ設ケ男女工共ニ一食分五錢ノ食費ヲ徵シテ食事ノ供給ヲ爲ス。

### 保健設備

寄宿舎ニ沐浴場ノ設ケアリ其面積ハ約七坪ヲ有ス。

### 慰安方法

職工慰安ノ方法トシテハ春秋二季ニ一同ヲ引キ連レ郊外ニ遠足ヲ行フニ過ギズ。

### 貯金制度

貯金制度トシテ別ニ設ケラレタルモノハナケレモ會社ハ之レガ獎勵ニ努メツ、アリ最近



一ヶ月間ニ於ケル之レガ總金額ハ約百圓ナリ。

六八

### 住居

單身女工ノ爲メ寄宿舎ノ設ケアリ、寄宿舎ハ一棟ノ二階家ニテ二十八疊大ノ室二十二人ノ割ニテ七十八人ヲ收容ス、舎内ニ一ヶ所ノ便所及洗面所ヲ備フ。

## 二、合資會社双馬商會織布工場

### 物資供給機關

物資廉賣ノ施設トシテ特ニ見ルベキモノナク只寄宿ニアル者ニ對シテノミ雜貨ノ原價販賣ヲ爲シ彼等ノ利便ヲ計リツ、アリ、而シテ通勤者ニハ別ニ廉賣ノ方法ヲ講ゼザル代リニ米價補助トシテ一日男工二十錢女工ニ五錢ヲ支給ス。

通勤者ニ對シテハ食事ノ供給ヲ爲サズ只寄宿在住者ニ一日分十五錢ノ賄料ヲ徴シテ之レガ供給ヲナスノミ。

### 保健設備

寄宿舎ニ沐浴場ノ設ケアリテ六坪ノ面積ヲ有シ其内ニ二坪半ノ浴槽ヲ備フ。

場内ニ在リテ疾病ニ罹リ又ハ負傷シタル者ハ囑託醫ノ元ニテ診察治療シ之レガ費用ハ全

部工場ヨリ支辨ス、若シ寄宿在居者ニシテ之レガ爲メ引續キ三ヶ月以上缺勤セシ場合ハ食費ヲ免除シ外ニ一日五錢ノ手當ヲ給ス。

### 慰安方法

慰安ヲ與フルタメニハ春秋二季ニ一同ヲ引キ連レテ京都奈良等ニ出掛クルニ止マル。

### 住居

單身女工ノ爲メ寄宿舎一棟ヲ設ク、之レハ東西ニ延ビタル二階家ニシテ疊九十六疊ヲ數キ三十六人ヲ收容ス、舎内ニ一ヶ所ノ便所ヲ備フ。

## 二二、帝國製麻株式會社大阪製品工場

### 共濟制度

當工場ニ作業員共濟會アリ、作業員ノ疾病其他ノ災厄ニ付彼等ガ相互ニ救濟ヲ爲ス所ノ機關ニシテ明治三十二年ノ創立ニ懸リ爾來幾多ノ改正ヲ見今日ニ至レリ今其組織救濟ノ範圍及方法其他ニ就キ左ニ概要ヲ掲ゲン。

### 一、組織及組合員

本會ハ工場保護監督ノ下ニ工場作業員ヲ以テ組織ス。

六九



會員ヲ別チテ特別會員及通常會員ノ二種トス。  
特別會員ハ當工場職員ニシテ毎月一定ノ損金ヲナスモ救済ヲ申請セザルモノヲ云フ、通常會員ハ當工場作業員ニシテ毎月一定ノ損金ヲナシ救済ヲ申請シ得ルモノトス。

### 一、救済ノ範圍及方法

(一) 疾病負傷及出産ノ場合

負傷又ハ疾病ノタメ休業シタルモノハ五日目ヨリ救済ヲ爲ス又五日以上休業ノ後二日以内ノ就業ニテ疾病再發ノタメ休業シタル時ハ繼續シテ救済ヲ爲ス、其ノ割合ハ次ノ如シ。

但シ救済九十日ニシテ尙出勤スル能ハザルモノニ對シテハ役員會ニ於テ爾後ノ救否等ヲ決議ス。

勤續年數	一日贈與額
一ケ年未滿	拾六錢
三ケ年未滿	拾八錢
六ケ年未滿	貳拾壹錢
六ケ年以上	貳拾四錢

警務上ノ負傷及ハ疾病ニシテ會社ノ救護ヲ受クルモノハ會長其事情ヲ調査シ救否及金額ヲ決定ス。

額ヲ決定ス。

瘡痍或ハ疾病ノタメ執業ニ堪ヘズ許可ヲ得テ退社シタルモノハ金拾圓以内會長ノ見込ヲ以テ贈與ス又許可ヲ得テ轉地療養ヲナストキハ金拾圓以内一時金ヲ贈與シ日割救済ヲ停止スルモノトス。

女子會員出産シタル時ハ見舞トシテ金壹圓ヲ贈與ス。  
但シ産後十日以内ニ産兒死亡シタル時ハ別ニ弔慰料ヲ贈與セズ。

入社後六ヶ月以上經過シタル女子會員出産シタル場合ハ産前一週日産後五週日休業シタル日數ニ對シ疾病同様ト見做シテ救済ヲ爲ス。

### (二) 死亡ノ場合

會員死亡セル時ハ遺族ニ對シ次ノ割合ヲ以テ弔慰料ヲ贈與ス。

勤續年數	弔慰料
一ケ年未滿	參圓
三ケ年未滿	六圓
六ケ年未滿	拾圓
六ケ年以上	拾五圓

會員ト同居セル會員ニアラザル父母夫妻死亡セル時ハ弔慰料トシテ金七圓以内ヲ贈



與ス會員ト同居セザル同籍ノ父母死亡シタル時ハ弔慰料金二圓ヲ贈與ス。

七二

(三) 其他

會員水害火災其他ノ災厄ニ罹リタルモノニシテ實情救済ヲ要スベキモノハ金五圓以内  
會長ノ見込ヲ以テ贈與ス。

勤続十ヶ年以上ノ會員ニシテ許可ヲ得テ退社シタル時ハ金十圓以上金二十圓迄ノ慰勞  
金ヲ贈與ス。

三、 醜 金

會員各自ノ毎月醜出スベキ共濟資金額左ノ如シ

特別會員	金十錢以上	
普通會員		其月收得給料ニ應ジテ次ノ通り
一ヶ月收得給料	醜出金額	
金七圓未滿	六	錢
金十圓未滿	七	錢
金十五圓未滿	九	錢
金十五圓以上	十	二 錢

四、 最近半期間ノ醜金及支出總額

七百二十五圓	會員會費
一百五十七圓	會社補助金
八百四十五圓	救濟支出金
外ニ	
六千六百〇九圓	前期ヨリ越高

物資供給機關

物資廉賣ノ施設トシテ寄宿舎内ニ賣店ノ設ケアリ化粧品及雜貨ヲ問屋ヨリ購入シ之ヲ原  
價ニテ販賣ス最近一ヶ月間ニ於ケル之レガ賣上代金ハ約八百九十四圓ヲ算ス。又會社ハ直  
接ニ時ニハ商人ノ手ヲ經テ白米ヲ時價ヨリ稍廉價ニテ販賣ス、之レガ爲メ會社ハ米券ヲ發シ  
被供給者ノ利便ヲ計ル、最近一月間ニ於ケル之レガ賣上代金ハ約一千二十四圓ナリ。

此外工場ハ米價補助ノ方法ヲ講シ白米一升二十錢ト假定シ之レト時價トノ差額ヲ補給ス  
ルコト、シ一日一人男工一升女工七合五勺ニ對スル差額ヲ給與ス、最近一ヶ月間ノ補給金額  
ハ約三千四十八圓ヲ算ス。

通勤者ニ對シテハ食事ノ供給ヲ爲サズ、寄宿舎ニ在ル者ヨリハ一日分男工十五錢女工十錢

七三



ノ割合ニテ食費ヲ徴シテ喫食セシム。

### 保健設備

社宅及女工寄宿舎ニ沐浴場ノ設備アリ、社宅浴場ニハ寄宿男工ヲモ入浴セシメ社宅居住者ヨリハ毎月一戸ニ付三十錢寄宿男工ヨリハ一人ニ付十四錢ノ入浴料ヲ徴收ス、社宅浴場ハ六十坪ノ面積ヲ有シ之レヲ男女ニヨリ二ツニ區劃シ各ニ幅一間長サ一間半ノ浴槽ヲ備ヘ寄宿浴場ハ二十二坪ノ面積ヲ有シ其内ニ幅一間長サ一間半ノ浴槽ヲ置ク

醫務局ハ作業場ヨリ女工寄宿舎ニ至ル中途ニアル一棟ノ建物ニシテ醫師一名看護婦三名ヲ常置シ病傷者ヲ診察治療ス、病室ハ醫務局ヨリ全ク離レ女工寄宿舎ノ東方ニアリテ隔離室二ツヲ有ス。

運動遊戯ノ機關トシテハ社宅構内ニテニスコート一ヶ所ヲ設ケ又器械体操用金棒二基遊動圓木一ツ及滑板一ツヲ備フ。

### 慰安方法

場内ニ疊百八十疊ヲ敷ク一棟ノ講堂アリ此處ニテ毎月一回乃至二回組立舞臺ヲ造リ諸般ノ演藝ヲ催シ時ニハ文藝會ヲ開キ職工ヲシテ種々ノ餘興ヲ演ゼシメテ一般職工ニ娛樂ヲ與フ。又時ニハ郊外ニ遠足ニ出掛ケ自然ノ風光ニ接セシム。

### 教育施設

女工寄宿舎ニ私立認定ノ小學校ヲ設立シ毎日二三時間學齡中ノ幼年工ニ規定ノ教科ヲ授ク、此處ニ教師四名生徒五十八人ヲ有ス、尙裁縫專修科ヲ置キ三名ノ教師ヲ以テ之レガ教授ニ當ラシム。男工ノ爲メニハ工學研究會ヲ設ケ工學ニ關スル講義録ニ依リテ相互ニ研究セシメ社員之レガ指導ヲ爲ス、又講堂ニテ講話會ヲ開キ僧侶等ヲ招聘シテ精神修養ニ關スル講話ヲ聽聞セシム。

工場内ニ建坪四十八坪ヲ有スル托兒所ノ設ケアリ之レヲ二ツニ區劃シ一方ニ於テハ乳兒ヲ預リ之ヲ保護シ他方ニ於テハ幼兒ヲ集メテ午前中幼稚園的ノ教育ヲ施ス、此處ニ保姆三名アリテ毎日三十八人内外ヲ預ル。

### 貯金及送金制度

職工ノ貯金ニ保證積立金、社宅預金及大正紀念貯金ノ三種アリ、保證積立金ハ従業員全部ニ毎月日給ノ一日分ニ該當スル金額ヲ預入レシムルモノ、社宅預金ハ社宅居住者ガ毎月一圓以上ヲ貯蓄スルモノ、大正紀念貯金ハ大正ニ改元セシ以來寄宿女工ノ毎月二十錢ヲ預入ル、モノニシテ之レハ多ク歸郷旅費ニ充ツ、最近一ヶ月間ニ於ケル此等ノ預金總額ハ第一、約六百五十圓、第二約三百二十三圓、第三約百二十四圓ナリ、尙之レ以外ニ任意ニ貯金スルモノアリテ最



近一ヶ月間ニ於ケル之レガ總金額ハ約三千七百六十六圓ナリ、又寄宿女工ニシテ國元へ送金スルモノモ多數アリテ之レガ最近一ヶ月ノ金額ハ約八百圓ナリ。

### 住居

家族ヲ有スル職工ノ爲メ社宅ノ設ケアリ、社宅ハ工場ノ附近ニ在ル五棟ノ平家ニシテ百二十一戸ヲ有ス、此ノ大ナルハ六疊大ノ室一ツ及三疊大ノ室二ツヲ有シ小ナルハ四疊半大ノ室一ツ及三疊大ノ室一ツヲ有シ前者ノ家賃ハ一ヶ月二圓五十錢ニシテ後者ハ二圓ナリ、各戸ニ便所ヲ備ヘ水道栓ハ十戸ニ一ツ當ニ引キ尙用水ヲ得ルタメノ六ツノ井戸アリ。

但シ家賃ハ前述ノ如キモ若シ社宅居住者ニシテ一ヶ月缺勤二日以内ノ者一戸ニ一人ヲ有スレバ月三十錢二人ヲ有スレバ七十錢三人以上ヲ有スレバ一圓十錢ヲ減ズルコト、ナシ之ノ減額ハ直チニ社宅預金内ニ繰込ムコト、セリ。

單身職工ノ爲メ寄宿舎ノ設ケアリ、男工寄宿舎ハ社宅ニ接近スル一棟ノ二階家ニシテ四疊半ノ室ニ二人ノ割合ニテ三十四人ヲ收容ス、舍内ニ一ヶ所ノ便所及洗面所アリ、女工寄宿舎ハ工場ノ背後ニアル五棟ノ二階家ニシテ十疊大ノ室二十人八疊大ノ室ニ六人ノ割合ニテ六百四十人ヲ收容ス、舍内ニ四ヶ所ノ便所及三ヶ所ノ洗面所ヲ備フ、髮結場トシテノ設備ハ有セズ一室ニ二枚當ニ花菴ヲ與ヘ此ノ上ニテ常ニ結髮セシム。

女工寄宿舎ノ東北ニ當リ小ナル平家一棟アリ之レハ自修舎ト稱シ三ヶ年ノ年期ヲ將ニ終

リ歸國セントスル女工ヲ家事ノ實地ニ馴レシムル所ニシテ二十四人ヅ、二ヶ月間此處ニ居住セシメ一定ノ費用ヲ與ヘ之レヲ以テ自炊セシム。

## 二三、大阪毛織物株式會社

### 食事供給機關

通勤者ニ對シテハ食事ノ供給ヲ爲サズ只寄宿舎ニ在住スル者ニハ男工一日分二十九錢女工一日分九錢ノ食費ヲ徴シテ之レガ供給ヲ爲ス、之レガタメ會社ハ一日一人當約リ二十二錢ヲ補給ス。

### 保健設備

工場及女工寄宿舎ニ沐浴場ノ設ケアリ、工場浴場ハ四坪ノ面積ヲ有シ其内ニ一坪ノ浴槽ヲ備ヘ男工ヲ入浴セシメ寄宿舎浴場ハ十坪ノ面積ヲ有シ其内ニ四坪ノ浴槽ヲ備フ。

女工寄宿舎ニ接續シテ醫務局及ビ病室ヲ設ク之レニ醫師一名看護婦二名ヲ常置シ病傷者ヲ診察治療ス。

### 慰安方法

職工慰安ノ爲メニハ女工寄宿舎ノ一端ニ高ク舞臺ヲ附設シ此處ニテ時々演藝ヲ催ス、又時



々部分的ニ職工ヲ引キ連レ近郊ニ出掛ク、尙每年初午ニハ種々ノ餘興ヲ行ヒ折詰等ヲ交附シテ歡樂ヲ盡サシメ以テ平日ノ勞苦ヲ慰藉ス。

七八

### 教育施設

當會社ニ在リテハ學齡中ノ幼年工ヲ雇傭セザル方針ニシテ從テ之レガ教育ノ施設ナシ只女子ノ爲メ裁縫教室ヲ設ケ毎日一二時間之レガ教授ヲ爲ス、職工修養機關トシテハ特筆スベキモノナク只每週一回講話會ヲ開クニ止マル。

### 貯金制度

毎月通勤者ハ賃銀ノ百分ノ三寄宿者ハ其ノ百分ノ十ヲ貯蓄セザルベカラザルコト、ナシ會社ハ之レニ對シ年六朱ノ利息ヲ附スルノ制ヲ定ム、最近一ヶ月間ニ於ケル之レガ總金額ハ約六七百圓ナリ、此外任意ニ預金スルモノモアリ一ヶ月間ノ其總金額ハ前貯金額ト略同ジ。

### 住居

家族ヲ有スル職工ノ爲メ社宅ノ設ケアリ、社宅ハ工場ヨリ離レタル所ニアル新築ノ二階家ニシテ三棟五十八戸ヲ有ス、階上階下共ニ四疊半大ノ室二ツアリ、各戸ニ便所ヲ備ヘ三戸一ツ當ニ水道栓ヲ引ク、之レガ家賃ハ階上一圓五十錢階下二圓ナリ、本社々宅ニ居住シ得ル者ハ家族員二人以上本會社ニ勤務スルモノニシテ家族従業員一人ヲ増加スルニ從ヒ家賃五十錢ヲ

減ズルコト、セリ。

單身職工ノ爲メ寄宿舎ヲ設ク、女工寄宿舎ハ工場ノ南方道路ヲ隔テタル所ニ在ル二棟ノ二階家ニシテ十五疊大ノ室二十五人乃至二十人ノ割ニテ此處ニ四百二十人ヲ收容ス、舍内ニ四ヶ所ノ髮結室便所及二ヶ所ノ洗面所ヲ有ス、尙此ノ背後ニ一棟ヲ増築シツ、アリ、男工寄宿舎ハ社宅ニ接近スル二階家ニシテ十五疊大ノ室二十人ノ割合ニテ此處ニ五十人ヲ收容ス、舍内ニ二ヶ所ノ便所及一ヶ所ノ洗面所ヲ備フ。

## 二四、東京毛織株式會社大阪工場

### 共濟制度

當工場ニハ職工相互ノ救濟ヲ圖ル機關トシテ彼等ノ組織スル共濟會アリ毎月男工ハ五錢女工ハ三錢ヲ釀出シ之レニ對シテ工場ハ毎半期末ニ三百圓ヲ補給ス、而シテ會員自身ニ負債シ又ハ疾病ニ罹リ一週間以上業務ヲ休止シタルトキ及其實父母ノ死亡シタルトキニ於テ救濟ヲ爲ス、之レガ救濟ノ割合ハ傷病ノ輕重其他事情ニヨリテ異ナルモ傷病ノ際ハ概テ一週間ニ付二圓ノ割合ニテ支出ス、最近一ヶ年間ニ於ケル支出總額ハ約五百圓ニシテ目下基金七百七十圓ヲ有ス。

七九



### 物價供給機關

八〇

物資廉賣ノ方法トシテハ米炭ヲ問屋ヨリ購入シ之レヲ原價ニテ一般従業員ニ販賣ス最近一ヶ月間ニ於ケル之レガ賣上代金ハ約五百圓ヲ算ス。

寄宿舎ニ在ル者ノミナラズ通勤者ニ對シテモ一日分男工十五錢女工九錢ノ割ニテ食費ヲ徴シテ食事ノ供給ヲ爲ス、之レガ爲メ會社ノ補給スル金額ハ一日一人當リ約二十錢ナリ。

### 保健設備

沐浴場トシテハ唯女工寄宿舎内ニ設ケラルノミニテ之レハ十五坪ノ面積ヲ有シ其内ニ一坪半ノ浴槽ヲ備フ、通勤男工及寄宿男工ハ工場内ニアル幅四尺長サ六尺ノ湯桶ニ入浴セシム女工寄宿舎ニ醫務局及病室ノ設ケアリ之レニ醫師一名及看護婦二名ヲ常置シテ病傷者ヲ診察治療ス。

### 慰安方法

職工慰安ノ方法トシテハ春秋二季一同ヲ引キ連レ郊外ニ遠足ヲ試ムルモノ、外他ニ記スベキモノナシ。

### 貯金及送金制度

職工ハ毎月一日分ノ賃銀ヲ必ズ貯蓄セザルベカラザルコト、ナシ之レニ對シ會社ハ年七

朱ノ利息ヲ附ス最近一ヶ月間ニ於ケル之レガ總金額ハ約百三十圓ナリ、此外職工ノ任意ニ貯蓄スルモノモアリ之レガ金額ハ一ヶ月約五百圓ナリ、尙會社ハ毎月十五圓ヲ支出シ貯金者ノ茶話會ヲ開キ福引等ノ餘興ヲ催シ一層貯金ノ獎勵ニ努ム。國元へ送金ノ際ハ爲替料ハ全部會社ヨリ支辨シ之レガ獎勵ニ努メツ、アリ最近一ヶ月間ニ於ケル之レガ總金額ハ約三百圓ナリ。

### 住居

單身職工ノ爲メ寄宿舎ノ設ケアリ、女工寄宿舎ハ二棟ノ二階家ヨリ成リ十二疊大ノ室二十人ノ割合ニテ此處ニ百八十人ヲ收容ス、舎内ニ二ヶ所ノ便所洗面所及一ヶ所ノ髮結室ヲ備フ、男工ノ寄宿舎ハ一棟ノ二階家ニテ十疊大ノ室二十二三人ノ割合ニテ此處ニ七十八人ヲ收容ス舎内ニ一ヶ所ノ便所及洗面所ヲ置ク。

## 二五、日本莫大小株式會社浦江工場

### 慰安方法

職工ニ對スル慰安方法トシテハ春秋二季一同ヲ引キ連レ郊外ニ遠足ヲ試ムルノミ。

### 教育施設

八一



幼年工ニシテ未ダ義務教育ヲ終了セザルモノニハ學用品ヲ給與シテ夜間小學校ニ通學セシム、現在該兒童五名ヲ有ス。

修養機關トシテハ組織的ノモノハナク只毎月二回僧侶ヲ招聘シテ修身講話ヲ聽聞セシムルニ止ル。

### 貯金制度

従業員ニハ必ず毎月一日分ノ賃銀ヲ貯金セシメ居リ最近一ヶ月間ニ於ケル之レガ總金額ハ約百八十圓ナリ。

### 保健設備

工場内ノ一室ヲ治療所ニ充テ一名ノ囑託醫隔日ニ來リテ病傷者ヲ診察治療ス、藥價ハ従業員ニ對シテハ無料ナレドモ其家族ヨリハ半額ヲ徵ス。

## 二六、丸松合資會社海老江工場

### 食事供給施設

通勤者ニ對シテハ食事ノ供給ヲ爲サズ只寄宿舎ニ在住スル者ニノミ一ヶ月三圓ノ食費ヲ徵シテ之レガ供給ヲ爲ス、之レガ補給トシテハ工場ハ一ヶ月一人當リ約九圓ヲ支出ス。

### 保健設備

場内ニ六坪ノ面積ヲ有スル沐浴場一ツアリ之レヲ二ツニ區別シ各ニ約一坪ノ浴槽ヲ備フ一ハ寄宿女工ノ入浴スル所ニシテ他ハ社員ノタメニ充ツ。

場内ニテ負傷シ又ハ疾病ニ罹リタルモノニハ囑託醫ノ元ニテ診察治療セシメ藥價其他ノ費用ハ全部會社ヨリ支辨ス。

### 慰安方法

職工ノ慰安方法トシテハ唯春秋二季ニ一同ヲ引キ連レ郊外ヘ遠足ニ出掛クル外記スベキモノナシ。

### 教育施設

場内ニ於テハ之レガ施設トシテ見ルベキモノナク只幼年工ニシテ學齡中ノ者ハ學用品ヲ給與シ夜間小學校ニ通ハシメ以テ義務教育ヲ終ハラシムル方法ヲ探レリ、目下該兒童三名ヲ有ス。

職工ノ精神修養ヲ圖ランタメニハ毎月一回僧侶ヲ聘シテ講話ヲ聽聞セシム。

### 貯金及送金制度

工場ハ毎月職工一人ニ付十錢以上ヲ預金セシメ之レニ對シ年一割ノ利息ヲ附ス、現在貯金



額二千六百圓アリテ毎月ノ預入ハ拂戻ト略同ジク現在額ニ於テ餘リ増減ヲ見ズ。送金者ニ對シテ工場ハ種々利便ヲ圖リヲルモ之レガ數ハ極メテ少ナク毎月數名ニ過ギズ、而シテ其金額モ二三十圓ヲ出デズ。

### 住居

單身女工ノ爲メ寄宿舎ヲ設ク、寄宿舎ハ一棟ノ二階家ニシテ階上ヲ寢室ニ充テ階下ハ食堂等ニ使用ス、階上ニ二百二十疊ノ疊ヲ敷キ此處ニ六十五人ヲ收容ス、舎内ニ便所洗面所及髮結室各一ヶ所ヲ設ク。

## 二七、丸松合資會社福島工場

### 食事供給施設

通勤者ニ對シテハ一切食事ノ供給ヲ爲サズ只合宿所ニ在ル者ニ一ヶ月六圓ノ食費ヲ徴シテ之レガ供給ヲ爲ス、之レニ對シ會社ハ一ヶ月一人當リ約四圓五十錢ヲ補給ス。

### 保健設備

場内ニハ沐浴場ノ設備ナク只合宿所ニ在住スル者ニハ湯代トシテ一人一ヶ月分四十五錢ヲ支給シ附近ノ浴場ニ入浴セシム。

場内ニテ負傷シ或ハ疾病ニ罹リタル者ハ囑託醫ノ元ニテ診察治療セシメ藥價等ハ工場ヨリ支辨ス。

### 慰安方法

職工ノ慰安方法トシテハ只年一回奈良京都等ニ遠足ヲ試ムルニ過ギズ。

### 教育施設

場内ニ於テハ之レガ施設トシテ見ルベキモノナク只幼年工ニシテ學齡中ノ者ニハ學用品等ヲ給與シテ夜間小學校ニ通ハシム

### 貯金制度

當工場ハ職工ノ貯蓄ヲ獎勵シ預金ニ對シテハ年一割ノ利息ヲ附スルコト、セリ、毎月ノ預金者ハ二十人乃至三十人ニシテ其金額ハ百圓内外ナリ。

### 住居

單身女工ノ爲メ合宿所ヲ設ク、之レハ工場ノ附近ニ在ル一棟ノ二階家ニシテ之レニ疊六十疊ヲ敷キ四十人ヲ收容ス、舎内ニ一ヶ所ノ便所アリ。

## 二八、山發莫大小工場

### 物資供給機關



白米ヲ問屋ヨリ購入シ原價ヲ以テ從業員ニ販賣ス而シテ之レガ配給ヲ得ル者ハ戸主或ハ家族ノ柱石トナル者ニ限ル、最近一ヶ月間ニ於ケル之レガ賣上代金ハ約六百三十圓ヲ算ス。寄宿舎ニ在ル者ノミナラズ通勤職工ニモ次ノ如ク一日分ノ食費ヲ徴シテ食事ノ供給ヲ爲シ一日一人當リ約二十錢ヲ補給ス。

通勤男工	十五錢	同女工	十三錢
寄宿女工日給者	十錢	同受負者	十三錢
寄宿男工日給者	十二錢	同受負者	十五錢

### 保健設備

工場内ニ一個ノ沐浴場ヲ設ク、之レハ三十七坪半ノ面積ヲ有シ其内ニ約一坪ノ浴槽ヲ備ヘ寄宿男女工ヲ隔日交代ニ入浴セシム。  
場内ニテ負傷シ、或ハ疾病ニ罹リタル者ニハ囑託醫ノ元ニテ診察治療ヲ受ケシメ藥價等ハ全部工場ヨリ支辨ス。

### 慰安方法

職工慰安ノ方法トシテハ陽春四月稻荷大祭ヲ執行シ種々ノ餘興ヲ行ヒ觀覽セシメ又折詰等ヲ交附シテ歡樂ヲ盡サシム、又寄宿舎ニ在ル者ハ引キ連レテ京都奈良等へ遠足ニ出掛ケ自

然ノ風光ニ接セシム。

### 教育施設

場内ニ學舎ヲ設ケテ學齡中ノ幼年工ニ小學校ノ課程ヲ教ヘ又一一般幼年工ニ補習教育ヲ行フ、目下小學校生徒補習科生徒共二十三人ヲ有ス、寄宿女工ノ爲メニハ裁縫教室ヲ設ケ之レガ教授ヲ爲ス。

### 貯金制度

當工場ハ通勤者ニハ毎月賃銀ノ百分ノ二寄宿舎ニ在ル者ニハ舍費及小使錢ヲ除キ殘餘ヲ出來得ル限リ預入レシム、最近一ヶ月間ニ於ケル前者ノ預金高ハ約百圓ニシテ後者ハ約七百圓ナリ。

### 住居

單身職工ノ爲メ寄宿舎ヲ設ク、寄宿舎ハ作業場ニ接續シタル二階家ニシテ二百四十疊ヲ敷キ之レヲ中間ヨリ二ツニ區劃シ一方ニ男工五十人他方ニ女工五十四人ヲ收容ス、舍内ニ男女各一ヶ所ノ便所及洗面所ヲ備フ。

## 二九、石井莫大小工場

### 保健設備



工場従業員ニシテ負傷シ或ハ疾病ニ罹リタル者ニハ囑託醫ノ元ニテ診察治療ヲ受ケシメ之レガ爲メ要スル費用ハ一切工場ヨリ支辨ス、但シ非業務上ノ病傷者ニシテ自辨ノ能力アリト認メタルモノニハ給費セズ。

### 慰安方法

職工慰安ノ方法トシテハ只二月ノ二ノ午ノ日ニ當リ休業シテ場内ニテ種々ノ餘興ヲ行ヒ又模擬店ヲ設ケ酒肴料ヲ交附シテ歡樂ヲ盡サシム。

### 教育施設

場内ニハ教育ニ關スル何等ノ機關ヲ有セズ幼年工ニシテ學齡中ノ者ハ學用品等ヲ給與シテ夜間小學校ニ通學セシム、現在該兒童五人ヲ有ス。

## 三〇、合資會社村上洋行

### 保健設備

工場内ニテ負傷シ又ハ疾病ニ罹リタル者ハ囑託醫ノ元ニテ診察治療シ之レガ爲メ要スル費用ハ會社ヨリ支辨ス。

### 慰安方法及修養機關

春秋二季ニ職工ヲ引キ連レ郊外ニ遠足ヲ試ミ彼等ニ慰安ヲ與フコト、シ若シ之レノ行ハレザルトキハ代リトシテ反物等ノ品ヲ給與ス、又初午ノ季節ニハ休業シテ折詰菓子等ヲ交附シテ平日ノ勞ヲ慰ム。

職工修養ノ機關トシテハ別ニ組織的ノモノナク只時々名士ヲ招聘シテ講話ヲ聞カシムルニ止マル。

### 住居

數名ノ女工有志者ニヨリ造ラレタル合宿所一棟アリ、之レハ全然自治的ノモノニシテ會社ハ只監督ノ任ニ當リ總テテ彼等ノ自由ニ任セアリ特別ノ場合ヲ除クノ外ハ會社ハ之レガ經濟上ノ補助ヲモ爲サズ。

## 三一、株式會社福島洋行莫大小工場

### 食事供給機關

當工場ハ寄宿舎ニ在ル者ノミナラズ通勤職工ニモ場内ニテ食事ノ供給ヲ爲ス、其食費ハ男工一ヶ月分八圓女工一ヶ月六圓ニシテ工場ハ之レニ對シ一ヶ月一人當リ約五圓ヲ補給ス。

### 保健設備



工場内ノミナラズ寄宿舎ニモ沐浴場ノ設ケナク寄宿者ニハ浴券ヲ與ヘテ附近ノ浴場ニ入浴セシム。

病傷者ニハ囑託醫ノ元ニテ診察治療ヲ受ケシメ之レガ費用ハ寄宿ニ在ル者ニ對シテハ工場ヨリ支辨シ通勤職工ニハ實費ヲ支拂ハシム。

### 慰安方法

春秋二季ニ職工一同ヲ引キ連レテ郊外ニ出掛ケ又初午ノ季節ニ當リテハ休業シ場内ニテ種々ノ餘興ヲ行ヒ折詰酒菓子等ヲ與ヘ歡樂ヲ盡サシメ以テ平日ノ勞苦ヲ慰藉ス。

### 住居

單身職工ノ爲メ寄宿舎ノ設ケアリ、寄宿舎ハ三ツニ別テ作業場ノ二階疊十八疊ヲ敷ク處ニハ靴下部女工八名、工場ノ附近疊五十疊ヲ敷ク二階家ニハ裁縫部女工十三名、疊二十四疊ヲ敷ク平家ニハ裁縫男工八名ヲ收容ス。

### 三三、株式會社西松商店

#### 保健設備

病傷者ハ囑託醫ノ元ニテ診察治療シ藥價等ハ會社ヨリ支辨ス。

### 慰安方法

毎年一回職工一同ヲ引キ連レテ京都奈良等ニ遠足ヲ行フカ或ハ運動會ヲ催フスルノ外慰安方法トシテハ講セラレズ。

### 教育施設

場内ニハ教育ニ關スル施設トシテ見ルベキモノナク學齡中ノ幼年工ニハ學用品等ヲ給與シテ夜間小學校ニ通ハシム、目下學齡兒童十五人ヲ有ス。精神修養ノ爲メニハ毎月一回講話會ヲ開ク。

### 貯金制度

貯金ハ各自ノ自由ニ任セ會社ハ之レニ干渉セズ只皆勤者及成績佳良者ニ對シ賞與ノ意味ニテ一ヶ月五十錢乃至二圓ヲ給與シ之レヲ規約貯金トナシ郵便局ニ預入レシメ其通帳ハ會社ニ保管ス、之レガ預金一ヶ月約百圓ナリ。

### 三三、大阪手袋株式會社

#### 食事供給施設

通勤職工ニ對シテハ食事ノ供給ヲ爲サズ寄宿舎ニ在住スル者ヨリハ一ヶ月分男工六圓女



工五圓十錢ノ食費ヲ徴シテ之レガ供給ヲ爲ス、之レガ爲メ會社ガ毎月補給スル金額ハ一人當リ約四圓ナリ。

九二

### 保健設備

寄宿舎内ニ沐浴場一個アリ約九坪ノ面積ヲ有ス之レヲ男女ニヨリニツニ區劃シ各ニ幅四尺長サ七尺ノ浴槽ヲ備フ。

病傷者ニハ囑託醫ニ託シテ診察治療ヲ受ケシメ其費用ハ全部會社ヨリ支辨ス。

### 慰安方法

毎年一回職工一同ヲ引キ連レテ奈良等ニ見物ニ出掛ケル外陽春四月ニハ稻荷大祭ヲ執行シ當日ハ場内ニテ種々ノ餘興ヲ催フシ酒菓子等ヲ與ヘ以テ日常ノ勞苦ヲ慰ム。

### 教育施設

會社内ニハ教育ノ施設トシテ見ルベキモノナク學齡中ノ幼年工ニハ學用品等ヲ給與シテ夜間小學校ニ通ハシム、目下學齡兒ハ八人ヲ有ス。

### 住居

單身職工ノ爲メ寄宿舎ヲ設ク、男工寄宿舎ハ疊三十三疊ヲ敷ク一棟ノ二階家ニシテ之レニ三十三人ヲ收容ス、階上ハ寢室ニシテ階下ハ事務所等ニ使用ス、舎内ニ一ヶ所ノ便所及洗面所

ヲ備フ。女工寄宿舎ハ疊六十四疊ヲ敷ク一棟ノ二階家ニシテ之レニ四十九人ヲ收容ス、階上ハ寢室ニシテ階下ハ食堂等ニ用フ、舎内ニ便所及洗面所各一個ヲ備フ。

## 三四、攝津莫大小製造株式會社

### 教育施設及慰安方法

場内ニハ教育ニ關スル何等ノ施設ナク幼年工ニシテ學齡中ノ者ハ學用品等ヲ給シ夜間小學校ニ通ハシム、目下學齡兒六人ヲ有ス。

職工ノ慰安ヲ計ルタメ毎年陽春四月稻荷大祭ヲ執行シ折詰酒菓子等ヲ與ヘテ歡樂ヲ盡サシム。

### 貯金制度

従業員ハ毎月賃銀ノ百分ノ十ヲ貯蓄セザルベカラザルコト、ナセルガ最近一ヶ月間ニ於ケル之レガ總金額ハ約八十圓ナリ、而シテ毎年六月及十二月ノ二期ニ於テ預金高十圓以上ノ者ニハ賞與トシテ其ノ一割ヲ支給ス。

## 三五、寺阪莫大小株式會社

### 保健設備及慰安方法

九三



工場内ニテ負傷シ或ハ疾病ニ罹リタルモノニハ囑託醫ノ元ニテ診察治療ヲセシメ之レガ費用ハ會社ヨリ支辨ス。

職工ノ慰安ヲ計ルタメニハ陽春四月稻荷大祭ヲ執行シ餘興ヲ催フシテ觀覽セシメ又酒肴料等ヲ交附シテ一日ヲ樂シク過ゴサシム。

### 教育施設及貯金制度

場内ニハ教育ニ關スル施設ナク學齡中ノ幼年工ハ學用品等ヲ給シテ夜間小學校ニ通ハシム。

従業員ハ必ず毎月賃銀ノ百分ノ五ヲ貯蓄セザルベカラザルコト、ス而シテ最近一ヶ月間ニ於ケル之レガ總金額ハ約五十圓ナリ。

## 三六、合資會社稻畑染工場

### 物資供給機關

問屋ヨリ玄米ヲ購入シテ工場内ニテ精白シ之レヲ一升三十錢ニテ従業員ニ販賣ス、最近一ヶ月間ニ於ケル之レガ賣上高ハ約二十五石ナリ。

寄宿舎ニ在住スルモノハ勿論通勤者ニ對シテモ食事ノ供給ヲ爲ス、而シテ食費トシテ一日

分男工二十錢女工十四錢ヲ徴ス、之レガ爲メ會社ノ補給スル金額ハ一日一人當リ約十五錢ナリ。

### 保健設備

場内ニ五十六坪ノ面積ヲ有スル沐浴場アリ之レヲ男女ニヨリテ二ツニ區劃シ各二一坪ノ浴槽ヲ備ヘ付ケ寄宿者タルト通勤者タルトノ區別ナク従業員全般ニ無料ニテ入浴セシム病傷者ニハ豊崎町ニ在ル豊崎病院ニ依頼シテ診察治療ヲ受ケシメ之レガ費用ハ工場ヨリ支辨ス。

### 慰安方法

當工場ニ於ケル唯一ノ職工慰安方法ハ毎年四月ノ稻荷祭當日ニ休業シ折詰菓子等ト共ニ酒肴料ヲ交附シテ任意何處ニテモ出掛ケ歡樂ヲ盡サシムルニアリ。

### 教育施設

當工場ノ方針トシテ學齡中ノ兒童ヲ雇傭セザルタメカ、ル幼年工ハ一人モナク從テ之レガ教育機關ヲ有セズ、只寄宿女工ニハ毎日裁縫ノ教授ヲ爲ス。

### 貯金制度

従業員ニハ毎月一日分ノ賃銀ヲ貯蓄セシメアリ最近一ヶ月間ニ於ケル之レガ總金額ハ約



九十圓ナリ。

### 住居

單身職工ノ爲メ寄宿舎ノ設ケアリ、男工寄宿舎ハ工場ノ東南ニ接近シテ建テラレタル一棟ノ二階家ニシテ十七疊半大ノ室ニ八人ノ割ニテ此處ニ三十二人ヲ收容ス、舎内ニ洗面所便所各一ヶ所ヲ有ス、女工寄宿舎ハ工場ノ北隣ニ在ル一棟ノ二階家ニテ十七疊半大ノ室ニ約六人ノ割ニテ此處ニ三十七人ヲ收容ス、舎内ニ一ヶ所ノ洗面所及便所ヲ備フ。

九六

## 三七、大阪染工合資會社

### 食事供給機關

寄宿舎ニ在居スルモノ、ミナラズ通勤者ニモ一日分男工二十一錢女工十八錢ノ割合ニテ食費ヲ徴シテ食事ノ供給ヲ爲ス、之レガタメ會社ハ一日一人當リ約二十二錢ヲ補給ス。

### 保健設備

工場内ニ一ヶノ沐浴場ヲ設ケテ之レニ男工ヲ入浴セシム其面積ハ約八坪ニシテ其内ニ二坪ノ浴槽ヲ備フ。  
病傷者ニハ豊崎病院ニ依頼シテ診察治療ヲ受ケシメ其費用ハ會社ヨリ支辨ス。

### 慰安方法

職工ノ慰安方法トシテハ春秋二季、京都奈良ノ名所ヲ訪ヒ又ハ近郊ニ遠足ヲ試ムルニ過ギズ。

### 教育施設

當會社雇傭ノ職工ニハ二名ヲ除ク外ハ全部十四歳以上ノ者ニシテ學齡中ノモノハ一人モナシ、從テ之レガ教育ノ機關ヲ有セズ。

寄宿舎ニテハ毎月二回茶話會ヲ催シ種々ノ講話ヲ聽クト共ニ相互ノ親睦ヲ計ル。

### 貯金制度

従業員ハ必ず毎月一日分ノ賃銀ヲ預金セザルベカラザルコト、ナシ其金額十圓ニ達スル場合ハ獎勵ノ爲メ會社ヨリ其一割ニ相當スル金額ヲ附與ス、最近一ヶ月間ニ於ケル貯金總額ハ約百五十圓ナリ。

### 住居

單身男工ノ爲メ寄宿舎ヲ設ク、寄宿舎ハ工場ノ東方ニ在ル二棟ノ二階家ニシテ之レニ疊八十九疊ヲ敷キ七十八人ヲ收容ス、各棟ニ一ヶ所ノ便所及洗面所ヲ備フ、但シ一棟ハ普通住宅ヲ代用セシモノナリ。

九七



### 三八、株式會社高橋製帽所

#### 物資供給機關

當會社ニテハ米價騰貴以來白米廉賣ノ方法ヲ講ジ之レガタメ米券ヲ發行シ之レヲ持ツテ指定白米商ニテ普通價額ヨリ一升ニ付二三錢安ニテ購入シ得ル様ニ爲ス、而シテ最近一ヶ月間ニ於ケル該商店ノ賣上高ハ約三石ナリ。

#### 保健設備

沐浴場トシテ特ニ設ケラレタルモノナケレドモ工場内ニアル六ヶノ湯桶ヲ之レガタメ使用シ毎日男工ヲシテ人浴セシム。

工場ノ一部ヲ治療室ニ充テ此處ニ囑託ノ醫師三日ニ一度ノ割ニ出張シ病傷者ヲ診察治療ス。

#### 慰安方法

職工ノ慰安ヲ圖ル爲メ春秋二季ニ一同ヲ引キ連レテ郊外ニ遠足ヲ試ムル外四月ニハ稻荷大祭ヲ執行シ場内ニテ餘興ヲ行ヒ又折詰酒等ヲ與ヘテ歡樂ヲ盡サシム。

#### 教育施設

教育施設トシテハ工場内ニ起臥スル十五人ノ徒弟ニ對シ毎日三十分乃至一時間小學校ノ課程ヲ授クルモノアルノミ。

#### 貯金制度

毎月々收十圓以上ヲ得ル職工ハ必ズ其ノ百分ノ五以上ヲ貯蓄セザルベカラザルコト、ナシ會社ハ之レニ對シ年七朱二厘ノ利ヲ附ス、最近一ヶ月間ニ於ケル之レガ總金額ハ約二百二十圓ナリ。

#### 住居

工場ノ附近ニアリ疊四十五疊ヲ敷ク一棟ノ二階家ヲ以テ男工合宿所トナシ之レニ單身ノ男工二十二人ヲ收容ス、而シテ彼等ニハ寄宿費トシテ一日二十五錢ヲ支拂ハシム。

### 三九、濱谷帽子株式會社

#### 物資供給機關

物資廉賣ノ施設トシテハ白米ヲ時價ヨリ約一割安ノ價格ニテ一般従業員ニ配給スルモノアリ、最近一ヶ月間ニ於ケル之レガ賣上代金ハ約一千圓ナリ。

#### 保健設備



病氣ニ罹リ或ハ負傷シタル者ハ囑託醫ノ元ニテ診察治療シ之レガ費用ハ會社ヨリ支辨ス

### 慰安方法

職工ノ慰安ヲ圖ル爲メ陽春ノ候ニ一同ヲ引キ連レテ奈良京都等ニ遠足ヲ試ム。

### 教育施設

場内ニハ教育ニ關スル施設ナク學齡中ノ幼年工ニハ學費ヲ支給シテ夜間就學セシム。

### 貯金制度

職工ノ貯金ハ自由ニ任セアルモ之レガ獎勵ニ努メ預金者ニハ其一割ニ相當スル金額ヲ附與スルコト、セリ、最近一ヶ月間ニ於ケル預金總額ハ約三十圓ナリ。

## 綜 結

既ニ個別的ニ各會社又ハ工場ニ於ケル福利増進ノ施設ニ就キ記述シ來リタルガ今之レガ結尾トシテ茲ニ綜括的觀察ヲ試ミン。

### 共濟制度

三十九會社及ビ工場中共濟制限ヲ有スルモノハ僅カ八ニシテ其ノ他ニ過去ニ於テハ本制

度ヲ有シタルモ現在之レヲ廢シ會社直接ニ従業員ノ救濟ニ當ルモノ一、二アリ、共濟組合員ハ之レガ資金トシテ毎月一定額ノ金員ヲ釀出シ一會社ヲ除キテ他ハ總テ少ナクトモ組合員ノ釀金總額ノ四分ノ一ヲ支出シ其ノ事業ヲ補助ス、而シテ本制度ノ事業ハ會社ニヨリテ多少異レドモ大体左ノ範圍ニ包括スルコトヲ得。

#### 一、組合員慶事ノ祝賀

#### 二、組合員又ハ其家族ノ罹災ノ場合ニ於ケル救濟及ビ吊慰

#### 三、所定ノ勤続年限ニ達シタル者又ハ傷病老衰ノタメ勞務ニ堪ヘズ退社シタル者ニ對スル年金又ハ慰勞金ノ給與

#### 四、其他組合員ノ幸福ヲ増進スル事項

### 物資供給機關

調査工場中購買組合ヲ有スルモノナク組合ニ依ラズシテ通勤者ニ對シ物資ノ廉賣ヲ爲スモノ二十アリ此中白米ヲ始メ其他ノ日用品ヲ販賣スルモノ十一、白米及薪炭ノミヲ販賣スルモノ一、唯白米ノミヲ販賣スルモノ八アリ、其他米代補助トシテ幾何カノ金員ヲ支給スルモノ四アリ、之レガ賣價ハ工場ニヨリ差アリテ一様ナラザルモ白米一升代二十七錢ヨリ四十五錢ノ間ニアリ、其ノ他ノ日用品ハ殆ンド原價販賣トス。

寄宿舎ニ寄宿スル者ニ對シテ本施設ヲ有スルモノ二十一アリ、之レハ寄宿舎又ハ事務所ニ



賣店ヲ設ケ日用品及ビ諸雜貨ヲ備ヘ其ノ多クハ原價販賣ヲ爲ス。

物價暴騰ノ昨今物資廉賣施設ノ必要ハ今更言ハズトモ明カナルコトニシテ就中通勤者ニ對シ之レガ緊要ヲ深ク感ズ。

通勤者ニ對シ食事供給ノ施設ヲ有スルモノ二十六アリ、其ノ食費ノ最モ高キハ一日分男工二十七錢女工二十錢ニシテ最モ安キハ一日分男工十二錢女工九錢ナリ、而シテ男工ノ食費ニアリテハ一日分十五錢女工ノ食費ニアリテハ一日分十二錢ノモノ最モ多シ。

又社宅構内ニ簡易食堂ヲ設ケ此處ニ居住スル人々ニ低廉ニテ食事ノ供給ヲ爲スモノ二三ヶ所アリ、寄宿舎ニ於ケル賄料ハ會社工場ニヨリテ差アレドモ男工一日分十五錢女工一日分十錢ノモノ多數ヲ占ム、今此ノ賄料ニ會社工場ガ補給スル金額ヲ加算シ見ルニ寄宿舎ニ於ケル職工ノ多クハ一日三十錢乃至四十錢ノ食物ヲ口ニスルコト、ナル、而シテ彼等ニ對シ少ナクトモ一日四合餘ノ米ヲ要スルトセバ副食物ニ充ツル金額ハ甚ダ少額ナリト云ツベシ。

### 保健設備

身体ノ塵垢ヲ洗滌シ一日ノ疲勞ヲ回癒セシムルタメ工場ノ如キ所ニテハ特ニ沐浴場ノ必要ヲ認ムルモノナルガ社宅以外ノ通勤者ニ對スル沐浴場ヲ有スルモノ十五、社宅浴場ヲ有スルモノ五アリ、而シテ之等ハ三四ヲ除クノ外ハ皆入浴料ヲ徴セズ、多クノ工場ハ醫務局及ビ病室ヲ設ケ之レニ醫師及ビ看護婦ヲ常置シ病傷者ヲ診察治療スルコト、ナセルガ他ノ建物ヨ

リ獨立シテ之レヲ設ケルモノ十三、アリ他ハ多ク寄宿舎等ニ附設ス、此ノ設備ヲ有セザルモノハ附近ノ醫師或ハ病院ニ依頼スルコト、ナリ其ノ病傷ガ業務ニ基因セザル場合ハ實費ヲ徴スルモノ多シ。

運動遊戯ノ機關トシテハ一二ノ工場ヲ除キテハ寄宿舎又ハ社宅構内ニ形式的ニ一二ノ設備ヲ爲スニ止マル、蓋シ職工ハ長時間ノ勞働ニ追ハレテ之レガ餘裕ヲ有セザルニ因ルナルベシ

### 慰安方法

職工ニ對スル慰安ノ方法トシテ講ゼラル、重ナルモノハ時々行ハル、一般演藝ノ催シ、春秋二季ノ遠足又ハ運動會及ビ稻荷祭ノ執行等ナリ、而シテ工場ニヨリテハ演藝ノ爲メ大娛樂場ヲ有スルモノアリ又食堂等ヲ利用シテ餘興ノ催シヲ爲スモノモアリ、或工場ニアリテハ寫眞器械等ヲ備ヘ之レヲ使用セシメ又或工場ニテハ文藝會ヲ開キテ慰安ヲ與フル手段ト爲ス俱樂部ヲ有スルモノハ甚ダ少數ニシテシカモ此所ニハ娛樂用トシテハ圍碁將棋及ビビンボ等ヲ備フルニ過ギズ。

### 教育施設

多クノ會社工場ハ義務教育ヲ終了セザル學齡兒童ヲ雇備シ居リテ之レガ教育ニ關スル施設ヲ有ス、其中會社工場内ニ教室ヲ有スルモノ十八、教室ヲ有セザルタメ授業料及學用品等ヲ



給與シテ夜間他ニ通學セシムルモノ十アリ、場内教室ニテハ朝夕二三時間小學校ノ課程ヲ教フルヲ通例ト爲ス、此外一般幼年工ニ補習教育ヲ行フモノ七アリ、女工寄宿舎ニアリテハ多ク裁縫教室ヲ設ケテ專任ノ教師ヲシテ毎日之レガ教授ニ當ラシム、而シテ兒童ハ過激ナル勞務ノ爲メ心身疲勞シ爲メニ授業ヲ受クルヲ好マズ其ノ出席歩合甚ダ惡シク、サレドモ裁縫ニアリテハ直接ノ必要ヲ感ズル爲メカ出席スル者比較的モ多キモノ、如シ。

托兒所又ハ保育所ヲ設ケテ通勤者ノ乳兒又ハ幼兒ヲ預リ之レヲ保護スルモノ甚ダ尠ナク唯四ニ過ギズ。

### 貯金及送金制度

職工ノ貯金ニ關スル制ヲ設クルモノ三十、其ノ中會社工場直接ニ之レヲ預リ之レニ對シ一定ノ利息ヲ附スルモノ殆ンド半アリテ其ノ利率ハ會社工場ニヨリテ差異アリテ最モ低キハ年五厘最モ高キハ年一割ナリ、他ハ多ク會社工場ノ手ヲ經テ郵便貯金トナシ其ノ通帳ハ會社工場ニ保管ス。

保護貯金又ハ保證積立金ノ名義ニテ毎月賃銀ノ一部分ヲ貯蓄セシムルモノ二十一アリ、其ノ多クハ賃銀ニ比例シテ其ノ百分ノ二、乃至三又ハ一日分ヲ預入レシメ他ハ賃銀ノ多少ニ關

セズ各人一様二十錢或ハ三十錢等ヲ預入レシム。

其ノ他任意ニ預金スルモノアリト雖モ之等ハ多ク寄宿女工ニシテ通勤者ニハ甚ダ少ナシ蓋シ多クノ職工ハ目前ノ利ニ走り將來ノ慮薄キニ依ルナラン。

送金ハ寄宿舎ニ在ル女工ニ多ク之レハ彼等自身ノ爲メナラズ工場ニアリテモ職工募集政策上大ナル利益ヲモタラスモノニシテ工場ハ之レガ獎勵ニ努メ爲替料等ハ全部工場ニテ支辨スルコト、セリ。

### 住居

家族ヲ有スル職工ノ爲メ社宅ヲ有スルモノハ十七ニシテ其ノ戸數平家一千二百五十二戸二階家八百四十戸ナリ、平家ノ小ナルハ疊七疊半大ナルハ二十四疊ヲ數キ二階家ノ小ナルハ疊十三疊半大ナルハ二十二疊半ヲ數ク、此ノ家賃ハ平家ニアリテ最モ低廉ナルハ一疊當リ九錢最モ高價ナルハ一疊當リ二十八錢ノ割ニシテ二階家ニアリテハ最低一疊當リ十二錢ニテ最高ハ平家ノソレト殆ンド同ジ、而シテ多クノ社宅ハ一疊二十錢乃至二十八錢ニ當ル、住宅拂底ノ折柄工場ガ社宅ヲ建築シテ従業員ヲ住居セシムルコトハ最モ緊急ヲ要スル事ニシテ之レハ彼等ノ生活ノ安定ヲ保證スル一步トモナルモノナリ。

單身者ノ多キ纖維染織工業會社及ビ工場ニテ男工寄宿舎ヲ有スルモノ二十四、女工寄宿舎ヲ有スルモノ二十九アリ、此處ニ收容スル者ハ男工二千六百六十四名女工二萬二千五百八十







## 参 考

### 一、富士瓦斯紡績共済組合規則摘要

#### 一、總 則

- (一) 本組合ハ會社保護監督ノ下ニ會社ノ職員及職工ヲ以テ組織ス  
但月給金五十圓以上ノ職員ヲ除ク
- (二) 本組合員ハ組合員ノ疾病妊娠負傷ヲ救済扶助シ又ハ死亡者ヲ賑恤スルヲ以テ目的トス

#### 二、組合 醱 金

- (三) 組合員ノ醱金ハ毎月職員ハ月給又ハ日給月額ノ六十分ノ一職工ハ日給ノ半日分出來  
高拂工銀法ニ屬スルモノハ請負日給ノ半日分トス  
但滿十ケ年繼續醱金シタルトキハ其義務ヲ終了スルモノトス
- (四) 會社ハ別ニ醱金總額ト同額ヲ補給スルモノトス
- (五) 組合員ニシテ本組合ヨリ救済ヲ受クル者ハ其ノ期間拂込醱金ヲ免除スルコトアルベシ



三、病氣并ニ妊娠ノ場合ニ於ケル救濟

(六) 組合員病氣ニ罹リタルトキハ會社所設ノ醫務所又ハ指定ノ病院ニ於テ無料ヲ以テ治療ヲ爲スノ外本組合ハ左ノ救濟ヲナスモノトス

一、病氣ノ爲メ執業ニ堪ヘザルモノハ醫師ノ證明ニヨリ缺勤六日目ヨリ一日ニ付從來ノ給料ノ半額以內ヲ手當トシテ給ス其ノ給料ノ出來高拂工銀法ニ屬スルモノハ請負日給ニヨル

一、組合員ニシテ會社所設ノ病室又ハ指定ノ病院ニ入院スルコトヲ許サレタルトキハ本條第一項ノ手當ヲ給セズ

(七) 病氣ノ者醫師ノ診断及本人ノ望ニヨリ歸國療養ヲ必要ト認メ解雇シ歸休セシムル時ハ相當ノ手當ヲ給ス

但手當金支出方法ハ別ニ細則ニヨリ定ム

(八) 病氣救濟期間ハ三ヶ月ヲ限リトス

但本條ノ期間ヲ經過シ猶病氣恢復セザルトキハ本人勤務ノ成績在社年數等ヲ參酌シ本部委員會ノ決議ニヨリ更ニ期間ヲ延長ヲナスコトアルベシ

(九) 有夫ノ組合員ニシテ分娩シタルトキハ三週間相當日給金額ヲ一時ニ支給ス

四、業務上ノ負傷又ハ疾病ノ場合ニ於ケル救濟

(十) 組合員業務上負傷シ又ハ疾病ニ罹リタルトキハ別ニ定ムル會社ノ扶助規則ニヨリ會社ヨリ扶助スルノ外本組合ハ本部委員會ノ決議ニヨリテ其ノ負傷又ハ疾病ノ治療後ニ遺留セル身体障害ノ程度ニヨリ左ノ區別ニ從ヒテ負傷救濟金ヲ支給ス

- 一、終身自用ヲ辨ズルコト能ハザルモノ 金五十圓以上
- 二、終身勞務ニ服スルコト能ハザルモノ 金四十圓以下
- 三、多少ノ障害ヲ遺スモ引續キ從來ノ勞務ニ服スルコトヲ得ルモノ 金十五圓以下

但シ障害ヲ遺サザルモノト雖モ治療上休業セル日數ヲ參酌シ金十圓以下ノ救濟金ヲ支給スルコトヲ得

(十一) 負傷又ハ疾病ガ本人ノ故意又ハ重大ナル過失ニ基クモノナルトキハ前條ノ救濟ヲナサズ

但事情ニヨリテ支部委員會ノ決議ヲ以テ第六規定以內ニ於テ救濟ヲナスコトアルベシ

五、死亡ノ場合ニ於ケル救濟



(十二) 組合員ニシテ負傷又ハ疾病ニ罹リ死亡シタルトキハ本部委員會ノ決議ニ據リ左ノ救濟ヲナス

- 一、葬式料 金十五圓以内
- 一、弔慰金 金五十圓以内

### 二、倉紡共済組合定款摘要

#### 一、總則

(一) 本組合ハ組合員相互ノ救済ヲナシ其ノ幸福ヲ増進スルヲ以テ目的トス

#### 二、組合員

- (二) 本組合ハ倉敷紡績株式會社ノ工手及之ニ準ズベキモノヲ以テ組織ス
- (三) 本組合員以外ノモノニシテ本組合ノ事業ニ賛成同情ヲ表シ金品ヲ寄附シタルモノハ之レヲ賛助員トス

#### 三、傷病救済

(四) 組合員傷病ニ罹リ休養五日以上ヲ要スルトキハ社醫ノ診斷ニヨリ六日以下六十日ヲ限リ左ノ傷病救済金ヲ給與ス

最近受領日給高	日給七十錢以上	日給五十錢以上	日給三十錢以上	日給三十錢未満
救済金日額	三十五錢以下	二十五錢以下	十七錢以下	十五錢以下

請負工ハ最近三ヶ月間會社ヨリ受領シタル平均所得日額ヲ以テ標準トス

(五) 滿五ヶ年以上本組合員タリシモノニシテ一回モ救済ヲ受ケタルコトナキ者ハ第四ノ救済期間ヲ百二十日トス

(六) 前項ノ期間ヲ經過シテ尙勤務シ得ルニ至ラザルモ以後二週間以内ニ全治シ業務ニ服シ得ベキ見込ミ確實ナルモノハ其ノ期間内引キ續キ前項ノ救済金ヲ給與スルコトヲ得

(七) 第四ノ救済ヲ受ケタルモノ全快出勤後二十日以内ニ再ビ傷病ノ爲メ缺勤シタルトキハ其ノ救済ハ前後ヲ通算シテ九十日ヲ超ユルコトヲ得ズ

(八) 第五ノ救済ヲ受ケタルモノ全快出勤後二十日以内ニ再ビ傷病ノ爲メ缺勤シタルトキハ其ノ救済ハ前後ヲ通算シテ百五十日ヲ超ユルコトヲ得ズ

(九) 組合員傷病ノタメ社醫ノ診斷ニヨリ組合附屬ノ病院又ハ會社指定ノ病院ニ入院ヲ要スルトキハ入院料ノ全部又ハ一部ヲ補給スルコトヲ得

(十) 組合員傷病ノタメ社醫ノ診斷ニヨリ歸國スルトキハ第四ニヨル救済金ノ外歸國ニ要スル旅費ヲ支給ス



(十一) 歸國療養ヲ要スルモノ、父兄ガ保護ノ爲メ來社シタルトキハ其ノ旅費ヲ支給ス  
但シ會社ガ之レヲ認メタル場合ニ限ル

(十二) 業務上ノ傷病ニヨリ労働能力ヲ減損スト雖モ輕易ナル業務ニ堪ヘ引續キ在社スルモ  
ノニハ既往ノ組合在籍年數ニ等シキ期間、傷病前ノ賃金ト傷病後ノ賃金トノ差額ヲ補  
給ス  
但シ其後昇給スルモ補給金ヲ減少セズ

(十三) 勤続六ヶ月以上ニ亘レル有夫ノ組合女子分娩セルトキハ産後五週日間第四ノ救済金  
ヲ支給ス  
但シ産後三週日ヲ經過シテ就業スルモノハ此ノ限ニアラズ

### 四、死亡救済

(十四) 組合員傷病ノタメ死亡シタルトキハ左ノ葬儀料並ニ遺族扶助料ヲ給與ス  
葬儀料金二十圓以内  
遺族扶助料金二百圓以内

(十五) 遺族ノ順位ハ工場法施行令第十條乃至十三條ニ依ル

(十六) 社醫ノ診断ニヨリ傷病ノタメ歸休又ハ休業中ノモノ與ヘラレタル休養期間經過後六  
ヶ月以内ニ死亡シタルトキハ金二十圓以下ノ香奠料ノミヲ給ス

但シ事故ノタメ歸休又ハ休業中ノモノ死亡シタルトキモ前項ト同一ニ取扱フコト  
アルベシ

### 五、厄災救済

(十七) 組合員ト同居セル配偶者又ハ一等親ニシテ組合員ニアラザルモノ負傷疾病死亡等ノ  
場合ハ金二十圓以内ノ見舞金ヲ支給ス

(十八) 組合員不時ノ變災ニ罹リタルトキハ金二十圓以内ノ見舞金ヲ給與スルコトヲ得

(十九) 厄災救済ハ脱退金ニ關係セズ

### 六、年金及一時金

(二十) 組合員左ノ年限ヲ勤続シタルトキハ在社中左ノ年金ヲ支給ス

區 別	勤 続 年 數	年 金 額
寄宿女子組合員	勤続滿二ケ年ニ及 ビタル翌月ヨリ	最近一ケ年間 給料總額 百分ノ七
通勤女子組合員	勤続滿三ケ年ニ及 ビタル翌月ヨリ	同 百分ノ八
男子組合員	勤続滿五年ニ及 ビタル翌月ヨリ	同 百分ノ九

但シ女子組合員ニシテ轉籍シタル場合ハ既往ノ勤務月數ニ按分シテ其ノ期間ヲ定



(廿二) 業務上ノ負傷又ハ疾病ニヨリ終身自用ヲ辨ズルコト能ハザルモノ又ハ終身勞務ニ服スルコト能ハザルモノ退社スルトキ、或ハ業務上ノ傷病ニヨリ死亡シタルトキハ其ノ程度及組合在籍年數ニ應ジ金三百五十圓以下ノ慰藉料又ハ遺族扶助料ヲ支給ス

(廿三) 組合員ニシテ會社ニ滿十ヶ年以上勤続シ勞働不能ノタメ退社スルモノニハ社醫ノ證明ニヨリ金三十圓乃至四百圓ノ一時金又ハ三ヶ年乃至八ヶ年間金十五圓乃至五十圓ノ年金ヲ支給ス

(廿四) 年金ヲ受クベキ組合員ニハ年金證書ヲ交附ス

(廿五) 年金ハ毎年二回六月及十二月ニ分チテ之レヲ支給ス

(廿六) 年金受領者ニシテ其ノ期間ニ死亡シタルトキハ其ノ以後受クベキ年金總額ノ半額ヲ一時ニ其ノ遺族ニ給ス

### 七、醜金

(廿七) 組合員ノ掛金ハ毎月給料ノ百分ノ三トス

(廿八) 組合員勞働不能ノタメ十五日以上ノ救済ヲ受ケタルトキハ其ノ月ノ掛金ヲ免除ス

(廿九) 組合員滿五ヶ年間引續キ掛金ヲナシ一回モ救済ヲ受ケザルトキハ其ノ以後掛金ノ三

分ノ一ヲ免除シ十ヶ年引續キ掛金ヲナシ一回モ救済ヲ受ケザルトキハ三分ノ二ヲ免除ス

但シ救済ヲ受ケタルトキヨリ爾後全額ノ拂込ヲナスモノトス

(三十) 本組合ハ會社ヨリ毎月醜金ト同額以上ノ補助金ヲ受ク

## 三、和紡共濟會々則摘要

### 一、總則

(一) 本會ハ會員ノ負傷疾病又ハ死亡シタルモノ分娩後勞働ニ堪ヘザルモノ老衰ノ爲メ勞働ニ堪ヘザルモノ徴兵ニ合格入營スルモノ國家有事ノ爲メ出征スルモノ及其ノ家族ニシテ貧困ナルモノ其他天災地變ノ不慮ノ災害ニ遭遇シタルモノ等ニ救済スルヲ以テ目的トス

(二) 本會ハ會社保護監督ノ下ニ會社職員及其ノ他ノ使用人ヲ以テ組織ス

### 二、會員及醜金

(三) 本會ノ會員ヲ左ノ二種トス

名譽會員



正會員

- (四) 名譽會員ハ會社ノ職員ガ本會ノ事業ニ替同ヲ表シ毎月贈金スル義務アルモノヲ云フ
  - (五) 正會員ハ部長、守衛、看護婦、世話係、給仕、小使、男女工手、仲仕(用品倉庫夫、倉庫仲仕)炊事夫、衛生夫ニシテ會社ニ就職中必ズ加入スルノ義務アルモノトス
  - (六) 會員ノ贈金率ハ左ノ二種トス  
名譽會員ハ毎月々給ノ二百分ノ一  
正會員ハ毎月所得ノ百分ノ一
  - (七) 會員ノ贈金ハ毎月末計算係ニ於テ所得金ノ内ヨリ控除スルモノトス
  - (八) 名譽會員ハ本會ノ救濟ヲ受ケザルモノトス
  - (九) 正會員ニシテ労働不能ノ爲メ本會ヨリ救濟ヲ受クルモノニハ其ノ期間内ニ贈金ヲ免除ス
  - (十) 會社ハ別ニ會員贈金總額ノ三分一ヲ補給スルモノトス
- 三、病氣ノ場合ニ於ケル救濟**
- (十一) 正會員病氣ニ罹リ缺勤三週間以上ニ涉リ尙全治ノ見込ナキモノハ役員審査ノ上勤續年限ニ基キ見舞料トシテ金三十圓以内ニ於テ救濟スルモノトス
  - (十二) 正會員ニシテ老衰ノ爲メ労働ニ堪ヘズシテ退社スル者ニハ役員審査ノ上勤續年限ニ

- (十三) 基キ金三十圓以内ニ於テ救濟スルモノトス
- (十四) 入社後一ケ年勤續セル正會員ニシテ分娩後労働スルコト能ハザル場合ニハ醫師ノ證明ニヨリ役員審査ノ上勤續年限ニ基キ金十圓以内ノ補助料ヲ給與スルコトアルベシ但補助料ヲ受クベキ妊婦ハ正式結婚者ト認メタルモノニ限ル
- (十五) 病氣ノ原因ガ本人過度ノ飯酒其他ノ不品行ヨリ起リタルモノナルトキハ前條ノ救濟ヲナサズ

四、職務上負傷疾病ノ場合ニ於ケル救濟

- (十六) 正會員ニシテ職務ノ爲メ負傷シ又ハ疾病ニ罹リタルトキハ醫師ノ證明ニヨリ本會ニ於テ役員審査ノ上勤續年限ニ基キ左表ニ依リ救濟スルモノトス
- 終身自用ヲ辨ズル能ハザルトキ 金一百圓以内
- 終身労働ニ服スル能ハザルトキ 金七十五圓以内
- 從來ノ労働ニ服スル能ハザルトキ 金五十圓以内
- 健康舊ニ復スル能ハザルトキ 金五十圓以内
- 女子ノ外貌ニ醜痕ヲ殘シタルトキ 金五十圓以内
- 身体ヲ障害シ舊ニ復スルコト能ハズト雖モ引キ續キ従業ノ労働ニ服スルコトヲ得ルトキ 金二十五圓以内



### 五、死亡ノ場合ニ於ケル救濟

- (十六) 正會員ニシテ疾病ノ爲メ死亡シタルトキハ本會役員審査ノ上勤續年限ニ基キ金五十圓以内ノ葬祭料ヲ給與スルモノトス
- (十七) 傳染病ニ罹リ死亡シタル者ハ役員審査ノ上勤續年限ニ基キ金六十圓以内ノ葬祭料ヲ給與スルモノトス  
但シ傳染病ハ左ノ四種トス  
虎列刺、赤痢、腸窒扶斯、ベスト
- (十八) 正會員ニシテ職務上負傷ノ爲メ即死シ又ハ負傷疾病ノ爲メ療養中死亡シタルトキハ役員審査ノ上勤續年限ニ基キ金一百圓以内ノ救濟ヲナスモノトス

### 六、其他ノ場合ニ於ケル救濟

- (十九) 正會員ニシテ徵兵令ニ依リ入營又ハ出征ノ場合ニハ役員審査ノ上勤續年限ニ基キ金別トシテ金二十圓以内ヲ給與スルモノトス
- (二十) 正會員ニシテ國家有事ノ爲メ出征シ其ノ家族貧困ニシテ家計上困難ノ場合ニハ役員審査ノ上勤續年限ニ基キ或ル期間ヲ限り相當ノ救濟ヲナスコトアルベシ
- (廿一) 正會員ニシテ天災地變ノ不慮ノ災害ニ遭遇セルモノニシテ一家非常ニ困難ニ陥リタ

ル場合ニハ役員審査ノ上勤續年限ニ基キ相當ノ救濟ヲナスモノトス

- (三三) 本則ハ第十一乃至二十二ニ據ルノ外救濟ヲ必要ト認ムル者ハ役員審査ノ上相當ノ救濟ヲナスコトアルベシ

## 四、上毛モスリン株式會社共濟組合定款摘要

### 一、總 則

- (一) 本組合ハ上毛モスリン株式會社ニ勤務スル職工、定備男女(炊事夫、看護婦、雜役夫ヲ含ム)等ノ病傷災厄ヲ救濟シ老衰者ヲ扶養スルヲ以テ目的トス

### 二、組 合 員

- (二) 上毛モスリン株式會社(以下單ニ會社ト稱ス)ニ勤務スル職工及定備男女ハ職工名簿定備人名簿ニ登録セラレタル當月ヨリ本組合ニ加入シ組合員タルノ義務アルモノトス

### 三、保 險 料

- (三) 本組合員ハ毎月所得給料ノ百分ノ一半ニ相當スル金額ヲ保險料トシテ組合ニ拂込ム義務アルモノトス
- (四) 本組合員ニシテ組合ニ加入後滿五ケ年間引續キ保險料ヲ拂込ミ一回モ救濟ヲ受ケザ



ル者ハ其ノ翌月ヨリ保険料ハ半額ニ減ジ同滿七ケ年ニ及ビタル者ハ四分ノ一ニ減ジ同滿十ケ年ニ及ビタルモノハ其ノ全額ヲ免除ス

(五) 本組合員ニシテ勞働不能ノ爲メ組合ノ救濟ヲ受ケツ、アルモノハ其ノ期間左ノ例ニ依リ保険料ノ拂込ヲ免除ス

- 一、救濟ヲ受クル日ト十日以内ノ者ハ保険料ノ減免額三分一
- 一、同二十日以内ノ者ハ減免三分二
- 一、同二十一日以上ノ者ハ減免全額

#### 四、疾病扶助

(六) 本組合員ニシテ病氣ニ罹リ七日以上ノ休業ヲ要スルモノハ會社醫務局醫師(以下社醫ト稱ス)若クハ組合ノ指定セル醫師ノ診斷書ヲ添へ申出ヅルトキハ其届出ノ翌日ヨリ左ノ扶助料ヲ支給スルモノトス

但シ後段ノ場合ト雖モ社醫ヲシテ診斷セシムルコトアルベシ  
第一期扶助開始後二ケ月間

每一勞働日ニ其前三ケ月分所得給料平均日額(以下日額ト稱ス)ノ二分一以内ノ金額  
第二期第一期ヲ終リテ後ノ二ケ月間  
同日額ノ三分一以内ノ金額

(七) 本組合員ニシテ組合加入後滿五ケ年以上ヲ經過セルモノニハ前條規定ノ第一期第二期共各三ケ月ニ延長スルモノトス

(八) 本組合員中ノ寄宿工女ハ食費藥價等都テ無料ヲ以テ會社病院ニ入院セシムルモノナルガ故ニ組合ヨリハ入院中其ノ日額ノ四分一以内ニ相當スル金額ヲ小遣錢トシテ支給スベシ

(九) 扶養スベキ家族アル組合員ニシテ組合ニ加入後三ケ月ヲ經テ病氣ニ罹リ組合ノ扶助ヲ受ケツ、アル者ニ對シテハ特ニ若干増扶助料ヲ給スルコトアルベシ  
但其金額及給與期間ハ支部役員會ノ決議ニ依リテ會長ノ許可ヲ得テ之レヲ決定スルモノトス

(十) 第六、第七ノ期間ヲ經過スルモ全癒ニ至ラザルモノハ支部役員會ノ決議ニ依リ會長ノ許可ヲ得テ其ノ期間ヲ延長シ若シクハ左ノ一時金ヲ給與スルコトアルベシ  
金三圓以上五十圓以下

(十一) 本組合員タル寄宿工女ニシテ病氣ノ爲メ社醫ノ診斷上退社又ハ歸郷療養ヲ必要トスルモノニ對シテハ左ノ扶助料ヲ給與スルモノトス  
金四圓以上五十圓以下

#### 五、負傷扶助



(十二) 本組合員ニシテ職務ノ爲メニ負傷シタルモノニ對シテハ組合ヨリ左ノ扶助ヲ行フモノトス

治療ニ要スル實費全額ノ支給及負傷ノ日ヨリ全癒ニ至ルマデ日額ノ二分一以上一日分以内ニ於ケル金額ノ給與

但シ扶助料ハ社醫ノ休業ヲ要スベキ者ト診定シタルモノニ限り給與ス

(十三) 本組合員ニシテ職務以外ノ事由ニ依リ負傷シタルモノニハ本規定ヲ適用セズ但シ其ノ情狀ニヨリ「疾病扶助」ヲ適用スルコトアルベシ

(十四) 職務ニヨル負傷ノ爲メ全癒後身体ノ一部ノ機能ヲ失ヒ終身勞働ニ従事スルコト能ハズ爲メニ退社スルモノニ對シテハ組合ヨリ左ノ扶助料ヲ支給スルモノトス  
金五十圓以上三百五十圓以下

(十五) 前項ノ扶助料ヲ年金ニ代ヘテ給與ヲ請フモノニハ其ノ決定金額ノ十分ノ一二相當スル金額ヲ年金トシテ支給スルコトアルベシ

(十六) 職務ニ由ル負傷ノ爲メ全癒不具トナラザルモ從前ノ如キ勞働ニ従事シ能ハザルモノニハ組合ヨリ左ノ扶助ヲ行フモノトス

一、退社スルモノニハ金三十圓以上二百圓以下ノ扶助料

二、引續キ會社ニ勤務スルモノニハ五十圓以上百圓以下ノ扶助料

但シ扶助料ヲ受ケタル後ノ所得給料額ハ体力相當ノ金額ヲ受ケ從前ノ所得給料ニ比シ不足ヲ生ズルモ其ノ差額ハ組合ヨリ補助ヲナサズ

### 六、死者慰弔

(十七) 本組合員ニシテ病氣ノ爲メ死亡セルモノニ對シテハ組合ヨリ左ノ弔慰ヲ行フモノトス

一、葬式料 金三十圓以上三十圓以下

一、遺族扶助料 金五十圓以上五十圓以下

(十八) 本組合員ニシテ職務ニ由ル負傷ノ爲メ即死シ又ハ治療中死亡シタル者ニ對シテハ組合ヨリ左ノ弔慰ヲナスモノトス

一、葬式料 金十圓以上五十圓以下

一、遺族扶助料 金五十圓以上五百圓以下

(十九) 本組合員ニシテ職務ニ因ラザル事由ノ爲メ負傷死亡シ又ハ治療中死亡シタル者ニ對シテハ「疾病扶助」ヲ適用ス

(二十) 本組合員中正當有夫者ニシテ出産ノ爲メ死亡シタルモノニ對シテハ組合ヨリ病氣死亡者ト同等ノ弔慰ヲ爲スモノトス

(二十一) 年金ヲ受ケツ、アル組合員ニシテ死亡シタルトキハ病氣死亡者ト同等ノ弔慰ヲナス



モノトス

但シ脱退後年金ヲ受ケツ、アル者ニシテ死亡シタルトキハ第(十八)規定ノ葬式料ノミ  
ニ止ムルコトアルベシ

(三三) 前各條ノ遺族扶助料ハ戸籍謄本上左ノ順位ニ依リ給與ス

一、配遇者

二、直系卑屬

三、直系尊屬

四、戸主

五、兄弟姉妹

但シ遺族ノ所在不明又ハ之レナキモノニ對シテハ組合ニ於テ厚ク葬儀ヲ執行シ且永  
ク祭祀ヲ絶タザル方法ヲ設クベシ

### 七、産婦扶助

(三三) 本組合員ニシテ妊娠若クハ出産ノ爲メ勞働シ能ハザル場合ニハ組合ヨリ其ノ前後五  
十日間ヲ限リ其ノ日額ノ二分一以内ニ於ケル扶助料ヲ支給ス

但シ其ノ妊娠ガ本人不品行若シクハ不正當ノ結婚ニ由ルモノナルトキハ此ノ扶助ヲ  
爲サズ但シ情狀ニヨリ特ニ減給スルコトアルベシ

(三四) 本組合員ノ正當ノ妻ニシテ出産シタルトキハ組合ヨリ左ノ祝賀金ヲ贈與スルモノト  
ス

金二圓以上五圓以下

### 八、老年者救助

(三五) 本組合員ニシテ老衰シタルトキハ左ノ區別ニヨリ組合ヨリ之レヲ救助ス

一、十五年以上勤續シ年齢六十歳以上ニ達シテ勞働ニ堪ヘズ退社スル男子ニ對シ左  
ノ一時救助金ヲ支給ス

金五十圓以上三百圓以下

一、十五年以上勤續シ年齢五十歳以上ニ達シ勞働ニ堪ヘズ退社スル女子ニ對シテハ  
左ノ一時救助金ヲ支給ス

金三十圓以上二百五十圓以下

前項ノ救助ハ退社當時ノ給料ノ多寡勤續年限ノ長短勤務ノ状態品行ノ正否等ヲ斟酌  
シテ之レヲ支給ス

### 九、災厄救済

(三六) 水火災其他避クベカラザル災害ヲ蒙リ生計困難ニ陥リタル組合員ニ對シテハ組合ヨ



(二六) リ役員會ノ決議ニ依リ會長ノ許可ヲ得テ相當ノ救助ヲ爲スコトアルベシ

(二七) 妻子父母等ノ疾病死亡ニヨリ生計困難ニ陥レル組合員ニ對シテハ組合ハ役員會ノ決議ニ依リ會長ノ許可ヲ得テ相當ノ救助ヲナスコトアルベシ

(二八) 豫後備又ハ補充兵役在籍者ニシテ勤務演習若シクハ教育ノ爲メ短期召集セラレタ家族ノ生計困難ニ陥レル場合ハ前項ノ手續キニ依リ相當救助スルコトアルベシ

### 十、救助資金

(二九) 組合ノ救済扶助ヲ行フ資金ハ左ノ收入金ヲ以テ之レニ充ツ

- 一、組合員ノ保険料
- 二、會社ヨリノ補助金
- 三、會社ヨリノ特別補助金
- 四、寄附金
- 五、資金ノ利子
- (三十) 會社ハ組合ノ事業ヲ補助スル爲メ毎月組合員ノ納入スル保険料ト同額金員ヲ本組合ニ補助スルモノトス

### 五、近江帆布株式會社共濟會規約準則摘要

(一) 本會ハ近江帆布株式會社ニ勤務スル工手又ハ其ノ遺族ノ救済及慰藉ヲナスヲ以テ目的トス

(二) 近江帆布株式會社ニ勤務スル工手ハ本會々員タルモノ、義務アルモノトス

(三) 會員ハ會費トシテ入社ノ月ヨリ左ノ金額ヲ釀出スルモノトス

- 一、月收五圓未満ノモノ 金 三 錢
- 二、月收二十圓未満ノモノ 金 五 錢
- 三、月收二十圓以上ノモノ 金 十 錢

(四) 會費ハ入社ノ月ニ限リ月收一圓未満ノ時ハ其ノ釀出ヲ免除スルコトヲ得

(五) 會員ニシテ第(六)第(十三)及第(十五)ニ依リ本會ノ救済ヲ受クルトキハ其ノ期間會費ノ釀出ヲ免除ス

(六) 會員ニシテ負傷又ハ疾病ニ罹リ勤務スルコト能ハザル時ハ當工場ノ囑託醫又ハ本會ノ指定シタル醫師ノ診斷書ヲ添ヘ申出ヅベシ、本會ハ調査ノ上缺勤八日目ヨリ罹病後二ヶ月ヲ限度トシ本人收入日額ノ二分ノ一ヲ支給ス、但シ二ヶ月經過スルモ尙全癒ニ至ラザルモノハ評議委員會ノ決議ニ依リ其ノ期間ヲ延長シ又ハ其ノ支給率ヲ變更スルコトヲ得

(七) 五年以上繼續シタル會員ニシテ負傷又ハ疾病ニ罹リ勤務シ能ハズ會社ニ於テ解雇ヲ



許シタル時ハ十圓乃至百圓ノ救済金ヲ支給ス但シ五ヶ年ニ滿タズト雖評議委員會ノ決議ニ依リ三圓乃至五十圓ノ救済金ヲ支給スルコトヲ得

(八) 寄宿工女ニシテ負傷又ハ疾病ノ爲メ會社ヨリ歸郷療養ヲ命ジタル會員ニ對シテハ一圓乃至二十圓ノ救済金ヲ支給ス、但シ此ノ場合ニハ第(六)ヲ適用セズ

(九) 會員ニシテ負傷又ハ疾病ニ罹リ當會社ノ囑託醫又ハ本會ノ指定シタル醫師ニ依リ療養スル場合ハ其ノ藥價及手術料等ノ半額ヲ本會ヨリ補助ス

(十) 會員ニシテ死亡シタルトキハ其ノ遺族ニ五圓乃至百圓ノ救済金及葬祭ヲ行フ遺族ニ二圓乃至十圓ノ葬祭料ヲ支給ス

(十一) 前條ノ遺族救済金ヲ受クルモノ、順位ハ工場法施行令第十條及十二條ヲ準用ス

(十二) 會員ニシテ天災地變其他不可抗力ノ爲メ災害ヲ被リタルトキハ金二圓乃至五圓ノ見舞金ヲ贈リ、其ノ爲メニ生計困難ニ陥リタルモノニ對シテハ評議委員會ノ決議ニヨリ相當ノ救済ヲナスコトアルベシ

(十三) 會員中日給者ニシテ傳染病ノ發生ニ際シ交通ヲ遮斷セラレ爲メニ勤務シ能ハザルトキハ其ノ旨直チニ申出ヅベシ、本會ハ調査ノ上其ノ當日ヨリ日給二分ノ一ノ救済金ヲ支給ス

(十四) 三ヶ年以上繼續シタル會員ニシテ兵役ニ服シタルトキハ其ノ期間内入營當時ノ給料

ノ五分ノ一ニ相當スル金額ヲ毎月支給ス

(十五) 會員中有夫ノ婦ニシテ妊娠ニ依リ勤務シ能ハザル爲メニ生計困難ト認ムルトキハ評議委員會ノ決議ニヨリ相當ノ救済ヲナスコトアルベシ

(十六) 會員ト同一ノ家ニ在リ父母夫妻(養父母子モ含ム)死亡シタルトキハ香奠料トシテ金一圓ヲ贈リ又其死亡疾病等ノ爲メニ生計困難ニ陥リタルモノニ對シテハ評議委員會ノ決議ニ依リ相當ノ救済ヲナスコトアルベシ

(十七) 救済金額ガ三十圓以上トナルトキハ總テ評議委員會ノ決議ヲ經ルモノトス

(十八) 本會ノ資金ハ左ノ收入ヲ以テ之ニ充ツ

一、會員ノ醸出金

二、會社ノ補助金

三、有志ノ寄附金

四、資金ノ利子

(十九) 本會ハ會社ヨリ毎月會員醸出金總額ト同額ノ補助ヲ請フモノトス

(二十) 本會ハ當會社勤務ノ職員ヨリ毎月醸出金第(三)ト同額ノ寄附ヲ請フモノトス

### 六、日本ビロード株式會社内共済組合定款摘要



一、總 則

- (一) 本組合ハ日本ビロード株式會社ノ使用人ヲ以テ組織ス
- (二) 本組合ハ組合員ノ醜金ヲ以テ組合員ノ負傷疾病等ノ慰藉災難ノ救濟婚姻出產ノ祝賀等慶吊ヲ分テ其他ノ方法ヲ以テ組合員ノ慰安ヲ爲スヲ目的トス

二、醜 金

(三) 組合員ハ本定款ノ目的ニ支出センガ爲メ毎月左ノ金額ヲ醜金スルモノトス

但シ基金ニ不足ヲ生ジタルトキハ役員會ノ決議ニヨリ其不足額ニ滿ツル間臨時醜金ノ増額ヲ爲ス事ヲ得

一、月收入總額百圓又ハ同以上	一圓五十錢
二、同	七十圓同
三、同	五十圓同
四、同	三十圓同
五、同	二十圓同
六、同	十五圓同
七、同	十圓同
八、同	五圓同
九、同	三圓同

八、同 五圓同  
 九、同 五圓以下

(四) 前項ノ醜金ハ負傷疾病其他ノ事故ニヨリ收入無キ者及本會社ノ扶助規則ニヨリ扶助ヲ受ケタル期間ハ收入アリト雖モ之ヲ徵收セズシテ組合員タルノ權利ヲ繼續ス

三、贈 與

(五) 組合員左ノ場合ハ理事長及常任理事ノ決定ニヨリ左記範圍ニ於テ金員ヲ贈與シ組合員ニ報告スルモノトス

- イ、業務上即死シタルトキ 金二十圓以上七十圓以下
- ロ、業務ニ因ル負傷疾病ニヨリ死亡シタルトキ 金十五圓以上五十圓以下
- ハ、業務ニ起因セズシテ死亡シタルトキ 金五圓以上三十圓以下
- ニ、業務上負傷又ハ疾病ニ罹リ三ヶ月以上引續キ缺勤療養ヲ要スルモノ 金十圓以上五十圓以下
- ホ、右同一ヶ月以上ノモノ 金三圓以上二十五圓以下
- ヘ、右同七日間以上ノモノ 金一圓以上十圓以下
- ト、業務ニ起因セズ負傷又ハ疾病ニヨリ三ヶ月以上引續キ缺勤療養ヲ要スルモノ 金五圓以上二十五圓以下



- チ、右同一ヶ月以上ノモノ 金二圓以上十五圓以下
- リ、右同七日間以上ノモノ 金五十錢以上五圓以下
- ヌ、徴兵又ハ志願ニヨリ入營スルトキ 金三圓以上二十圓以下
- ル、兵役ノ關係ニヨリ復習勤務ニ徴集ノトキ 金一圓以上三圓以下
- ヲ、兵役ノ關係ニヨリ出征ノ爲徴集ノトキ 金五圓以上三十圓以下
- ワ、正式ニ婚姻ヲナシタルトキ 金三圓以上十圓以下
- カ、組合員及其家族ニ出產アリタルトキ 金一圓以上五圓以下
- ヨ、水火災其他ノ災難ニ罹リタルトキ 金三圓以上三十圓以下
- タ、正當ノ理由ヲ以テ會社ノ許可ヲ經テ辭職シタルトキ 金一圓以上十圓以下
- レ、會社ノ都合ヲ以テ解雇セラレタルトキ 金一圓以上二十圓以下
- リ、組合員ト同一ノ家ニアル父母配偶者及其子ノ死亡シタルトキ 金一圓以上十圓以下
- ヅ、組合員ト同一ノ家ニアル祖父母兄弟姉妹又ハ孫ノ死亡シタルトキ 金一圓以上七圓以下
- (六) 本人死亡シタルトキハ遺族ニ贈與ス 金一圓以上七圓以下

### 七、長野及群馬縣ニ於ケル製糸工場

一 我國製糸工業ニ於テ先ヅ指ヲ屈スルノ地ハ長野縣ニシテ就中諏訪地方ニ於ケル其ノ盛況ハ我國ハ愚カ東洋第一ト稱セラル、而シテ本縣下ニ於ケル工場ト云ハ、殆ンド製糸ニ關スルモノニシテ之レヲ除キテハ他ニ見ルベキモノ甚ダ尠ナシ、次ニ接近セル群馬縣ノ一部ハ又多數ノ製糸工場ヲ有シ其ノ規模モ比較的大ニシテ甚ダ盛ナリ。

長野縣蠶糸課ガ調査セシ所ニ依レバ大正七年五月末ニ於テ縣下ニ七百十九ノ工場ヲ有シ之ニ八萬三千五百五十ノ釜ヲ備ヘ女工ノミニテモ八萬九千九百九十餘人ヲ使用ス。

予ガ視察セシハ長野及群馬縣ニ於テ代表的ト見ナサル、七製糸工場ニシテ左ニ其工場名職工數及所在地ヲ掲ゲン。

工場名	男職工數	女職工數	所在地
岡谷製糸合資會社	一七八〇〇	一八二〇〇	長野縣諏訪郡平野村
河西製糸場	一〇五〇〇	八〇〇〇〇	同 下諏訪町
片倉組川岸製糸所	一三〇〇〇	一三〇〇〇	同 川岸村
片倉組松本製糸場	一五〇〇〇	一五〇〇〇	同 松本市



笠原組常田館製糸場	九五〇〇	同	上田市
有限責任信用 販賣購買組合	一三〇〇	同	小縣郡丸子町
依田社	四二〇〇	同	群馬縣前橋市
交水社丸交組製糸場	八〇〇〇	同	群馬縣前橋市

二 前記七工場ニ働ク職工九千二百八十人ノ内七千五百九十人即八割二分強迄ハ女工ニシテ之レヲ大阪市及其接續町村ノ纖維染織工場ニ於ケル全職工ノ七割六分迄ハ女工ナルニ比スルモ猶女工ノ多數ナルコト其上ニ出ヅルヲ見ル。

彼等ハ殆ンド寄宿舎ニ起臥シ妻帯者ト雖モ別室ヲ造リテ之レニ收容スル所多シ、即全職工ノ九割四分ハ寄宿舎ニ在リ通勤者ハ甚ダ少數ニ過ギズ、工場ニヨリテハ全然通勤ヲ許サザル所モアリ、工場中寄宿者ノ多キ纖維染織工場ニ於テモ其割合六割三分ニ過ギズ製糸工場ニ寄宿者ノ多キ點ニ於テハ諸工場中唯一ト云ツベシ。

此數多キ女工ノ七割六分ハ當縣人ニシテ他ハ募集地ト定メラレタル山梨、新潟、岐阜及富山ノ四縣ヨリ來ルモノ多數ヲ占ム、而シテ彼等ノ過半ハ妙齡ノ處女ニシテト四歳ヨリ二十歳迄ノ者多數ヲ占ム。

三 紡績工場ニ於ケル契約年限ハ二年或ハ三年ナルガ製糸工場ニ於テハ此ノ期間甚ダ短少ニシテ養成工ヲ除キテハ普通一ケ年ナリ、然シ多クノ工場ハ三月ニ始業シ十二月ニ終業ス

ルモノナレバ實際ニ於テハ十ヶ月トナル、但シ養成工ハ工場ニヨリ差ハアレドモ概二年又ハ三年ナリ。

毎年十二月末ニ雇傭關係ヲ解カレ郷里ニ送り歸サレタルモノガ翌年ニ至リテ再ビ其工場ニ來ルモノハ約六七割ニシテ工場ハ新タニ他ノ三四割ヲ募集セザルベカラザル有様ナリ。

四 纖維染織工場ニ於ケル勤務時間ハ通例一日十二時ナルガ製糸工場ハ之レト異ナリ一日十四時間ヲ常規トシ其ノ上ニ一ケ年中間中多忙ナル期間ニ於テハ六十日間ハ一日一時間ヲ延長シ得ルコト、ナレリ、通例午前五時ニ始業シ午後七時ニ終業シ紡績工場等ニ於ケル如ク徹夜業ハ爲サズ、労働時間ノ長キモ尙衛生上有害ナル徹夜業ノ無キハ職工ノ爲メ幸福ト云フベキナリ。

製糸工場ハ一般工場ト趣ヲ異ニシ原料及氣候ノ關係上冬季一二ノ兩月ハ休業シ女工ハ全部歸省セシメ男工及事務員ハ此ノ期間ニ於テ翌年度ノ準備ヲ爲シ又或者ハ各地ニ女工募集運動ヲ試ム。

五 多クノ工場ハ勤務時間十四時ノ内一時間ヲ休憩ニ充ツルモ之レハ多ク喫食ノ爲メ費サレ眞ニ休憩ト云フベキ時間甚ダ少ナシ。

此ノ時間ノ配當及其ノ長サハ工場ニヨリ一様ナラザレドモ諏訪地方ノ工場ハ概午前六七時頃二十分或ハ十五分、午前十、十一時頃二十分或ハ三十分、午後三四時頃二十分或ハ十五分ノ



休憩ヲ與へ此ノ間ニ食事ヲ供給ス、北信ノ常田館及依田社ハ午前六七時頃十五分正午三十分  
午後四五時頃十五分ヲ休憩ニ充ツ。

前橋市ノ丸交組製糸場ニ於テハ該時間比較的多ク午前九時頃二十分、正午一時間、午後三四  
時頃二十分ヲ休憩セシム。

六 公休日ニハ定期及循環ノ二種アリ七工場中循環制ヲ採用スルモノハ三工場ニシテ他  
ハ毎月々ノ前末ノ一日ヲ休業ス、微環制度ハ毎日數十人ニ順次休暇ヲ與へ毎月二回ハ必ず此  
恩恵ニ浴シ得ル様ニ案配セリ、公休日ノミハ外出ヲ許シ女工等ハ宛モ飼鳥ノ籠ヨリ出ズルノ  
喜ビヲ以テ三々五々打連レ近隣ニ遊ブ。

七 製糸工場ガ支拂フ賃銀ニハ日給月給及出來高拂ノ三種アリ、仕上職工及男工ハ日給又  
ハ月給者ニシテ操糸及再操女工ハ全部仕事ノ成績ニヨリテ賃銀ヲ得ルコト、ナレリ、然シ乍  
ラ出來高拂トイフモ一般工場ニ於テ見ラル、モノトハ全然其趣ヲ異ニシ工場全職工ノ平均  
成績ヲ以テ標準トナシ之レヲ以テ各職工一日ノ繰目ノ増減及一日杯糸量ノ増減ヲ計量シ又  
光澤ノ可否、デニールノ織度切斷ノ有無等ヲモ合セ試験ス。

標準賃銀ハ概テ三十七八錢ニシテ成績標準點以上ニ出ヅルモノニハ其レニ得點ヲ附シ一  
點ニ付一錢内外ヲ與へ標準點以下ニドルモノニハ失點ヲツケ一點ニ付一錢内外ヲ減ズ、然シ  
一日ノ所得十錢ヨリハ少ナキヲ得ザルコト、セリ、但一點ニ對スル金額ハ各工場ニヨリ多少

異ナル。

依田社再繰工場ノ如キハ他ノ工場ト異ナリ梓一丁ニ付二錢ノ割合ニテ各自ノ出來高ニ應  
ジテ賃銀ヲ支給シ其ノ上成績ノ佳良ナルモノニハ得點ヲ與へ不良ナルモノニハ失點ヲ附ス  
ルノ制ヲ採用ス。

一般工場ニ於テハ職工ハ毎日自己ノ所得ヲ知ルヲ得ザルモ依田社再繰工場ノ方法ニ依レ  
バ大体之レヲ知ルコトヲ得。

彼等一日ノ賃銀ハ工場ニヨリ異ナルモ操糸及再操女工最低十錢最高一圓二十錢ニシテ織  
維及染織工場ニ於ケル女工賃銀最低三十錢最高一圓四五十錢ニ比スレバ稍少ナキモ製糸工  
場ニ於テハ食事ハ全部工場ヨリ供給スルモノナレバ其實收入ニ於テハ餘リ差等ヲ見ズ、然シ  
之レヲ労働時間ノ上ヨリ見レバ製糸工場ノ職工一時間ノ賃銀ハ織維及染織工場職工ヨリハ  
甚ダ尠ナシ。

男工及仕上女工ハ日給或ハ月給者ニシテ一日ノ賃銀最低三十錢最高一圓二十錢ニシテ今  
男工賃銀ヲ織維及染織男工ニ比較スルニ最低賃銀ニ於テハ其差少ナキモ最高賃銀ニ至リテ  
ハ甚シキ懸隔ヲ見ル、賃銀支拂ハ一般工場ニ於テハ少ナクモ毎月一回之レヲ行フヲ常トナセ  
ドモ製糸工場ハ全ク特種ノ方法ヲ採リ毎年々末ニ一回之レヲ行フ、工場役員ハ一々職工ノ家  
庭ヲ訪問シ其ノ父兄ノ眼前ニ於テ一ケ年間ノ賃銀ヲ精算ス。



八 工場内ニ於テ直接職工ノ指揮監督ノ任ニ當ルハ見番ト稱スル者ニシテ通例一工場ニ付一人ヲ置キ之レガ補佐トシテ見番一人ニ對シ助手一人又ハ二人ヲ附ス、見番ノ上ニ監督アリテ見番ヲ取締ル、監督ハ一製糸場ニ三四名アリ尙其上ニ總監督一名アリテ全工場ヲ統總ス而シテ是等ノ職制ハ普通工場ニ於ケルモノトハ全ク趣ヲ異ニス。

九 七工場中共濟制度ヲ有スルモノハ唯片倉組所屬ノ工場ノミニシテ之レハ一般工場ニ見ラル、從業員自身ノ病傷其他ノ事故ニ對スル救済トイフヨリハ寧ロ其ノ遺族ノ保護救助ノタメ設立セラレタルモノニシテ其ノ規定ノ概要ヲ摘記セバ左ノ如シ。

片倉組從業者共濟會

- 一、本會ハ片倉組從業者ニシテ不幸死亡セシ者ノ遺族ニ弔意金ヲ贈ルヲ以テ目的トス
- 一、本會ハ片倉組從業員ノ全員ヲ以テ組織ス
- 一、共濟金ハ基金ノ利子、會費及片倉組ノ寄附金ヲ以テ之ニ充ツ
- 一、會員ハ其ノ種別ニ依リ左ノ通り毎年會費ヲ納ムルモノトス、但會員ノ資格ヲ喪失シタル場合ト雖モ會費ノ返戻ヲ請求スルコトヲ得ズ

- 一、役員以上及臨時購辦人 金三十 錢
- 二、見習生 金二十 錢
- 三、定備工男、女及臨時乾燥掛 金十 錢

一、片倉組ヨリ毎年會員ノ納付シタル總金額ト同額ノ寄附ヲ受クルモノトス

二、弔慰金ヲ支出スルニ當リ共濟金ノ不足ヲ生ジタル場内ニハ片倉組ヨリ臨時借入金ヲ爲シ之レヲ補充スルモノトス

一、弔慰金ハ一人金五十圓ト定メ會員ガ其死因ノ何タルヲ問ハズ死亡セシ場合ニ於テ之レヲ其遺族ニ贈與スルモノトス、但遺族ナキ場合ニハ親族ノ意見ヲ聽キ會長適宜之ヲ處置ス

今昨年度ニ於ケル本會ノ會計狀態ヲ窺ヒ見ルニ會員ノ支出高ハ甚ダ少額ニシテ各地ニ於ケル全會員二萬二千二百七十四人ガ一ケ年間ニ釀出セシ總金額ハ二千四百十七圓餘ニ過ギズシテ之レニ片倉組ノ補助金及基金一萬圓ノ利息八百圓ヲ加算スルモ五千六百三十四圓餘ナリ然ルニ一ケ年間ノ支出金ハ一萬三千二百五十圓ノ多額ニ上リ七千六百十四圓ノ不足ヲ生ズルノ有様ニテ此不足金ハ片倉組ヨリ補給セララル

大阪市及接續町村ノ纖維及染織工場ニ於テモ本制度ヲ有スルモノハ甚ダ尠少ニシテ僅々八工場ニ過ギズ、而シテ之レガ會費ハ工場ニヨリ差異ハアレドモ皆片倉組共濟會ノソレヨリハ多シ、然シ多キモノト雖モ毎月三十錢ヲ出デズ、工場トシテハ之レガ補助トシテ總會費ノ四分ノ一乃至二分ノ一ニ相當スル金額ヲ支出ス。

一〇 製糸工場ハ寄宿者ハ勿論通勤者ニ對シテモ全部無料ニテ食事ノ供給ヲナス慣例ニ



シテ夫婦共ニ同工場ニ従事スルモノニシテ子女ヲ有スル場合ハ少額ノ賄料ヲ徴シテ之レニ喫食セシム、食事ノ爲メ要スル金額ハ一日一人當リ二十八錢乃至三十三錢ニシテ織維及染織工場ノ食料費一日一人當リ三十錢乃至四十錢ナルニ比スルニ七錢ノ差ヲ見ル、而シテ一人ノ職工ガ一日ニ食スル米量ヲ約四合餘トシ假リニ白米一石ノ時價ヲ五十圓ト見積ルモ米代ノミニテ二十錢餘ヲ要シ副食物ニ充ツルハ僅カ八錢乃至十三錢トナル。

一般工場ノ食事ハ一日三回ナレドモ諏訪地方ニ於テハ多ク四回ノ慣習トナレリ、工場ニ於テ聞ク所ニヨレバ食事ノ數ヲ四回トナスモ其食量ニ於テハ朝夕食ノ場合ト大差ナシト。

食事時間ハ休憩時間ノ項ニ於テ述べタル如ク甚ダ短カク殊ニ朝食ノ如キハ緩カニ喫食スルコト能ハザルノ有様ニテ立食ヲ爲ス所多シ。

一 各工場ハ大小ノ差ハアレドモ熟レモ男女ニ對スル沐浴場ヲ設置シ毎日終業後入浴セシメ居レリ。

病傷者治療施設トシテハ或工場ハ病院ヲ建テ或工場ハ工場内ニ病室ヲ設ケテ看護婦ヲ常置シ毎日囑託醫ノ來診ヲ仰ゲリ、又諏訪地方ニ在リテハ同業組合ニテ共同病院ヲ設ケ病傷者ヲ診察治療ス。

一二 慰安方法トシテハ紡績工場等ニテ講ゼラル、モノト大差ナク時々公休日ニ於テ場内ニテ演藝ヲ催シ或ハ附近ノ劇場ヲ借リテ芝居等ヲ行ヒ従業員ニ觀覽セシメ以テ平日ノ勞

苦ヲ慰藉ス、工場ニヨリテハ大講堂ヲ有シ之レヲ娛樂ノタメ使用シ又工場ニヨリテハ食堂等ヲ利用ス。

斯クノ如ク種々慰安ノ方法ハ講ゼラル、ト雖女工ノ最モ樂ミトスル所ハ公休日ノ外出ニシテ之レハ彼等ニトリテ慰安ノ最良ノモノタルナリ。

一三 七工場ニ於テモ義務教育ヲ終了セザル幼年工アリテ其ノ數二百名以上ニ達ス各工場ハ此等ノ幼年工ニ對スル教育機關ヲ有シド諏訪町ニテハ同業組合ニテ小學校ヲ建テ片倉組ノ如キハ設備ノ完全ナル私立認定ノ小學校ヲ設立シ又或ル工場ニ於テハ場内ニ教室ヲ設ケ以テ小學校ノ課程ヲ教授シ義務教育ヲ終ラシム方法ヲ探レリ、授業時間ハ必ず晝間ニシテ概子毎日二三時間ナレドモ片倉組小學校ハ全生徒ヲ二組ニ別チ各一組ヲ一日六時間隔日ニ授業ヲ受ケシム。

技能教育トシテハ女工ノ初メテ工場ニ來ルヤ集メテ一團トナシ之レヲ養成工又ハ練習工ト稱シテ特別工場ニ於テ操業セシメ之レニ教婦ヲ附シテ毎日指導ス、而シテ稍技能ノ進ミタル者ハ此處ヨリ移シテ一般女工ト共ニ作業セシム、依田社ニハ特ニ模範女工養成所ト稱スル教育機關ヲ設ケ本組合ニ屬スル各工場ヨリ選抜シタル幼年工ヲ人所セシメ製糸ニ關スル智識技能ヲ一ケ年間授ク、此處ニ百簽ヲ備ヘ五十簽ニ付一人ノ教婦ヲ附ス。

修養機關トシテハ熟レノ工場ニ於テモ組織的ノモノナク唯時々僧侶ヲ招聘シテ精神修養



ニ關スル講話ヲ聽聞スルニ止マル。

一四二

一四 既ニ述べシ如ク製糸工場ノ賃銀支拂方法ハ他工場ト趣ヲ異ニシ年一回ナリシタメ職工ハ貯金ノ必要ナク從テ本制度ヲ設クルモノナカリシガ本年九月ヨリ毎月一回支拂ヲ爲スコト、ナリ工場ハ貯金トシテ賃銀ノ大部分ヲ預ルコト、ナシ之レニ對シ年六朱又ハ七朱ノ利息ヲ附スルコトニ定ム。

一五 製糸工場ノ特質トシテハ従業員ハ可成の寄宿ニ入合セシムル方針ニシテ妻帯者ヲモ工場内ニ住居セシムルモノ多ク是等ノ者ニ對シテハ寄宿舎内ノ別室ヲ與ヘ或ハ棟割長屋ヲ建テ、此處ニ居住セシム。

普通女工ノ寄宿スル所ハ事務所、食堂或ハ一部作業場ノ二階ニシテ天井低ク光線ノ射入惡シク陰鬱ナル部屋ナリ、此處ニ疊ヲ一人ニ付一疊又ハ一疊三分當ニ敷キ一床ニ二人ヲ臥寝セシム。

一六 諏訪丸子地方ニ旅行スル者ノ先ヅ目ニ留マルハ信州ノ山水ニアラズ高ク林立セル大小無數ノ煙突ニシテ其下ニハバラツク式ノ粗末ナル細長キ建物ノ密集セル情況ナリ、此處ハ妙齡ノ子女ガ社會ニ喧シキ労働時間短縮ノ聲ヲモ無關心ニ毎日十三時間ノ勞苦ニ堪ウル所ナリ、彼等ハ過激ナル勞務ニ服シナガラ物價騰貴ノ昨今ニ於テモ尙ホ一日二十八錢乃至三十三錢ニ相當スル食物ヲ口ニシ太陽ノ恩惠ニ浴スルコト少ナク公休日ヲ除キテハ外出スル

コトヲ得ズ殆ンド檻禁ノ如キ状態ニアリ其生活タルヤ實ニ憫然タルモノアリ。

契約期間ノ短キタメカ工場ニ雇ハル、間ニ於テハ比較的病魔ニ襲ハル、モノ少ナシトノコトナレドモ解雇セラレシ後郷里ニ歸リテ疾病ニ罹ルモノ多シトハ屢々耳ニスル所ナリ、然シ歸郷者ノ幾人ガ罹病者ナルカ之レヲ統計ニ表ハスハ難事ニシテ從テ數字のニ知ルヲ得ズ抑長野及群馬縣ノ製糸工業ハ最近ニ於テ急激ナル發達ヲ遂ゲタルモノナルガ未ダ家内の個人經營ニ屬スルモノ多ク工場工業トシテハ充分進歩シタルモノニアラズ其労働状態ノ如キ未ダ幼稚ナルモノアリ即チ賃銀支拂方法、工場職制ノ如キ今日一般工場ニ見ルヲ得ザルモノアリテ全ク舊制ヲ繼續セリ、又福利増進ノ施設ニ於テモ紡績工場等ヨリハ稍遅レタル所アルヲ見ル。

一四三



少年労働者調査







# 少年労働者調査

## 第一章 住居状態

### 一、住宅ノ種類

先ツ少年労働者一千五百三人ノ住宅ヲ通覽スルニ借家ニ居住スルモノ七百六十三ノ多數ヲ占メ自宅ニ居住スルモノハ之レニ比スルニ甚ダ少數ニシテ其ノ約五分ノ一ニ過ギズ、此外他家ノ一室ヲ借レルモノ百四十八其他ノモノ二十五アリ。

次ニ稍詳細ニ之レヲ觀察センニ借家ニアルモノ、割合ハ西及ビ南ノ兩區ニアリテハ略同ジク北區ニテ最モ少ナシ、自宅ニ在ルモノハ比較的東區ニ多ク其ノ中ニテモ久寶校ニアルモノ第一位ヲ占メ次ニ西南北區ノ順序ニアリ、室借ヲナスモノハ南及ビ北ノ兩區ニ最モ多クシテ東區ニアリテハ甚ダ少數ナリ。

由是觀之東區ニ於テハ自己ノ家屋ニアルモノ多キニ反シ北區ニ於テハ一家ヲ借り得ルコトスラ能ハズシテ他家ノ一室ヲ借り此處ニ居住スルモノ多キガ如シ。

此ニ自宅トイフハ自己所有ノ住家ノ義ニ解スベキ筈ナルモ記入者ノ諒解不充分ナリシガ爲メカ後述スル所ノ同居者數ト照合スルトキニ必ズシモ上記ノ意義ニ解スル能ハズ此點多

少曖昧ノ譏ヲ免レズ。

### 二、住宅ノ疊數

少年労働者ガ居住スル家屋ニ於テハ疊七疊以上十疊未満ヲ數クモノ全体ノ一割八分強ニ當リテ最大多數ヲ占メ疊四疊以上七疊未満ヲ數クモノ其ノ次ニ在リ疊十疊以上十三疊未満ヲ數クモノ之レニ次グ、而シテ西及ビ南ノ兩區ニ於テハ四疊以上十疊未満ノモノ殆ンド半數ヲ占ム。

東區ニテハ疊ノ無キモノ及ビ四疊未満ノモノナク四十疊以上ノモノ十二、五十疊以上ノモノ九ノ多數ニ上レルハ東區内住居状態ノ良好ナルヲ示スモノト云フヨリモ商店ノ徒弟小僧多キニヨルト解スベキカ。而シテ他區ニ於テハ疊數ノ増加ニツレ家屋數ハ減少スル傾向ヲ有スルガ本區ハ之レト其ノ趣ヲ異ニシテ疊數ノ増加スルモアマリ家屋數ノ減少ヲ見ズ、北區ニ於テハ疊數ノ増加ニ從ヒテ家屋數ノ著シク減少スルヲ見ル、而シテ本區ニ於テハ疊數ヲ記載セザルモノ多數ナルハ其數ノ少ナキ爲メ記入ヲ憚リタルカ又ハ兒童ノ無智ニ因リタルナルベシ、又北及南ノ兩區ニ於テハ疊ノナキ所ニ住居スルモノ各々五ヲ有スルハ特ニ注目ヲ要スモノナリ。

### 第一表 少年労働者住宅種類及其疊數調







ム、彼等ハ東區ニ在ルモノ最モ多クシテ彼等ノ多クハ商店又ハ工場ニ起臥スルモノ、如シ  
 同居家族中最モ多數ヲ占ムルハ一家族五人ヲ有スルモノニシテ六人又ハ四人ヲ有スルモ  
 ノ之ニ次ギ他ハ七人、三人、八人等ノ順序ニ在リ、而シテ東區ハ多數ノ同居家族ヲ有スル家庭  
 ノ少ナク西區ニ於テハ此種ノ家庭多シ。

第二表 少年労働者同居家族員調 (少年ヲモ含ム)

同居家族員 別區 學校別 數目	東區					西區				
	北江	南大	愛日	久實	計	東江	市岡第一	高吉	日田	本江
一人	一	一	一	一	四	一	一	一	一	一
二人	一	一	一	一	四	一	一	一	一	一
三人	一	一	一	一	四	一	一	一	一	一
四人	一	一	一	一	四	一	一	一	一	一
五人	一	一	一	一	四	一	一	一	一	一
六人	一	一	一	一	四	一	一	一	一	一
七人	一	一	一	一	四	一	一	一	一	一
八人	一	一	一	一	四	一	一	一	一	一
九人	一	一	一	一	四	一	一	一	一	一
十人	一	一	一	一	四	一	一	一	一	一
十一人	一	一	一	一	四	一	一	一	一	一
十二人	一	一	一	一	四	一	一	一	一	一
十三人	一	一	一	一	四	一	一	一	一	一
十四人	一	一	一	一	四	一	一	一	一	一
十五人	一	一	一	一	四	一	一	一	一	一
十五人以上	一	一	一	一	四	一	一	一	一	一
合計	一	一	一	一	四	一	一	一	一	一

松軒家一島	西區					南區					北區										
	三六	西九	西六	廣教	明治	市岡第二	春日出	觀計	天王寺第一	天王寺第三	計	大寶	木津第一	天王寺第三	計	第二野田	第一野田	第二野田	第一野田	計	
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
四	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
五	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
七	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
八	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
九	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
十	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
十一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
十二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
十三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
十四	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
十五	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
十五以上	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
合計	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一



合計	三九	三三	三三	一六	一〇	一七	一五	一〇	六	三	三	八	四	一三	一〇
----	----	----	----	----	----	----	----	----	---	---	---	---	---	----	----

### 四、同居家族員數ト疊數トノ關係

少年労働者ノ同居家族員數ト疊數トノ關係ヲ見ルニ四疊乃至七疊ニ五人ノモノ最モ多ク七疊乃至十疊ニ五人又ハ六人ノモノ之レニ次グ、而シテ同居家族員ノ少キ割合ニ疊數ノ多キハ五十疊以上ニ二人又ハ四人ノモノニシテ其家族員ノ多キ割合ニ疊數ノ少ナキハ二十疊以上ニ二十五疊未滿ニ二十五人ノモノナリ。

同居家族員ヲ有セザル少年ニ在リテハ比較的疊數ノ多キ所ニ居住スルモノナルガ中ニハ全然疊ノナキ所ニ在ルモノアリ此ハ心アル者ノ看過スベカラザル事項ナリ、又同居家族ヲ有スルモ尙疊ヲ有セザル家屋ニ住居スルモノ數人アリ之レ貧困ニ因ル所多キニアラザルカ。

第三表 少年労働者同居家族員數ト疊數調 (少年ヲモ含ム)

同居家族員數別	疊數別	
	無	四疊未滿
一人	一	三
二人	二	四
三人	三	二
四人	四	一
五人	五	一
六人	六	一
七人	七	一
八人	八	一
九人	九	一
十人	十	一
十一人	十一	一
十二人	十二	一
十三人	十三	一
十四人	十四	一
十五人	十五	一
十六人	十六	一
十七人	十七	一
十八人	十八	一
十九人	十九	一
二十人	二十	一
三十人	三十	一
四十人	四十	一
五十人	五十	一
六十人	六十	一
七十人	七十	一
八十人	八十	一
九十人	九十	一
一百人	一百	一
一百二十人	一百二十	一
一百三十人	一百三十	一
一百四十人	一百四十	一
一百五十人	一百五十	一
合計	計	三

職業	疊數別	
	無	四疊未滿
四疊以上	三	三
七疊以上	七	二
十疊以上	二	二
十三疊以上	二	二
十六疊以上	二	二
二十疊以上	二	二
二十五疊以上	二	二
三十疊以上	二	二
四十疊以上	二	二
五十疊以上	二	二
不明	八	一
合計	三九	三三

## 第二章 職業狀態

### 一、職業

少年労働者ノ職業ハ多種多様ナルガ之レヲ通覽スルニ工業職工殆ンド半數ヲ占メ其ノ中ニアリテ機械工業職工最モ多ク化學工業職工之レニ次グ機械工業職工ニアリテハ鐵工及ビ金屬器具工其ノ大部分ヲ占メ化學工業職工ニアリテハ硝子工殆ンド其ノ半數ニ當ル。



第四表 少年労働者職業調

職業別	區				計合
	西	南	東	北	
▲工業職工ノ	10	15	20	25	70
織工及染工	5	8	12	15	40
紡績業	3	5	7	10	25
莫大小	2	3	4	5	14
染物	1	2	3	4	10
帽子	1	1	2	3	7
座市團及夜具	1	1	1	1	4
計	1	1	1	1	4
機械工業	1	1	1	1	4
鐵工	1	1	1	1	4
船具	1	1	1	1	4
車輛及機械	1	1	1	1	4
金屬器具	1	1	1	1	4
▲化學工業	1	1	1	1	4
計	1	1	1	1	4
印刷及製本	1	1	1	1	4
紙製品	1	1	1	1	4
履物及附屬品	1	1	1	1	4
鈕類	1	1	1	1	4
裝飾品	1	1	1	1	4
洋傘及附屬品	1	1	1	1	4
看板	1	1	1	1	4
彫刻	1	1	1	1	4
人形	1	1	1	1	4
裝飾品	1	1	1	1	4
裝竹細工	1	1	1	1	4
製桶	1	1	1	1	4
製秤	1	1	1	1	4
製筆	1	1	1	1	4
計	1	1	1	1	4
紙	1	1	1	1	4
文房具店	1	1	1	1	4
薪炭商	1	1	1	1	4
金物商	1	1	1	1	4
鐵力屋	1	1	1	1	4
質屋	1	1	1	1	4
瓦新器具店	1	1	1	1	4
寄屋	1	1	1	1	4
線香店	1	1	1	1	4
刷毛商	1	1	1	1	4
履物商	1	1	1	1	4
玩具商	1	1	1	1	4
スツテキ商	1	1	1	1	4
義足手商	1	1	1	1	4
魚釣道具商	1	1	1	1	4
計	1	1	1	1	4
紙	1	1	1	1	4
文房具店	1	1	1	1	4
薪炭商	1	1	1	1	4
金物商	1	1	1	1	4
鐵力屋	1	1	1	1	4
質屋	1	1	1	1	4
瓦新器具店	1	1	1	1	4
寄屋	1	1	1	1	4
線香店	1	1	1	1	4
刷毛商	1	1	1	1	4
履物商	1	1	1	1	4
玩具商	1	1	1	1	4
スツテキ商	1	1	1	1	4
義足手商	1	1	1	1	4
魚釣道具商	1	1	1	1	4
計	1	1	1	1	4

職業別	區				計合
	西	南	東	北	
硝子	1	1	1	1	4
燐寸	1	1	1	1	4
増場	1	1	1	1	4
染料顏料塗料	1	1	1	1	4
賣藥	1	1	1	1	4
眞藥	1	1	1	1	4
飲食工業	1	1	1	1	4
菓子	1	1	1	1	4
清涼飲料水	1	1	1	1	4
醸造	1	1	1	1	4
鹽造	1	1	1	1	4
計	1	1	1	1	4
▲雜工業	1	1	1	1	4
皮革製品	1	1	1	1	4
刷子	1	1	1	1	4
計	1	1	1	1	4
合	1	1	1	1	4
商業使用ノ人	1	1	1	1	4
部	1	1	1	1	4
吳服及雜貨店	1	1	1	1	4
洋服店	1	1	1	1	4
飲食店	1	1	1	1	4
菓子及砂糖店	1	1	1	1	4
餅屋	1	1	1	1	4
蒲鉾屋	1	1	1	1	4
八百屋	1	1	1	1	4
漬物屋	1	1	1	1	4
醬油酒商	1	1	1	1	4
鹽商	1	1	1	1	4
鹽商	1	1	1	1	4
米問屋	1	1	1	1	4
卵問屋	1	1	1	1	4
米商	1	1	1	1	4
海産物店	1	1	1	1	4
茶店	1	1	1	1	4
計	1	1	1	1	4
繪業書商	1	1	1	1	4
紙石卸商	1	1	1	1	4
疊商	1	1	1	1	4
時計商	1	1	1	1	4
指物商	1	1	1	1	4
天幕商	1	1	1	1	4
陶器商	1	1	1	1	4
漆器商	1	1	1	1	4
建築具商	1	1	1	1	4
材木商	1	1	1	1	4
請負業	1	1	1	1	4
運送業	1	1	1	1	4
海運業	1	1	1	1	4
貿易商	1	1	1	1	4
計	1	1	1	1	4
西	1	1	1	1	4
南	1	1	1	1	4
東	1	1	1	1	4
北	1	1	1	1	4
計合	1	1	1	1	4

少年労働者現職前ノ職業別調



職業別	區別	區四	區南	區東	區北	計合
▲其他ノ部		1	2	1	1	5
職人		1	2	1	1	5
小僧		1	2	1	1	5
商人		1	2	1	1	5
仲仕		1	2	1	1	5
使丁		1	2	1	1	5
配達人		1	2	1	1	5
髪結		1	2	1	1	5
電話交換手		1	2	1	1	5
見習看護婦		1	2	1	1	5
大工		1	2	1	1	5
左官		1	2	1	1	5
石工		1	2	1	1	5
計合		1	2	1	1	5
職業別	區別	區四	區南	區東	區北	計合
車夫		1	2	1	1	5
理髪師		1	2	1	1	5
表具弟子		1	2	1	1	5
仲買人		1	2	1	1	5
貸座敷		1	2	1	1	5
宿屋		1	2	1	1	5
小人物行商		1	2	1	1	5
船夫		1	2	1	1	5
奉公職		1	2	1	1	5
内職		1	2	1	1	5
直シ		1	2	1	1	5
計合		1	2	1	1	5
職業別	區別	區四	區南	區東	區北	計合
木挽		1	2	1	1	5
子守		1	2	1	1	5
家事手		1	2	1	1	5
給仕		1	2	1	1	5
藝妓		1	2	1	1	5
養鶏		1	2	1	1	5
漁業		1	2	1	1	5
農業		1	2	1	1	5
會社		1	2	1	1	5
合計		1	2	1	1	5

次ニ工業職工中多數ヲ有スルハ莫大小工ニシテ他ハ紙製品工印刷工製本工等ノ順序ニアリ。

商業使用人ニアリテハ呉服及ビ雜貨店ニ雇傭セラル、モノ最多クシテ其ノ約二割五分強ヲ占メ次ニ多キハ材木商餅屋ニ使用セラル、モノナリ。其他比較的ニ多數ナルハ給仕及ビ子守ナリ。

更ニ進ンテ詳細ニ之レヲ見ルニ鐵工及ビ金屬器具工ノ大部分ハ西區及ビ北區ニ在リ西區ニ於テハ市岡第一校川崎第一及ビ第二校最多ク硝子工及ビ莫大小工ハ北區ニテ多數ヲ有シ川崎第一校多ク、紙製品工ハ西區及ビ北區ニ甚ダ多シ、呉服及ビ雜貨店ニ使用セラル、モノ、多クハ西區及ビ東區ニアリテ其ノ中ニテモ東區北大江校ニテ最多ク材木屋及ビ餅屋ニ使用セラル、モノハ西區ニ多シ、而シテ給仕及子守ノ大部分ハ西區及ビ北區ニアリ。

尙之レヲ區別ニ考察スルニ西區ニテハ工業職工ト商業使用人トハ其ノ數ニ於テ相半バシ南區ニテハ工業職工稍多キモ商業使用人及ビ其ノ他ノモノト大差ナク東區ニテハ商業使用人最多クシテ本區内少年勞働者ノ殆ンド半數ヲ占ム、北區ニテハ工業職工本區内少年勞働者ノ約六割ヲ占メ商業使用人ハ甚ダ少ナシ。

茲ニ吾人ノ注目ニ値スルハ西區ニ藝妓五人及ビ貸座敷ニ雇傭セラル、モノ二人ノ存スルコトナリ。

一、前 職

少年勞働者ニハ現職以前ニ何等カノ職業ニ從事セシモノ甚ダ僅少ナリ、今三百六十二人ニ



就キ之レヲ見ルニ農業ニ從事セシモノ最モ多クシテ奉公人タリシモノ之レニ次グ。  
 之レ現時ノ工業勃興ニツレ多數ノ職工ノ需要ヲ生ジ之レガ爲メ少年ヲモ多數使用スルニ  
 至リ農家ニアリシモノ或ハ奉公人タリシモノ、轉ジテ工場ニ雇傭セラル、ニ至リシニハア  
 ラザルカ。

西區ニ於テハ現職以前ニ奉公人タリシモノ多クシテ彼等ハ殆ンド轉ジテ附近ノ工場ニ入  
 リシモノ、如シ。

第五表 少年勞働者現職前ノ職業別調

職業別	區				計	職業別	區				計			
	西	南	東	北			西	南	東	北				
▲工業職工ノ部	二	三	一	一	七	毛織工	一	一	一	三	製菓工	一	一	二
刷子製造工	一	一	一	一	四	製菓工	一	一	一	三	製菓工	一	一	二
紡績工	一	一	一	一	四	管▼キ工	一	一	一	三	管▼キ工	一	一	二
硝子工	一	一	一	一	四	鏡製造工	一	一	一	三	鏡製造工	一	一	二
行季製造工	一	一	一	一	四	金銀細工	一	一	一	三	金銀細工	一	一	二
坩堝職工	一	一	一	一	四	指物工	一	一	一	三	指物工	一	一	二
莫大小職工	一	一	一	一	四	金工	一	一	一	三	金工	一	一	二
造船職工	一	一	一	一	四	其他ノ部	一	一	一	三	其他ノ部	一	一	二
▲工業職工ノ部	二	三	一	一	七	合	二	三	一	七	合	二	三	七
▲商業職工ノ部	一	一	一	一	四	合	二	三	一	七	合	二	三	七
合	三	四	二	二	十一	合	二	三	一	七	合	二	三	七

職業別	區				計	職業別	區				計			
	西	南	東	北			西	南	東	北				
鎖會社工	一	一	一	一	四	合	一	一	一	三	合	一	一	二
玩具職工	一	一	一	一	四	合	一	一	一	三	合	一	一	二
電氣職工	一	一	一	一	四	合	一	一	一	三	合	一	一	二
燗寸會社工	一	一	一	一	四	合	一	一	一	三	合	一	一	二
コークス工夫	一	一	一	一	四	合	一	一	一	三	合	一	一	二
鍛冶工	一	一	一	一	四	合	一	一	一	三	合	一	一	二
洋服製造工	一	一	一	一	四	合	一	一	一	三	合	一	一	二
下駄製造工	一	一	一	一	四	合	一	一	一	三	合	一	一	二
手帳製造工	一	一	一	一	四	合	一	一	一	三	合	一	一	二
傘及附屬品工	一	一	一	一	四	合	一	一	一	三	合	一	一	二
足袋製造工	一	一	一	一	四	合	一	一	一	三	合	一	一	二
製箱職工	一	一	一	一	四	合	一	一	一	三	合	一	一	二
製菓職工	一	一	一	一	四	合	一	一	一	三	合	一	一	二
製菓職工	一	一	一	一	四	合	一	一	一	三	合	一	一	二
眼鏡工	一	一	一	一	四	合	一	一	一	三	合	一	一	二
鹿ノ子製造工	一	一	一	一	四	合	一	一	一	三	合	一	一	二
鼻緒製造工	一	一	一	一	四	合	一	一	一	三	合	一	一	二
洗濯業	一	一	一	一	四	合	一	一	一	三	合	一	一	二
ハンキ塗工	一	一	一	一	四	合	一	一	一	三	合	一	一	二
▲商業職工ノ部	一	一	一	一	四	合	一	一	一	三	合	一	一	二
合	一	一	一	一	四	合	一	一	一	三	合	一	一	二
合	二	三	二	二	九	合	二	三	二	九	合	二	三	九











### 四、就職年數

上述セル如キ職業ニ從事スル少年ノ就職年數ヲ見ルニ一年未滿ノモノ全數ノ三割六分強ヲ占メ其ノ數ニ於テ最多ク其レヨリ年數ノ延長スルニ反比例シテ人員ノ漸次減少スルノ傾向ヲ呈シ四年以上ニ至ツテハ急ニ其ノ數ヲ減ズ、而シテ全數ノ過半ハ二年未滿ノモノニシテ彼等ノ多クハ幼少ニシテ未ダ勞務ニ馴レザルモノ、如シ。

### 第七表 少年勞働者就職年數別調

期間別	區別					合計
	西區	南區	東區	北區	合計	
一年未滿	182	225	253	189	549	
一年以上二年未滿	112	147	173	133	365	
二年以上三年未滿	59	77	92	70	198	
三年以上四年未滿	33	40	48	37	158	
四年以上五年未滿	27	30	36	27	120	
五年以上六年未滿	14	17	20	15	66	
六年以上七年未滿	9	11	13	10	43	
七年以上八年未滿	7	8	9	7	31	
八年以上九年未滿	5	6	7	5	23	
九年以上十年未滿	3	4	5	3	15	
合計	588	733	849	649	1,819	

### 五、賃銀及ビ其割増

少年勞働者ノ約半數ハ一日三十錢又ハ一ヶ月九圓以下ノ賃銀ヲ得ルモノニシテ其ノ中一ヶ月六圓以上ノモノ二十五人三圓以上ノモノ七十五人一圓五十錢以上ノモノ百三十一人アリテ其他ハ一ヶ月一圓五十錢以下ノモノニシテ其ノ少額ナルモノニ至リテハ一ヶ月三十錢未滿ノモノアリ。

一日三十錢又ハ一ヶ月九圓以上ヲ得ルモノハ北區ニ最多ク南區之レニ次ギ東區ニ於テ最モ少ナシ今之レヲ彼等ノ職業ト照シ見ルニ之等ノ多額賃銀所得者ノ多數ハ工業職工ニシテ少額ノ賃銀ヲ得ルモノ、多數ハ商業使用人ナルガ如シ。

之等ノ賃銀以外ニ割増ヲ得ルモノハ甚ダ少數ニシテ全体ノ約一割ニ過ギズシテシカモ其ノ金額ニ在リテハ極メテ少ナク一ヶ月十圓以上ヲ得ルモノハ僅々十六七人ヲ出デズ。

### 第八表 少年勞働者賃銀及其割増調

賃銀別	區別					合計
	西區	南區	東區	北區	合計	
一日二付	3	7	10	9	29	
三十錢未滿	3	23	33	21	80	
三十錢以上	3	20	27	19	69	
四十錢以上	1	2	3	2	8	
合計	7	52	73	51	183	

  

賃銀別	區別					合計
	西區	南區	東區	北區	合計	
五十錢以上	3	11	15	10	39	
六十錢以上	2	12	16	11	41	
七十錢以上	1	10	14	9	34	
八十錢以上	1	8	11	7	27	
九十錢以上	1	6	8	5	20	
合計	6	47	64	42	159	



金額	區別(年)				計合
	西	南	東	北	
一圓五十錢以上	一六	一〇	六	二	三十四
二圓以上	二四	二四	一八	一	七十五
三圓五十錢以上	七	二	二	一	十二
三圓以上	二四	二	一	一	二十
三圓五十錢以上	三	一	一	一	六
四圓以上	七	一	一	一	十
計合	五八	三三	一九	四	一一四

金額	區別(年)				計合
	西	南	東	北	
無キモノ	一五	一〇	三	一	二九
五十錢未満	一九	三	二	一	二五
五十錢以上	一〇	五	二	一	一八
壹圓以上	二	九	一	一	一三
二圓以上	一	一	一	一	四
三圓以上	一	一	一	一	四
四圓以上	一	一	一	一	四
計合	六六	三二	一六	一〇	一二四

備考 ○印ハ日又ハ月ヲ年ニ換算シタルヲ示シ\*印ハ皆勤ノ時ノミノ割増ヲ示ス

### 第三章 年齢及ビ体格

少年労働者ハ十二歳ヨリ十四歳迄ノモノ全數ノ約七割ヲ占メ其ノ中十三歳ノ者最モ多クシテ十四歳ノモノハ其レヨリ四十五人ヲ減ジ十二歳ノモノハ更ニ十七人ヲ減ズ、而シテ年少ナルモノニ至リテハ九歳十歳ノモノモアリ。

斯ク少年労働者ノ多クハ一般兒童ノ如ク晝間ノ教育ヲ受クルコトサヘ得ズ幼少ナル身ヲ以テ終日家庭ヨリ離レ工場又ハ商店ニ雇使セラル、モノナリ、又少年労働者ノ約半數ハ學齡ヲ超エタルモノニシテ學齡中正規ノ教育ヲ受クルヲ得ザリシモノナリ。

此ノ種ノ少年ノ増加ハ國家將來ノ爲メ寒心スベキ現象ニシテ有識者ノ一考ヲ要スルモノナリ。

右ノ如ク未ダ幼少ニシテ労働ニ従事スル兒童ノ体格ヲ調ブルニ強健ナルモノト否カラザルモノトハ其數ニ於テ殆ンド半バズ之レ労働期間ノ短少ナルモノ多キニ於テ斯ノ如キ状態ニシテ長年月労働ニ服スルモノ多キニ至ツテハ其ノ健康状態ヤ實ニ推察スルニ足ラン。身体虚弱ナルモノ、最モ多キハ西區ニシテ其中ニテモ西九條校ニアルモノ第一位ヲ占メ本區ニ次グハ東區ニシテ本區中多數ヲ占ムルハ南大江校ニ在ルモノナリ。

第九表 少年労働者年齢調



年齡別	區別				合計
	西區	南區	東區	北區	
九歲	一	一	一	一	四
十歲	三	三	三	三	十二
十一歲	五	五	五	五	二十
十二歲	二	二	二	二	八
十三歲	一	一	一	一	四
合計	十二	十二	十二	十二	四十八

  

年齡別	區別				合計
	西區	南區	東區	北區	
十四歲	二	二	二	二	八
十五歲	三	三	三	三	十二
十六歲	四	四	四	四	十六
十七歲	三	三	三	三	十二
十八歲	一	一	一	一	四
合計	十三	十三	十三	十三	五十二

  

年齡別	區別				合計
	西區	南區	東區	北區	
十九歲	二	二	二	二	八
二十歲	三	三	三	三	十二
合計	五	五	五	五	二十

第十表 少年勞働者体格調

學校別	強		中		弱		不明	合計
	強	中	弱	不明	合計			
東江	三	一	一	一	一	一	一	八
市岡第一	二	一	一	一	一	一	一	七
高壘	四	一	一	一	一	一	一	九
日吉	九	一	一	一	一	一	一	十三
本田	二	一	一	一	一	一	一	六
堀江	三	一	一	一	一	一	一	七
堀江三	三	一	一	一	一	一	一	七
九條	三	一	一	一	一	一	一	七
松島	七	一	一	一	一	一	一	十一
合計	三二	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	六二

  

學校別	強		中		弱		不明	合計
	強	中	弱	不明	合計			
明治	二	一	一	一	一	一	一	七
市岡第二	一	一	一	一	一	一	一	五
春日出	一	一	一	一	一	一	一	五
親計	三	一	一	一	一	一	一	七
天王寺第一	三	一	一	一	一	一	一	七
難波第五	一	一	一	一	一	一	一	五
維波第五	一	一	一	一	一	一	一	五
濕美	一	一	一	一	一	一	一	五
合計	一三	五	五	五	五	五	五	四八

  

學校別	強		中		弱		不明	合計
	強	中	弱	不明	合計			
北江	二	一	一	一	一	一	一	七
南大江	一	一	一	一	一	一	一	五
愛日	一	一	一	一	一	一	一	五
久寶	一	一	一	一	一	一	一	五
計	四	二	二	二	二	二	二	十六
第二西野田	三	一	一	一	一	一	一	八
第一西野田	一	一	一	一	一	一	一	五
第二川崎	一	一	一	一	一	一	一	五
合計	九	五	五	五	五	五	五	四二

### 第四章 思想狀態

#### 一、讀物

少年勞働者ノ讀物ニハ種々アリ小説雜誌新聞教科書手紙文及歴史物等ハ其ノ重ナルモノニシテ又講義録モ多少アリ、之等ノ中最モ數多キハ小説ニシテ教科書ハ其レヨリ稍少ナク雜誌及ビ新聞ハ更ニソレヨリ少ナク手紙文及ビ歴史物ニ至リテハ其ノ數甚ダ僅少ナリ、而シテ小説讀者ハ西區及ビ北區ニ多ク南區ニ最モ少ナク教科書讀者ハ南區ニ多クシテ東區ニ甚ダ少ナシ、雜誌及ビ新聞讀者ハ四區共ニ其ノ割合ニ於テ大差ナク手紙文及ビ歴史文讀者ハ西區及ビ南區ノ兩區ニアルノミ、而シテ讀物ヲ有セザルモノハ全數ノ約二割六分強ヲ占メ之レハ北區ニ於テ最モ多シ。

學校別	強		中		弱		不明	合計
	強	中	弱	不明	合計			
三軒家一	三	一	一	一	一	一	一	七
西六	三	一	一	一	一	一	一	七
西九條	三	一	一	一	一	一	一	七
廣教	三	一	一	一	一	一	一	七
木津第一	三	一	一	一	一	一	一	七
大寶	三	一	一	一	一	一	一	七
天王寺第二	三	一	一	一	一	一	一	七
計	一三	五	五	五	五	五	五	四二



茲ニ注目ヲ要スルハ少年労働者ノ讀物ニ小説ノ最モ多キコトニシテ未ダ精神ノ動搖時期ニアル彼等ニ對シテハ其ノ影響スル所ヤ實ニ大ナルナラン。

第十一表 少年労働者讀物調

讀物別	區				計合	讀物別	區				計合
	西	南	東	北			西	南	東	北	
教科書	1	2	1	1	5	3	1	1	1	6	
講義錄	1	1	1	1	4	1	1	1	1	4	
新聞及雜誌	10	3	1	1	15	10	3	1	1	15	
小説	1	3	1	1	6	3	1	1	1	6	
手紙文	1	1	1	1	4	1	1	1	1	4	
計合	15	10	5	5	35	15	7	5	5	32	

二、嗜好

人ノ嗜好ニハ種々アリテ一様ナラズ今少年労働者ニ就キテ之レヲ見ルニ次表ノ如キモノアリテ其中最モ多數ナルハ菓子ニシテ魚肉之レニ次ギ牛肉果物モ又比較的多シ、菓子ハ西區

ニ多クシテ南區ニ少ナク魚肉及牛肉ハ南區ニ多クシテ北區ニ少ナク果物ハ南區ニ多クシテ西區ニ少ナシ又洋食ハ東區ニ最モ多クシテ西區之レニ次ギ北區ニ在リテハ全ク無ク壽司ハ東區及ビ南區ニ多クシテ西區ニハ全ク無シ。而シテ嗜好ノ無キトナスモノ北區ニ甚ダ多クシテ南區之レニ次グ。

第十二表 少年労働者嗜好調

嗜好別	區				計合	嗜好別	區				計合
	西	南	東	北			西	南	東	北	
▲果物	1	1	1	1	4	1	1	1	1	4	
西瓜	1	1	1	1	4	1	1	1	1	4	
バナナ	1	1	1	1	4	1	1	1	1	4	
柿	1	1	1	1	4	1	1	1	1	4	
蜜柑	1	1	1	1	4	1	1	1	1	4	
りんご	1	1	1	1	4	1	1	1	1	4	
其他	1	1	1	1	4	1	1	1	1	4	
▲肉類	1	1	1	1	4	1	1	1	1	4	
牛肉	1	1	1	1	4	1	1	1	1	4	
猪肉	1	1	1	1	4	1	1	1	1	4	
▲昆布	1	1	1	1	4	1	1	1	1	4	
▲清凉飲食水	1	1	1	1	4	1	1	1	1	4	
計合	15	10	5	5	35	15	7	5	5	32	











神 佛 基 教	佛 檀		神 棚		區 別
	不 明	無 有	不 明	無 有	
1	20	5	7	3	區 四
1	2	5	3	4	區 南
1	0	0	1	3	區 東
1	0	0	2	2	區 北
2	2	2	1	3	計 合

結 語

叙上セシ所ノモノニ就キ顯著ナル點ヲ擧グレバ次ノ如シ。

住居状態

- 一、借家ニ住居スルモノ半數ヲ占ムルコト
- 一、疊七疊以上十疊未滿ヲ敷クモノ多數ナルコト
- 一、五人ノ同居家族員ヲ有スルモノ最モ多數ナルコト

職業状態

- 一、五人ノ家族ニ疊四疊乃至七疊ヲ敷クモノ最モ多キコト
- 一、工業職工ノ殆ンド半數ヲ占ムルコト
- 一、現職前ニ農業ニ従事セシモノ及ビ奉公人タリシモノ、多キコト
- 一、同居家族員ノ職業ニハ工業職工多キコト
- 一、就職年數ハ一年未滿ノモノ最モ多キコト
- 一、全部ノ約半數ハ一日三十錢又一ヶ月九圓以下ノ賃銀ヲ得ルモノナルコト
- 一、賃銀以外ニ割増ヲ得ル者ハ甚ダ少數ナルコト

年齢及体格

- 一、十二歳ヨリ十四歳迄ノモノ全數ノ約七割ヲ占ムルコト
- 一、強健ナルモノト否ラザルモノトハ相半バサルコト

思想状態

- 一、讀物ニ小説ノ最モ多キコト
- 一、菓子ヲ嗜好トスルモノ最モ多キコト
- 一、娛樂トシテハ演藝最モ多キコト



少年ノ扶養者及ビ家ノ宗教

- 一、全体ノ殆ンド半數ハ眞實ノ兩親ノ捕ヒ存セザルコト
- 一、宗教トシテハ佛教最モ多キコト

雜纂

目次

一、少年ノ扶養者及ビ家ノ宗教  
 一、全体ノ殆ンド半數ハ眞實ノ兩親ノ捕ヒ存セザルコト  
 一、宗教トシテハ佛教最モ多キコト



## 目次

一、労働問題ニ關スル會社工場主ノ意見……………一七九

二、本市内紹介業者調……………二〇四

### 一 労働問題ニ關スル會社工場主ノ意見

第一表 染織工場

工場雇傭職工數	發送數		回答數	回答割合	意見ナキモノ 閉鎖中	意見アルモノ 閉鎖中	A 労働問題發生後職工動情狀態 1 勤勉ナリトスルモノ 2 怠惰ナリトスルモノ 3 不變ナリトスルモノ	B 労働問題發生後職工精神的傾向 1 善良ナリトスルモノ
	回	答						
一人以上 季人未滿	三三三	三一〇	〇・二〇	四	一〇	二	九	二
五十人以上	四二	九	〇・二一	一	六	一	六	一
百人以上	一〇	七	〇・七〇	一	二	一	二	一
百五十人以上	一一	一	〇・〇九	一	一	一	一	一
三百人以上	三	二	〇・六七	三	一	一	一	一
四百人以上	三	三	〇・二五	五	一	二	二	一
五百人以上	四二	五五	〇・一三	四	一〇	三	二〇	四
計	四二二	五五三	〇・一三	四	一〇	三	二〇	四







